FORIS.HD®

取扱説明書

重要

お買い上げありがとうございます。
使用する前に取扱説明書をよく読み
正しくお使いください。
取扱説明書は大切に保管してください。

DT27ZD1
DT24ZD1

地上・BS・110度CSデジタル
フルハイビジョン液晶テレビ

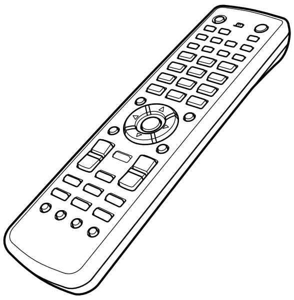
EIZO®

HDMI™
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

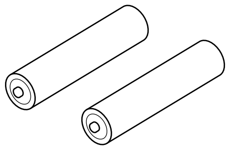
付属品を確認する

以下のものがすべて入っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがある場合は、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。

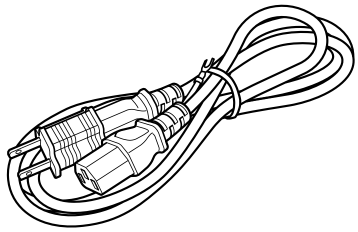
□ **リモコン（1）**
FR-7



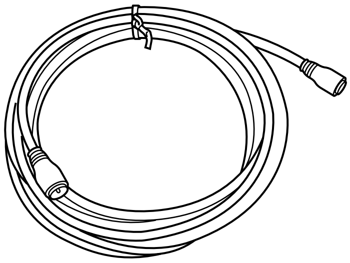
□ **単 3 形乾電池（2）**



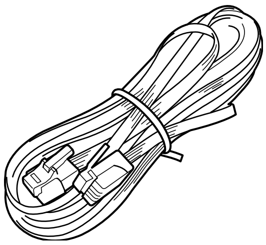
□ **電源コード（二芯アダプタ付）（1）2.0m**



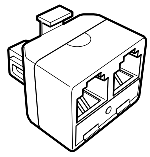
□ **アンテナケーブル（1）3.5m**



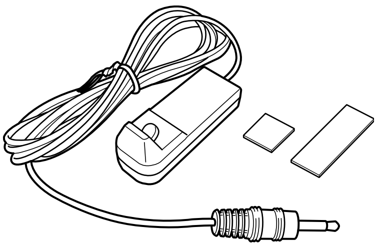
□ **電話機コード（1）10m**



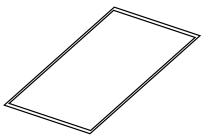
□ **モジュラー分配器（1）**



□ **Ir システムケーブル（1）両面テープ（各 1）**

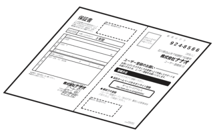


□ **デジタル放送受信契約申込書（1）**

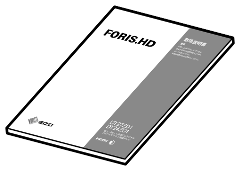


□ **B-CAS カード（1）**

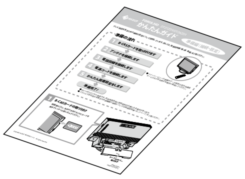
□ **保証書（1）ユーザー登録カード（1）（梱包箱に添付）**



□ **取扱説明書（本書）（1）**



□ **かんたんガイド（1）**



本機の特徴

FORIS.HD DT27ZD1/DT24ZD1 には、次のような特徴があります。

「ナチュラルコンフォート」を実現する独自開発の映像プロセッサー
映像ソース本来の色調やなめらかさを忠実に、ナチュラルに表現することを第一に考え、長く見ていても飽きない、疲れない、快適な画面表示を実現するため、映像プロセッサーを独自に開発。搭載された機能が、見る人にやさしい、「ナチュラルコンフォート」な映像を映し出します。

1920×1200 のフルハイビジョン解像度の広色域液晶パネルの採用
1125p（1080p）のフルハイビジョン映像を、補間や間引きの無い、ありのままの形（ドット・バイ・ドット）で映し出します。また、広い色再現領域（NTSC 規格における 92%）を使用して美しい映像を表示できる広色域液晶パネルを採用しています。

ナチュラルオーバードライブを採用
液晶パネルの応答速度性能を最大限に引き出し、動画をくっきりと表示させるオーバードライブ補正を採用。さらに動画性能だけを追求するのではなく、液晶パネルの特性に合わせた補正を実現し、動画に対する応答速度とナチュラルな映像表示を両立しています。

地上･BS･110 度 CS デジタル放送に対応したデジタルチューナーを搭載
デジタル放送をこれ 1 台で楽しめます。また、デジタル放送の電子番組表（EPG）を利用すると、テレビの画面上で最新のテレビ番組を確認することができます。

各種の外部機器に対応する多彩な入出力端子

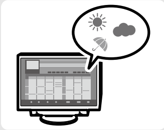
- （HDMI 入力）
  先進のデジタルインターフェースである HDMI 入力を 3 系統装備。次世代の 1125p（1080p）：60Hz/24Hz にも対応し、さまざまなデジタル AV 機器を接続できます。また、1 系統を本体右側面に配置しているので、ビデオカメラやゲーム機などを手軽に接続することができます。
- （D 端子入力・S/ コンポジット入力）
  D 端子入力・S/ コンポジット入力も搭載し、従来のビデオ機器などとも接続できます。
- （DVI-I 入力）
  DVI-I 入力端子を備えているため、コンピュータのモニターとして利用することができます。静止画のみならず、コンピュータからの再生動画像（DVD 映画など）に適した映像モード「ムービー」を選択することにより、テレビのようなメリハリ感のある映像表示が可能です。また、PC 入力を親画面とした PinP 機能（2 画面表示）に対応し、放送や外部入力を子画面で視聴しながらコンピュータの操作ができます。
- （音声出力）
  光デジタル音声出力に加えて、ラインアウトも装備。本機の音声を外部サラウンドシステムやステレオシステムで再生することが可能です。

テレビをもっと楽しむためのネット･サービス「アクトビラ」に対応
専用のホームページ（ポータルサイト）に接続し、テレビをもっと楽しむための情報や、テレビをもっと使いたくなるサービスを利用することができます。
（※ ADSL などのブロードバンド環境が必要です）
❖ 本機は「アクトビラ　ベーシック」に対応しています。（「アクトビラ　ビデオ」はご利用いただけません）

付属リモコンで、FORIS.HD（本機）だけでなく
他社製 HDD 内蔵 DVD レコーダーの基本操作が可能
スライドスイッチを切り換えることで、付属のリモコン 1 つで本機と他社製の HDD 内蔵 DVD レコーダーの両方の操作をすることができます。
（※ DVD レコーダーのメーカー設定が必要です）

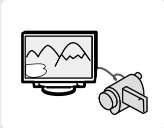
こんなことができます（機能のご紹介）

デジタル放送が楽しめます



- デジタル放送では、いろいろな方法で番組を探すことができます。
  - ・テレビ画面に番組表を表示して、見たい番組を選ぶことができます。 ➔ 43 ページ
  - ・今放送されている番組のリストから、見たい番組を選ぶことができます。 ➔ 44 ページ
  - ・ジャンルで検索して、見たい番組を選ぶことができます。 ➔ 45 ページ
- ニュースや天気など、文字による情報を見たり、視聴者参加型の番組が楽しめるデータ放送を見ることができます。 ➔ 48 ページ
- 番組ごとに料金を支払って視聴するペイ・パー・ビュー番組を購入して、見ることができます。
  （※電話回線の接続と設定が必要です） ➔ 50 ページ
- 付属のIrシステムケーブルを使うと、録画機器と連動して番組を録画できます。
  （※Irシステムケーブルおよび対応した録画機器の接続と設定が必要です） ➔ 54 ページ

ビデオカメラなど、HDMI対応の外部機器を手軽に接続することができます

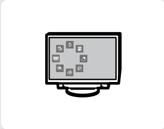


本機はHDMI入力端子を3系統搭載し、その内の1つを本体側面（右側）に配置してあるため、外部機器を手軽に取り付け/取り外すことができます。 ➔ 12 ページ

コンピュータのモニターとして利用できます

本機のPC入力にコンピュータを接続し、モニターとして利用することができます。
➔ 接続：15 ページ、入力切換：62 ページ

テレビをもっと楽しむためのネット・サービス「acTVila（アクトビラ）」が利用できます



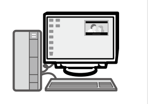
本機をネットワーク（ブロードバンド回線）に接続し、ネットワークとブラウザの設定を行うと、「アクトビラ」が利用できるようになります。「アクトビラ」では、専用のホームページ（ポータルサイト）に接続して、テレビをもっと楽しむための情報や、テレビをもっと使いたくなるサービスを利用することができます。

❖ 本機は「アクトビラ ベーシック」に対応しています。（「アクトビラ ビデオ」はご利用いただけません） ➔ 68 ページ

付属のリモコンで、他社製HDD内蔵DVDレコーダーの基本操作ができます

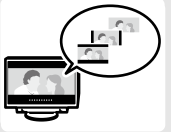
メーカー設定を行い、リモコンの操作切換スイッチを「DVD」の位置に合わせると、他社製のDVDレコーダーが操作できるようになります。 ➔ 66 ページ

2画面表示ができます



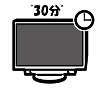
コンピュータの画面を親画面に、テレビやビデオなどの映像を子画面に表示して、2つの画面を同時に楽しむことができます。 ➔ 80 ページ

お好みの画面モード（画面の表示サイズ）で表示できます



テレビ放送やビデオ画面などでは、映像に応じて適切なサイズで画面が自動で表示されますが、お好みに応じて表示サイズを手動で切り換えることもできます。 ➔ 84 ページ

オフタイマーで自動的に電源を切ることができます

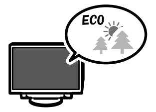


あらかじめ電源を切るまでの時間（30分刻みで180分まで）を設定することができます。設定した時間が経過すると自動的に電源が切れます。 ➔ 87 ページ

お好みの画質・音質に調整できます

本機の映像や音の状態を詳細に調整するための設定メニューを用意しています。お好みに応じて、設定状態を調整することができます。 ➔ 映像設定：90 ページ、音声設定：92 ページ

省エネルギー機能で電力消費を抑えることができます



一定時間信号が入力されない場合やボタン操作が行われない場合に、自動的に電源を切るように設定することができます。電源の切り忘れなどによる電力の消費を抑えます。 ➔ 93 ページ

目次

準備する

ご使用の前にテレビを見るための準備をします。

第 1 章　準備

見る・聴く・楽しむ

本機の操作のしかたを説明します。

第 2 章　テレビを見る

第 3 章　外部機器を使う

第 4 章
アクトビラでホームページを見る

使いこなす

その他、いろいろな使いかたや困ったときの対処法などを説明します。

第 5 章　もっと使いこなす

第 6 章　トラブル時の対処

付録

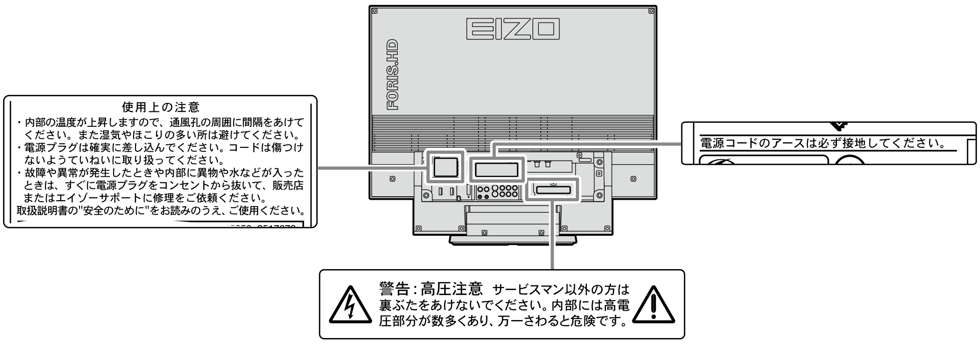
安全のために

使用上の注意

重要

本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

ご使用前には、「使用上の注意」および本体の「警告表示」をよく読み、必ずお守りください。



絵表示について

本書では次のような絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

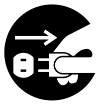
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。	⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。

△	注意（警告を含む）を促すものです。たとえば は「感電注意」を示しています。
⊘	禁止の行為を示すものです。たとえば は「分解禁止」を示しています。
●	行為を強制したり指示したりするものです。たとえば は「電源プラグを抜くこと」を示しています。

⚠警告

万一、異常現象（煙、異音、においなど）が発生した場合は、すぐに製品の電源を切り、電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートに連絡する

そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

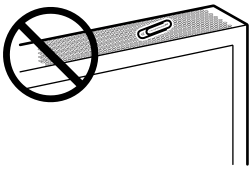


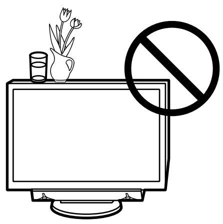
修理は販売店またはエイゾーサポートに依頼する

お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。

異物を入れない、液体の入ったもの（花瓶など）や濡れたものを置かない

本製品内部に金属、燃えやすいものや液体が入ると火災や感電、故障の原因となります。
万一、本製品内部に異物を落としたり、液体をこぼしたりした場合は、すぐに電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。





プラスチック袋は子供の手の届かない場所に保管する

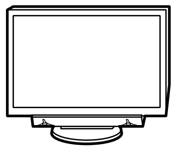
包装用のプラスチック袋をかぶったりすると窒息の原因となります。

裏ぶたを開けない、製品を改造しない

本製品内部には、高電圧や高温になる部分があり、感電、やけどの原因となります。また、改造は火災、感電の原因となります。

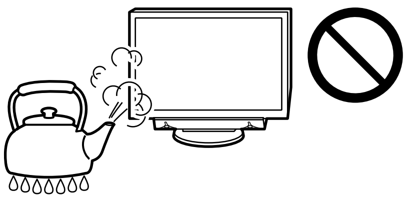
丈夫で安定した場所に置く

不安定な場所に置くと、転倒することがあり、けがの原因となります。
万一、倒れた場合は、電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



次のような場所には置かない

火災や感電、故障の原因となります。
- 屋外
- 車両・船舶などへの搭載
- 湿気やほこりの多い場所
- 水滴のかかる場所（浴室、水場など）
- 油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く
- 可燃性ガスのある環境

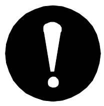


転倒防止の処置をする

地震など非常時の安全確保と事故（火災、感電、けが）を防止するためです。
（処置方法については、19 ページをご覧ください）

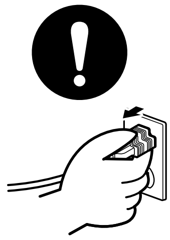
付属の電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する

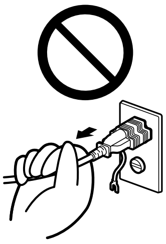
付属の電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。付属の電源コード以外は使用しないでください。
誤った接続をすると火災や感電の原因となります。



電源コードを抜くときは、プラグ部分を持つ

コード部分を引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。

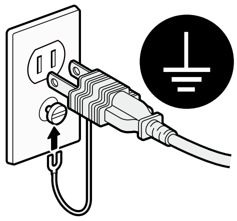




安全のために（つづき）

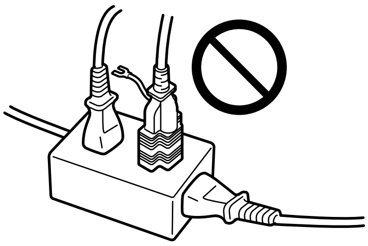
付属の二芯アダプタを使用し、安全（感電防止）および電磁界輻射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する

アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。
二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。



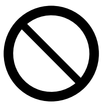
次のような誤った電源接続をしない

誤った接続は火災、感電、故障の原因となります。
－ 取扱説明書で指定された電源電圧以外への接続
－ タコ足配線



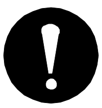
ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本製品を捨てない

本製品に使用の蛍光管（バックライト）の中には水銀が含まれているため、廃棄は地方自治体の規則に従ってください。



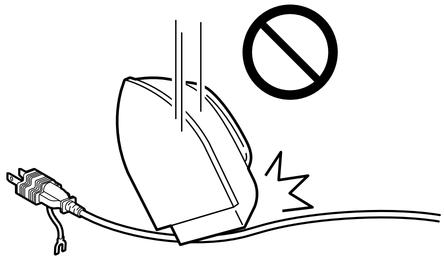
アンテナ工事は販売店またはエイゾーサポートに相談する

アンテナ工事には、技術と経験が必要です。送配電線の近くに設置すると、アンテナが倒れた場合、感電の原因となります。



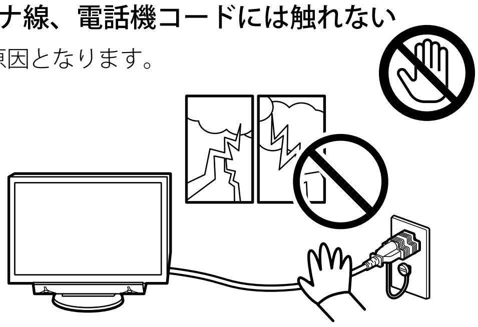
電源コードを傷つけない、加熱しない

電源コードに重いものをのせる、引っ張る、束ねて結ぶ、加工する、加熱するなどしないでください。電源コードが破損（芯線の露出、断線など）し、火災や感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、本機や電源プラグ / コード、アンテナ線、電話機コードには触れない

感電の原因となります。

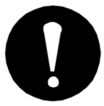


液晶パネルが破損した場合、破損部分に直接素手で触れない

もし触れてしまった場合には、手をよく洗ってください。
万一、漏れ出た液晶が誤って口や目に入った場合には、すぐに口や目をよく洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を起こす恐れがあります。

リモコン用乾電池の取り扱いに注意する

誤った使用は破裂や液漏れの原因となります。



－ 分解や加熱をしたり、濡らしたりしない
－ 乾電池の取りつけ、交換は正しく行う
－ 交換は、２本とも新しい同じ種類（単３形のマンガン電池あるいはアルカリ電池）を使う
－ プラス（＋）とマイナス（－）の向きを正しく入れる
－ 被覆にキズの入った乾電池は使用しない
－ 廃棄時は地域指定の「乾電池回収箱」などへ入れる

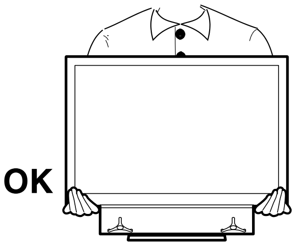
⚠注意

運搬のときは、接続コードを外す

コードを引っ掛け、けがの原因となります。

本製品を移動させるときは、下図のように画面の下部を両手で持つ

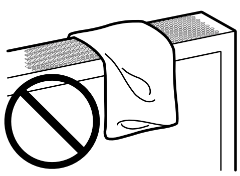
落としたりすると、けがや故障の原因となります。



通風孔をふさがない

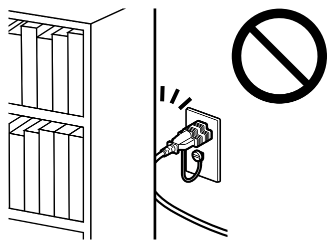
通風孔をふさぐと、内部が高温になり、火災や感電、故障の原因となります。

－ 通風孔をカーテンなどでふさがない
－ 通風孔の上や周囲にものを置かない
－ 風通しの悪い、狭いところに置かない
－ 周囲の壁から 10cm 以上の間隔をあけて設置する
－ 横倒しや、逆さにして設置しない



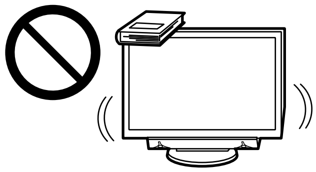
電源プラグの周囲にものを置かない / 製品は電源コンセントの近くに設置する

火災や感電防止のため、異常が起きたときすぐ電源プラグを抜けるようにしておいてください。



テレビの上に乗らない、重いものを置かない

転倒することがあり､けがの原因となります。



電話回線への接続は正しく行う

火災や故障の原因となります。

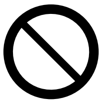
モジュラー分配器、電話機コードを分解、改造したり、端子に触れたりしない

電話回線には直流電圧がかかっています。ダイヤル時などには強い電流が流れ、感電の原因となります

安全のために（つづき）

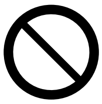
画面を左右に回転する際には、接続コードが引っ張られないようにする

コードが強く引っ張られると、コードや接続機器が破損し、火災や感電、故障の原因となります。



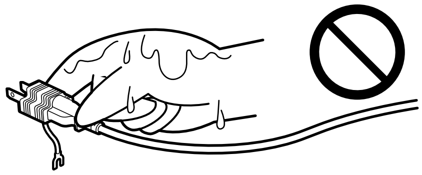
ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない

聴力に悪い影響を与える原因となります。



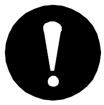
濡れた手で電源プラグに触れない

感電の原因となります。



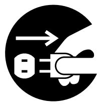
電源プラグ周辺は定期的に掃除する

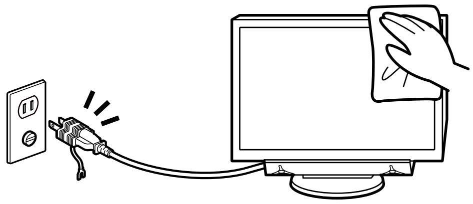
ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となります。



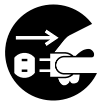
クリーニングの際は電源プラグを抜く

プラグを差したままで行うと感電の原因となります。





長時間使用しない場合には、安全および省エネルギーのため、本体の電源を切った後、電源プラグも抜く



液晶パネルについて

- 液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、有効ドット数の割合は 99.99% 以上です。
- 液晶パネルに使用される蛍光管（バックライト）には寿命があります。寿命の目安は約 30,000 時間（標準設定状態の場合）です。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店またはエイゾーサポートにお問い合わせください。
- 液晶パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。
- 液晶パネルを固いものや先の尖ったもの（ペン先、ピンセット）などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷がつく恐れがあります。
- 本製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると、故障の原因となることがあります。

正しく快適にお使いいただくために

- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することをおすすめします。特に、ばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなった場合は、販売店にご相談ください。
- 本機の近くで電磁波を発生するような機器（携帯電話など）を使用しないでください。機器相互間での干渉により、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。
- 部屋が暗すぎたり、明るすぎたりすると目が疲れます。新聞が読める程度の明るさでご覧ください。
- 長時間画面を見続けると目が疲れますので、時々、目を休めてください。

必ずお読みください

本機の使用についてのお願い

■ ユーザー登録をしてください

本機のソフトウェアをバージョンアップする際の情報をお送りするなどの目的で、ユーザー登録をお願いしています。梱包箱に添付の「ユーザー登録カード」をご覧の上、ユーザー登録をしてください。

■ ソフトウェアのバージョンアップについて

本機をご購入されてからも、より快適にお使いいただくために、本機内部のソフトウェアをバージョンアップする場合があります。
本機はデジタル放送の電波を利用して自動でソフトウェアをバージョンアップするダウンロード機能に対応しています。お買い上げ時は、本機がダウンロードを自動で行う設定になっているため、お客様が操作や設定をすることなく、常に最新のソフトウェアでお楽しみいただけます。
自動でダウンロードを行いたくない場合は、「番組ナビ」メニュー［初期設定］-［自動更新設定］を「手動」に変更してください。この場合、自動ダウンロードについての情報があるときは、「放送メール」でお知らせします。
ソフトウェアの自動ダウンロードについては、35 ページをご覧ください。

お問い合わせ先について

受信契約など放送受信については、各放送事業者にお問い合わせください。

この取扱説明書について

- 本書に記載されている画面は、実際の表示と文章表現などが異なる場合があります。
- 受信画面の例に使われている番組などの名称は、架空のものです。
- 本書に記載されている機能の中には、放送サービス側でそれらを運用していないと使用できないものがあります。
- 本機の画面に表示されるアイコン（絵文字）については、「アイコン一覧」（104 ページ）をご覧ください。
- 本書では、次の略語を使用しています。

デジタル放送：	地上デジタル放送 / BS デジタル放送 / 110 度 CS デジタル放送
地上D、地上デジタル：	地上デジタル放送
BS：	BS デジタル放送
110 度 CS、CS：	110 度 CS デジタル放送

デジタル放送について

本機で楽しめるデジタル放送

本機は、次の 3 種類のデジタル放送を受信することができます。

■ 地上デジタル放送

UHF 帯の地上波を使用したデジタル放送です。地上デジタル放送を受信するには、地上デジタル放送に対応した UHF アンテナが必要です。（6 ページ）
右段の「地上デジタル放送とは」もご覧ください。

■ BS デジタル放送

放送衛星（BS = Broadcasting Satellite）を利用したデジタル放送です。NHK の放送と民間放送局が行っている無料放送、受信契約が必要な有料放送があります。

■ 110 度 CS デジタル放送

通信衛星（CS = Communication Satellite）を利用したデジタル放送です。映画やスポーツ、音楽などの専門チャンネルがあり、ほとんどは受信契約が必要な有料放送です。

デジタル放送の特徴

デジタル放送では、映像や音声をデジタル化することで、大量の情報を扱うことができ、高画質、高音質、多チャンネルのテレビ放送が行われています。また、アナログ放送にはない、デジタルラジオ放送や、データ放送が楽しめます。

■ テレビ放送（地上 D、BS、110 度 CS）

デジタル放送には、4 種類の放送フォーマットがあります。（( ) 内は有効走査線［実際に画面を構成する走査線］数です）

- 1125i（1080i）、750p（720p）
  高画質のデジタルハイビジョン放送［HD］
- 525i（480i）、525p（480p）
  従来の BS 放送と同程度の画質の標準テレビ放送［SD］

本機では、デジタル処理により、すべてのフォーマットを液晶パネルの画素数に合わせて表示します。

■ ラジオ放送（110 度 CS）

デジタル音声により、クリアなラジオ放送を楽しむことができます。静止画や動画を見ることのできる放送もあります。

■ データ放送（地上 D、BS、110 度 CS）

データ放送には、次の 2 種類があります。

- 番組連動データ放送：
  テレビ放送やラジオ放送の番組に関連したデータ放送です。番組を視聴しながら情報をチェックしたり、番組のアンケートやクイズに答えたりといったことができます。
- 独立データ放送：
  テレビ放送やラジオ放送の番組とは無関係なデータ放送です。天気予報や交通情報などの放送があります。

地上デジタル放送とは

地上デジタル放送は、2003 年 12 月から関東、中京、近畿の一部で放送が開始されました。
地上アナログ放送は 2011 年 7 月に、BS アナログ放送は 2011 年までに終了することが、国の施策として決定されています。

■ 地上デジタル放送の特長

従来のアナログ放送にくらべて、次のような長所があります。

- デジタルハイビジョン放送を中心とした高画質放送・多チャンネル放送
- CD 並みの高音質放送（MPEG-2 AAC 方式）
- ゴーストの影響を受けにくいため、画像が鮮明
- データ放送や双方向通信サービス
- 移動体受信・部分受信サービス（ワンセグ）
  車や電車などで移動しながら受信できる「移動体受信サービス」や、携帯電話などで受信できる「部分受信サービス」があります。

❖ 本機では、移動体受信サービス・部分受信サービスは受信できません。

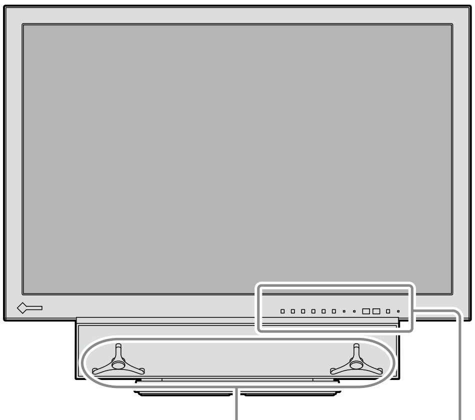
■ BS デジタルや 110 度 CS デジタル放送との違い

BS デジタルや 110 度 CS デジタル放送は衛星を使った放送であるため、日本中どこでも同じ番組を視聴することになりますが、地上デジタル放送は各地域の放送局から送信されるため、地域に密着した番組も提供される予定です。

各部の名前と役割

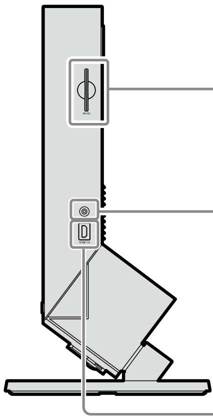
本体

■ 正面



スピーカー

■ 右側面



B-CASカード挿入口
（2ページ）

ヘッドホン端子
スピーカーからの出力と同じ音声を聞くことができます。
ヘッドホンを差し込むと、スピーカーの音声は消えます。

HDMI入力（12ページ）
（HDMI入力 3）
HDMI入力端子

■ 正面操作パネル

チャンネル（40ページ）
視聴中の放送のチャンネルを順送りで切り換えます。

音量（20ページ）
スピーカーとヘッドホンの音量を調節します。

放送切換（40ページ）
放送を次の順序で切り換えます。
「地上D」→「BS」→「CS1」（「CS2」）→「CS2」（「CS1」）

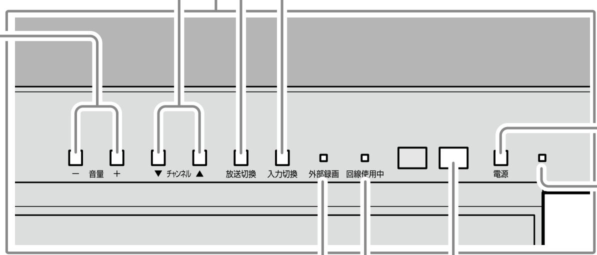
110度CSデジタル放送は、前回見ていた方から順に表示されます。

入力切換（62ページ）
入力を次の順序で切り換えます。
「ビデオ1」→「ビデオ2」→「HDMI1」→「HDMI2」→「HDMI3」→「PC」

地上D、BS、CS の映像を視聴中にこのボタンを押したときは、前回見ていた入力に切り換えます。

電源ボタン（20ページ）

電源ランプ
緑：電源オン状態
赤：スタンバイ状態

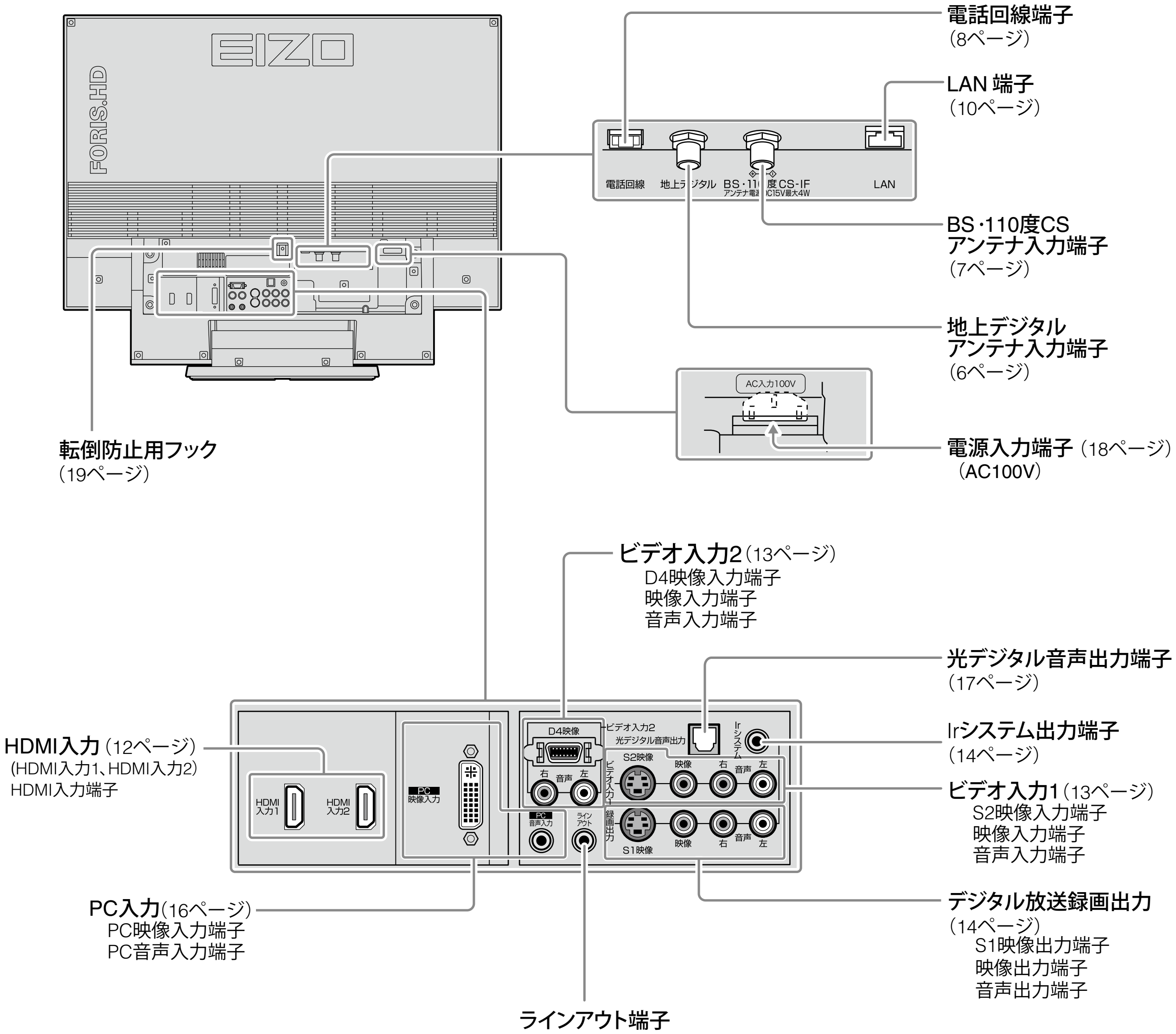


外部録画ランプ
緑：録画中

リモコン受光部
（2ページ）

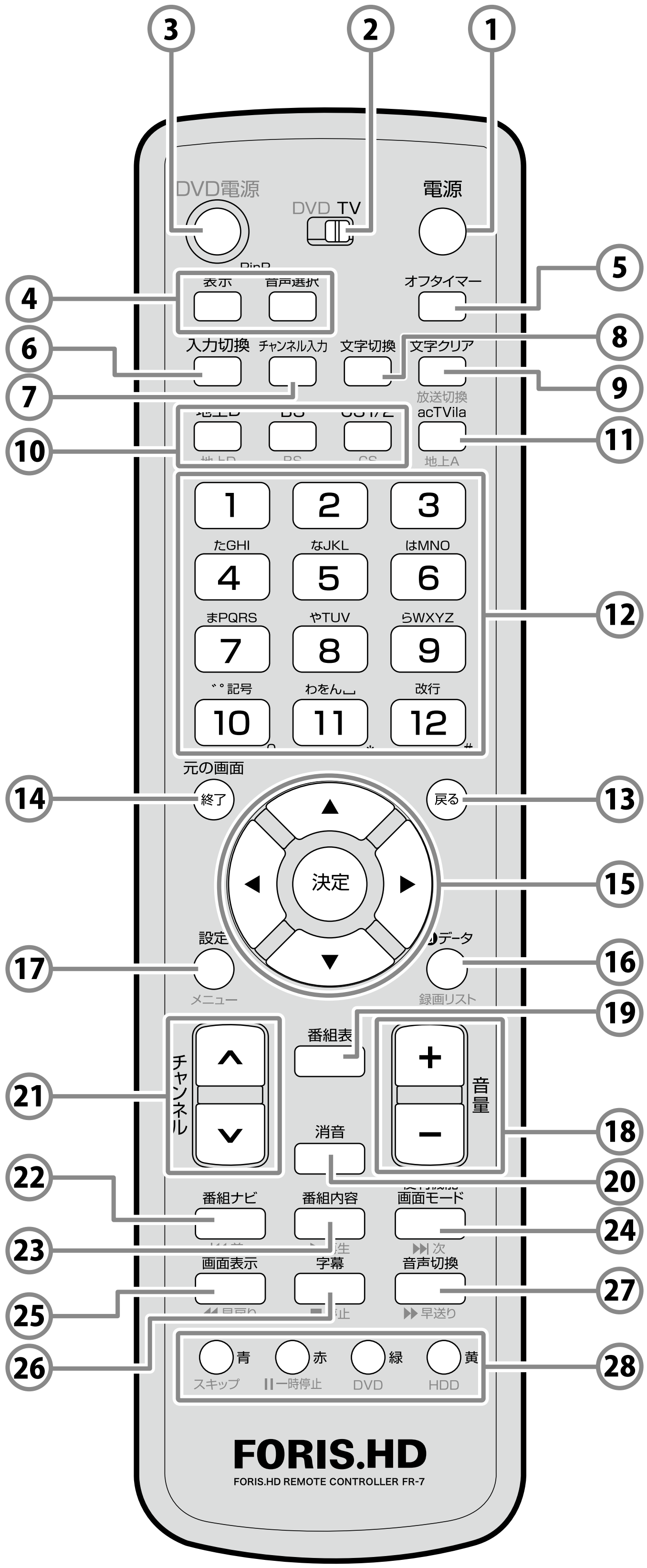
回線使用中ランプ
緑：電話回線使用中

■ 背面



電話回線端子
（8ページ）
LAN 端子
（10ページ）
BS・110度CS
アンテナ入力端子
（7ページ）
地上デジタル
アンテナ入力端子
（6ページ）
電源入力端子（18ページ）
（AC100V）
転倒防止用フック
（19ページ）
ビデオ入力2（13ページ）
D4映像入力端子
映像入力端子
音声入力端子
光デジタル音声出力端子
（17ページ）
Irシステム出力端子
（14ページ）
HDMI入力（12ページ）
（HDMI入力1、HDMI入力2）
HDMI入力端子
ビデオ入力1（13ページ）
S2映像入力端子
映像入力端子
音声入力端子
デジタル放送録画出力
（14ページ）
S1映像出力端子
映像出力端子
音声出力端子
PC入力（16ページ）
PC映像入力端子
PC音声入力端子
ラインアウト端子
（17ページ）

リモコン


DVD電源
DVD TV
電源
表示
音声選択
オフタイマー
入力切換
チャンネル入力
文字切換
文字クリア
放送切換
acTVila
地上A
1
2
3
たGHI
なJKL
はMNO
4
5
6
まPQRS
やTUV
らWXYZ
7
8
9
゛゜記号
わをん␣
改行
10
11
12
元の画面
終了
戻る
決定
設定
データ
メニュー
録画リスト
番組表
チャンネル
音量
消音
番組ナビ
番組内容
画面モード
次
画面表示
字幕
音声切換
早送り
青
赤
緑
黄
スキップ
一時停止
DVD
HDD
FORIS.HD
FORIS.HD REMOTE CONTROLLER FR-7

① 電源を入 / 切します。(20 ページ)

② スイッチを「DVD」に切り換えると、本リモコンで他社製の HDD 内蔵 DVD レコーダーの基本操作ができます。(66 ページ)
❖ DVD レコーダーのメーカー設定が必要です。

③ 他社製 HDD 内蔵 DVD レコーダーの電源を入 / 切します。(66 ページ)
❖ DVD レコーダーのメーカー設定が必要です。

④ PinP 表示： 2 画面表示のオン / オフを切り換えます。(80 ページ)
PinP 音声選択： 2 画面表示時の音声を親画面と子画面で切り換えます。(80 ページ)

⑤ 自動的に電源を切るときに使います。(87 ページ)

⑥ 外部接続機器の入力を切り換えます。(62 ページ)

⑦ チャンネルをチャンネル番号で選ぶときに使います。(42 ページ)

⑧ 文字を入力するとき、文字の入力モードを切り換えます。(76 ページ)

⑨ 文字を入力するとき、文字を 1 文字削除します。(77 ページ)

⑩ 放送を切り換えます。(40 ページ)

⑪ ポータルサイトに接続します。(72 ページ)

⑫ チャンネルを選ぶとき(41 ページ)や数字入力、文字入力(76 ページ)に使います。

⑬ メニュー操作のとき、画面を一つ前の画面に戻します。

⑭ メニュー操作のとき、メニューを終了します。
また、番組連動データ放送を受信しているときはデータ放送を、アクトビラを使用しているときはアクトビラを終了します。(25、73 ページ)

⑮ メニュー項目の選択や設定を決定するときに使います。

⑯ 番組連動データ放送を表示 / 終了します。(48 ページ)

⑰ 設定メニューを表示します。(89 ページ)

⑱ スピーカーとヘッドホンの音量を調節します。(20 ページ)

⑲ 番組表を表示します。(43 ページ)

⑳ スピーカーとヘッドホンの音声を一時的に消します。(20 ページ)

㉑ チャンネルを順送りで切り換えます。(42 ページ)

㉒「番組ナビ」メニューを表示します。(44 ページ)

㉓ 視聴中の番組の内容説明を表示します。(46 ページ)

㉔ デジタル放送選択時： 「便利機能」メニューを表示します。(30、42、46、60、82 ページ)
デジタル放送以外を選択時： 画面の表示サイズを切り換えます。(82 ページ)

㉕ デジタル放送や入力の情報を表示します。(88 ページ)

㉖ 字幕の表示(オン / オフ)や字幕言語を切り換えます。(47 ページ)

㉗ 音声を切り換えます。(47 ページ)

㉘ データ放送やメニュー操作などで項目を選択するときに使います。

注意

- **リモコンボタン下の青文字表記は他社製 HDD 内蔵 DVD レコーダー操作時の機能になります。(67 ページ)**

準備の流れ

以下の流れで必要な準備（設置・接続・設定）を行います。

地上デジタル放送	BSデジタル放送 110度CSデジタル放送

- リモコンに乾電池を入れる　➔ 2 ページ
- **B-CAS**カードを取り付ける　➔ 2 ページ
  - ❖ 必ずB-CASカードの登録を行ってください。詳しくは、付属の「デジタル放送受信契約申込書」をご覧ください。
- （地上デジタル放送）**UHF**アンテナを接続する　➔ 6 ページ
- （BS・110度CSデジタル放送）BS・110度CSデジタル用アンテナを接続する　➔ 7 ページ
  - ❖ アンテナを接続した後に、アンテナの方向調整が必要になる場合があります。
- 必要に応じて：
  - ●電話回線を接続する　➔ 8 ページ
  - ●ネットワークに接続する　➔ 10 ページ
  - ●いろいろな機器を接続する　➔ 11 ページ
  - ❖ 電話回線の接続は、ペイ・パー・ビューの視聴や データ放送の双方向通信サービスの利用、B-CASカード情報の送信などに必要です。
    電話回線を接続した場合は、［電話設定］（32ページ）を行ってください。
  - ❖ ネットワークの接続は、アクトビラを利用する場合に必要です。
    ネットワークに接続した場合は［ネットワーク設定］（68ページ）を行ってください。
  - ❖ 外部機器によっては、接続した後で設定が必要な場合があります。
- 電源コードを接続する　➔ 18 ページ
- ケーブル類をまとめる　➔ 18 ページ
- 転倒防止の処置をする　➔ 19 ページ
- 角度を調節する　➔ 19 ページ
- かんたん設置設定をする　➔ 21 ページ
  デジタル放送を見るための設定を行います。

以上で準備完了です。

- ❖ 設定が終了したら、必要に応じて画面や音声の調整を行ってください。
- ❖ BS・110度CSデジタル放送では、別途各放送局と受信契約が必要になる場合があります。

- 必要に応じて：より詳しい設定をする　➔ 24 ページ
  - ❖ 使用用途や目的に応じて、設定してください。

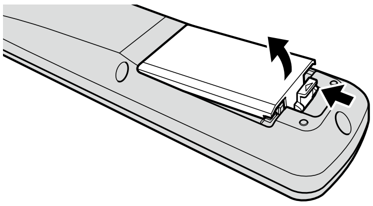
（破線枠）は必要に応じて行ってください。

準備
テレビを見る
外部機器を使う
アクトビラでホームページを見る
もっと使いこなす
トラブル時の対処
付録

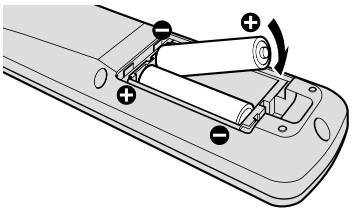
リモコンに電池を入れる　B-CAS カードを装着する

リモコンに乾電池を入れる

1 **リモコンの底面を上にし、つまみを押してロックを外し、カバーを取り外す**



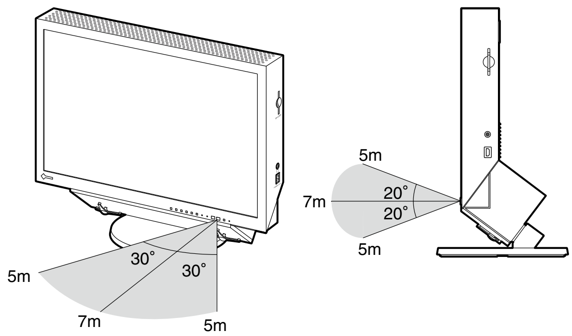
2 **単 3 形乾電池を入れ、カバーを元に戻す**



❖ 乾電池を入れる向きに注意してください。

■ リモコンの受信範囲

リモコンは図の範囲内から操作してください。



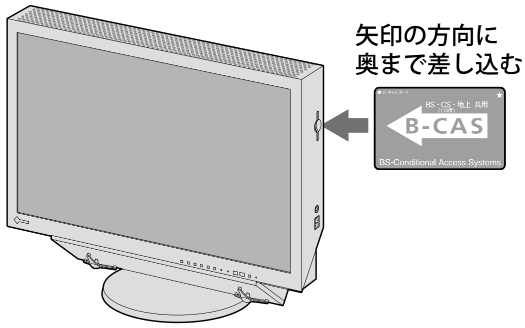
B-CAS カードを装着する

付属の B-CAS カードを本体に挿入しないと、デジタル放送の視聴はできません。デジタル放送をご覧になる前に、必ず挿入してください。（B-CAS カードは常に挿入しておいてください）
また、B-CAS カードのユーザー登録をおすすめします。（登録は任意で無料です）詳しくは B-CAS カードが貼ってある台紙の説明をご覧ください。

❖ カードを紛失した場合や盗難にあった場合、また、破損したり汚れたりした場合には、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにご連絡ください。連絡先は、B-CAS カードが貼ってある台紙に記載されています。

1 **側面挿入口に、矢印の方向に B-CAS カードを差し込む**

奥までしっかりと差し込んでください。



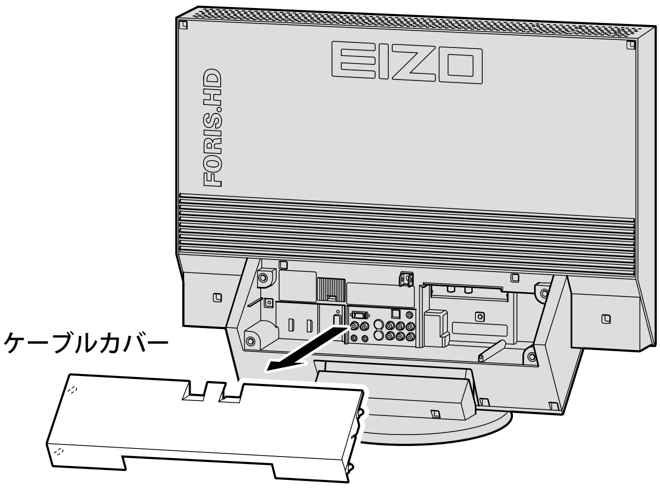
CS 放送など、契約の必要なチャンネルの受信契約をする際には、加入申込書に B-CAS カードの説明紙に付いている「加入申込書用バーコードシール」を貼るか、B-CAS カードの登録番号を記入する必要があります。

❖ B-CAS カードの登録番号は、B-CAS カードを取り出さなくてもテレビ画面に表示することができます。詳しくは、「いろいろな情報を見る」（52 ページ）をご覧ください。

接続する

接続する前に

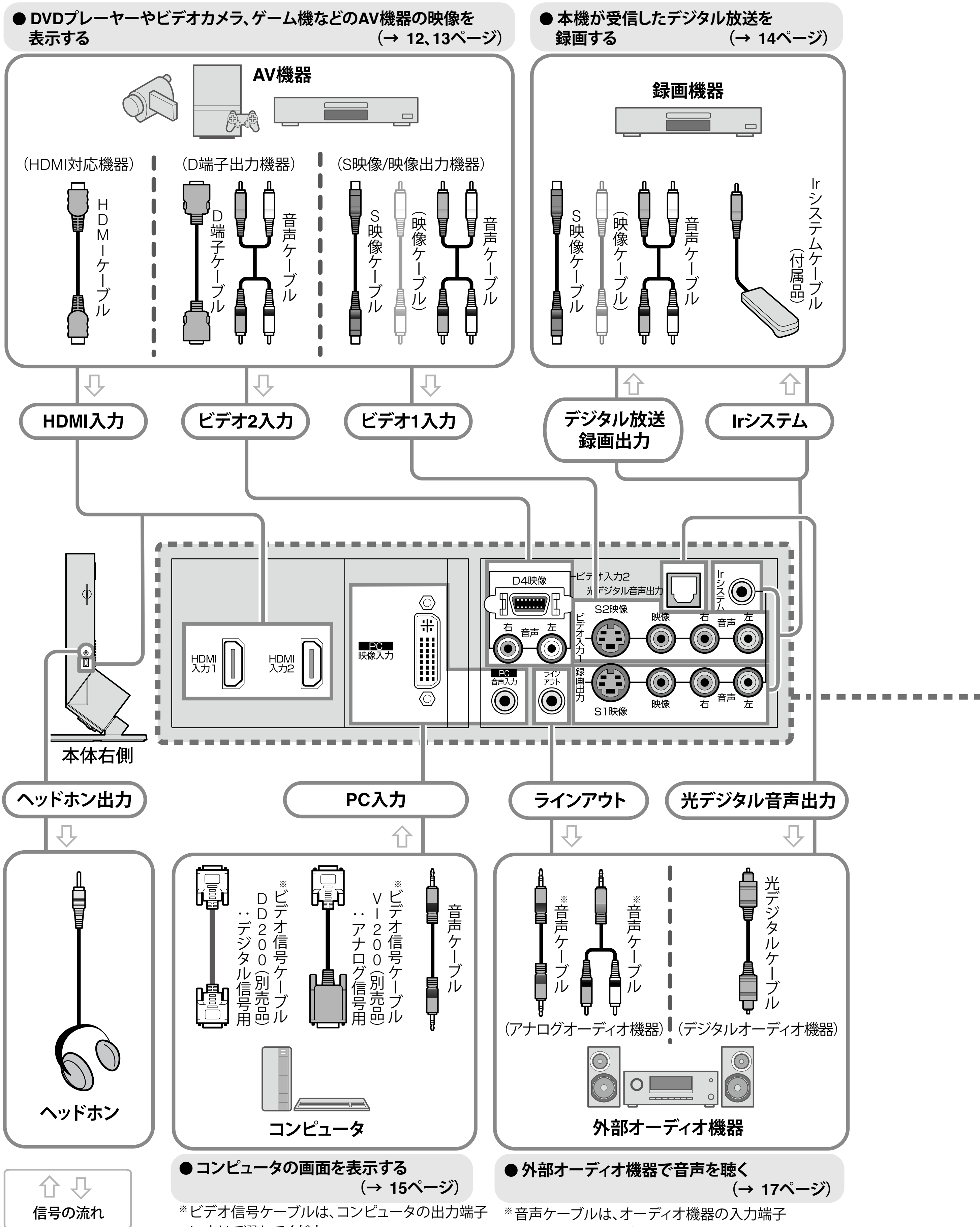
本体背面のケーブルカバーを取り外してください。



準備
テレビを見る
外部機器を使う
アクトビラでホームページを見る
もっと使いこなす
トラブル時の対処
付録

接続する（つづき）

■ 接続概略図

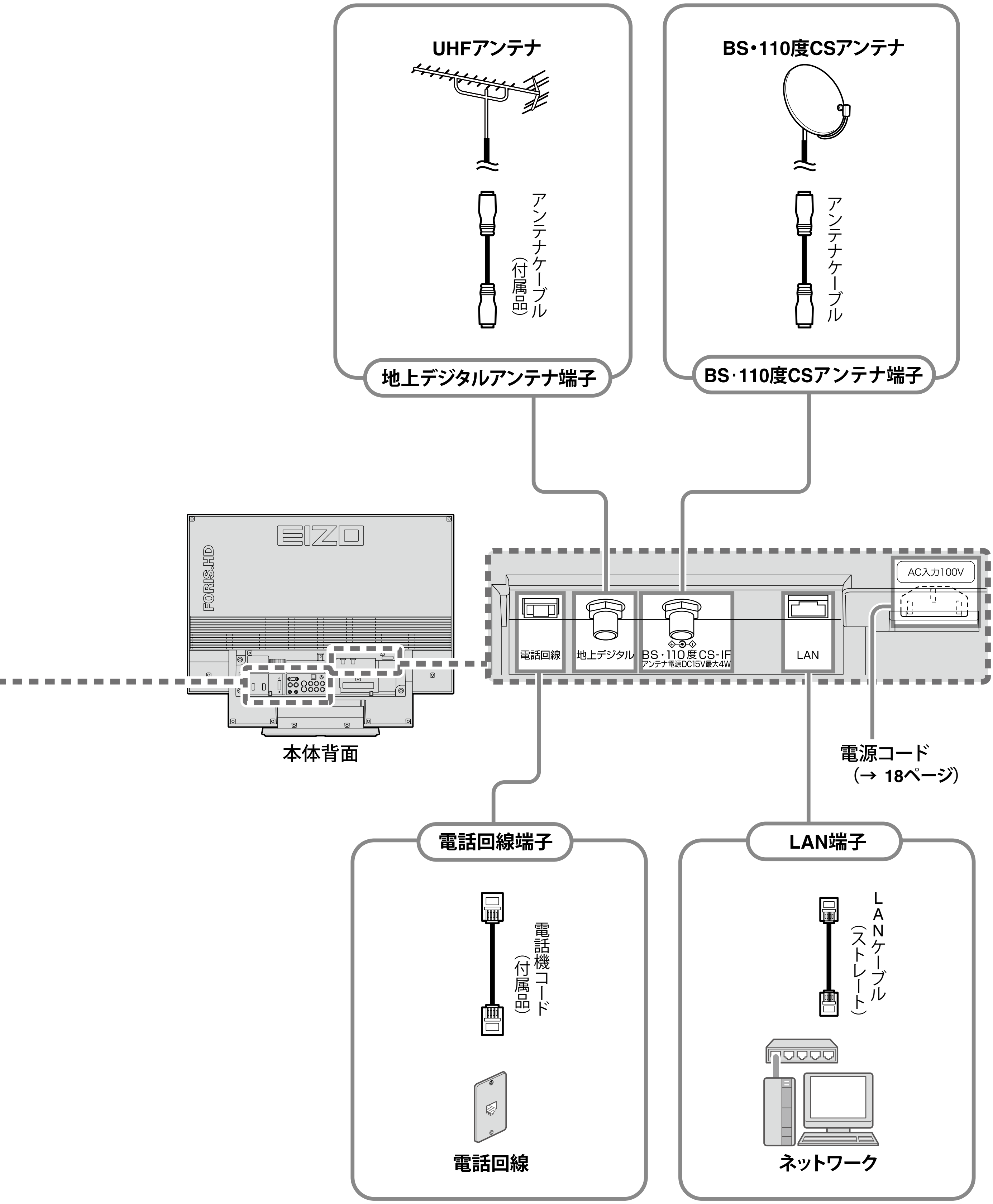


※ビデオ信号ケーブルは、コンピュータの出力端子に応じて選んでください。

※音声ケーブルは、オーディオ機器の入力端子に応じて選んでください。

● 地上デジタル放送を受信する (→ 6ページ)

● BS・110度CSデジタル放送を受信する (→ 7ページ)



● 有料放送や双方向通信サービスなどを利用する (→ 8ページ)

● アクトビラを利用する (→ 10ページ)

接続する（つづき）

アンテナを接続する

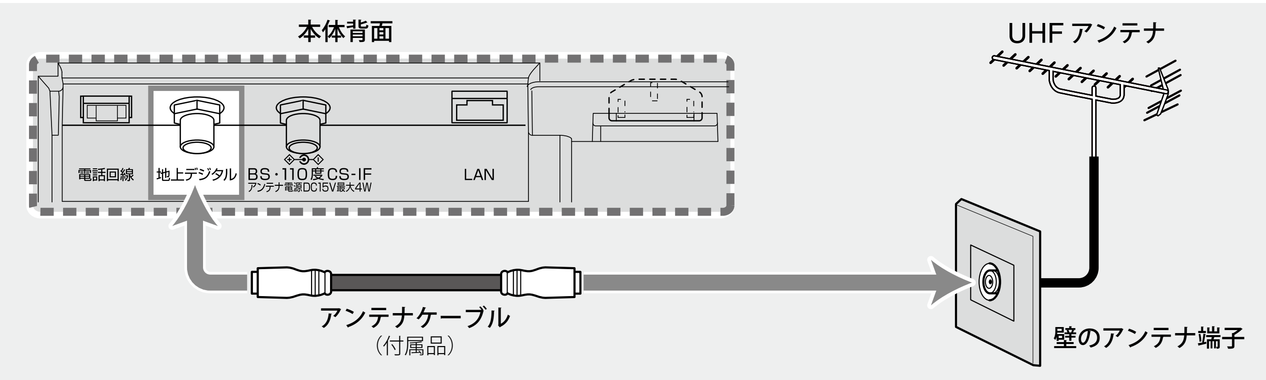
アンテナの設置は販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

UHF アンテナを接続する

❖ 地上デジタル放送は、UHF アンテナを使って受信します。現在使用しているアンテナやお住まいの地域に応じて、次のように設置してください。

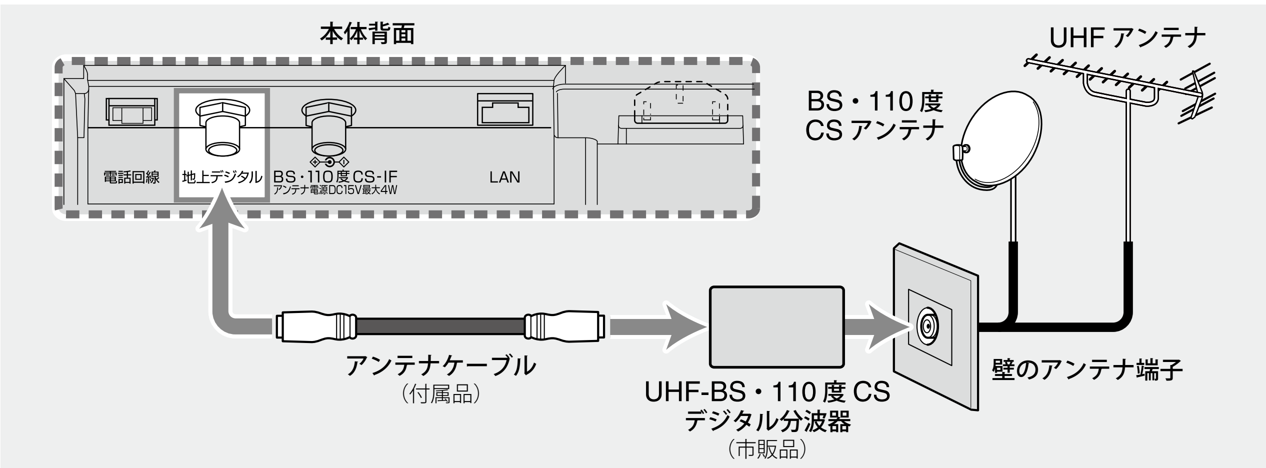
- VHF アンテナのみ設置されている場合
  地上デジタル放送に対応した UHF アンテナの設置が必要です。
- UHF アンテナが設置されている場合
  そのまま地上デジタル放送を受信できる場合がありますが、次のような場合は、アンテナの調整や新たに地上デジタル放送に対応したアンテナの設置が必要です。
  – 地上デジタル放送のチャンネルと合わない場合
  – 地上アナログ放送と地上デジタル放送の電波の来る方向が違う場合

■ 地上デジタル用と BS・110 度 CS デジタル用のアンテナ端子が別になっている場合



❖ デジタル放送の映りが悪い場合は、アンテナの方向調整が必要になることがあります。（31 ページ）
方向調整は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

■ 地上デジタル放送と BS・110 度 CS デジタル放送の電波が混合され、アンテナ端子がひとつになっている場合（集合住宅の共同アンテナなど）



❖ ケーブルテレビ（CATV）で地上デジタル放送が伝送される場合もあります。詳しくは、共同アンテナの管理者（マンション管理者や管理組合など）やケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

BS・110 度 CS デジタル用アンテナを接続する

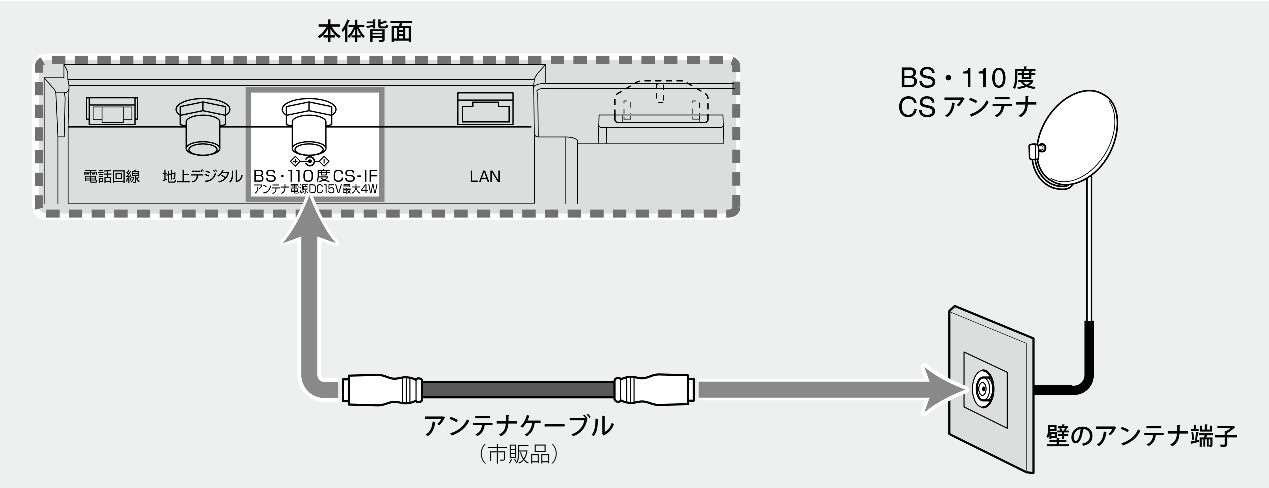
❖ BS デジタル放送と 110 度 CS デジタル放送の両方をご覧になる場合は、BS・110 度 CS デジタル用アンテナが必要です。BS デジタル放送だけをご覧になる場合は、BS デジタル用アンテナを接続します。

❖ 従来の BS アンテナで、BS デジタル放送が安定して受信できない場合は、BS デジタル用、または BS・110 度 CS デジタル用のアンテナを使用してください。

❖ BS - CS 分配器やブースターなどをお使いになる場合は、110 度 CS デジタル放送（周波数 2150MHz 以上）に対応したものを使用してください。

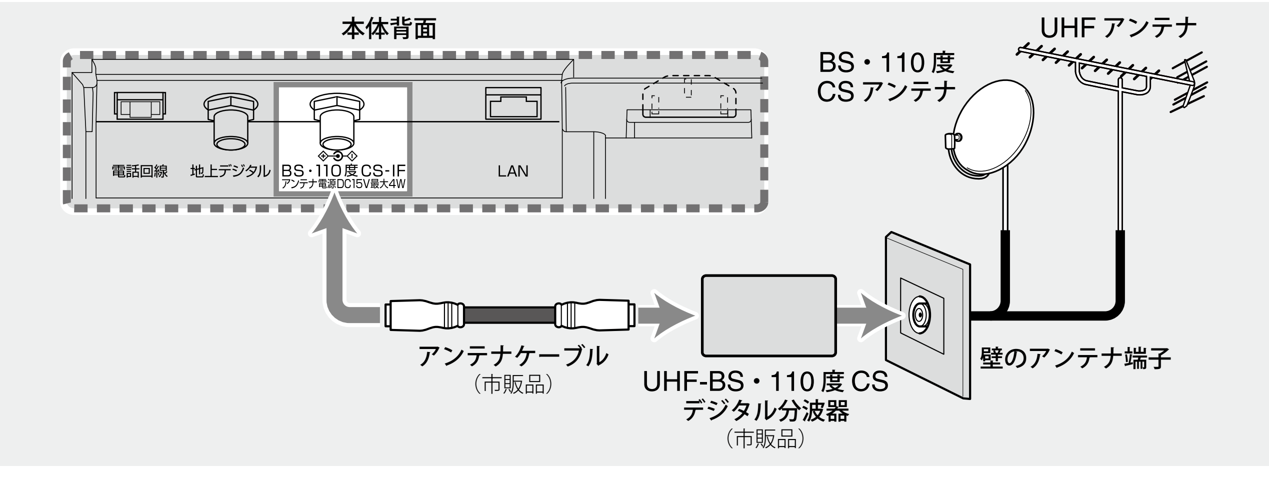
❖ スカイパーフェク TV ! 用のアンテナでは、110 度 CS デジタル放送は受信できません。

■ BS・110 度 CS デジタル用と地上デジタル用のアンテナ端子が別になっている場合



❖ デジタル放送の映りが悪い場合は、アンテナの方向調整が必要になることがあります。(31 ページ)
方向調整は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

■ BS・110 度 CS デジタル放送と地上デジタル放送の電波が混合され、アンテナ端子がひとつになっている場合（集合住宅の共同アンテナなど）



❖ 共同アンテナをご使用の場合などで、すでに別の機器からアンテナ電源を供給されているときは、アンテナ電源の設定を「オフ」に変更してください。(31 ページ)

接続する（つづき）

電話回線を接続する

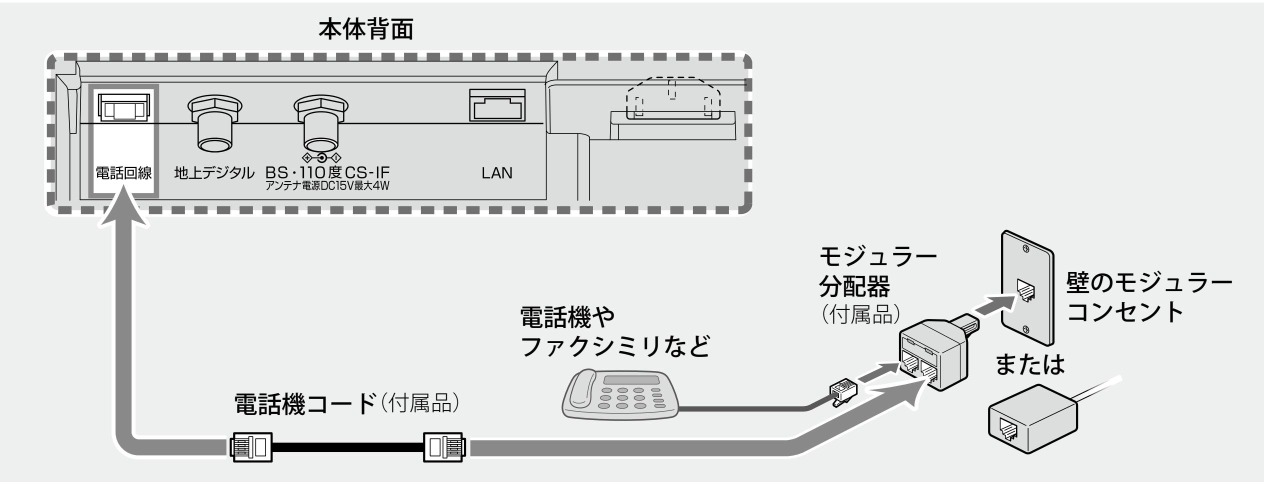
B-CAS カードに登録された情報を送信したり、データ放送やペイ・パー・ビュー番組、視聴者参加番組を楽しむときに必要です。

■ 接続する前に

- 次の電話回線には接続できません。
  – デジタル方式の構内交換機に接続されている電話回線
  –「内線設定」が、9 桁以上必要な構内交換機の電話回線
  – ホームテレホンやビジネスホンが接続されている電話回線
  （主装置、ターミナルボックス、ドアホンアダプターが接続）
- ひかり電話、IP 電話をお使いの場合、データ放送の双方向サービスが利用できない場合があります。詳しくはご契約の電話業者にお問い合わせください。

モジュラーコンセントに接続する場合

❖ はじめに、電話回線コンセントを確認してください。モジュラーコンセントでない場合は工事が必要です。電話回線に関する工事は資格を受けた人（工事担当者）でなければ行えません。ご購入の販売店もしくは NTT 営業所へご相談ください。



注意
- **電話機コードを、LAN（10BASE-T）端子に、挿入しないでください。電話機が使えなくなったり、本機の故障の原因となります。**
- **電話機コードを抜き差しするときは、本機と接続している機器の電源を切り、電話機コードのプラグをコンセントから抜いてください。**

❖ 本機がセンターと通信しているときは、電話機やファクシミリは使用できません。

❖ ダイヤル式電話機をお使いの場合は、本機が放送局と通信を行っているときに、電話機の呼出音が鳴る場合があります。呼出音が鳴らないようにするには、電話回線との接続に、付属のモジュラー分配器ではなく、市販の電話回線切換器を使用してください。

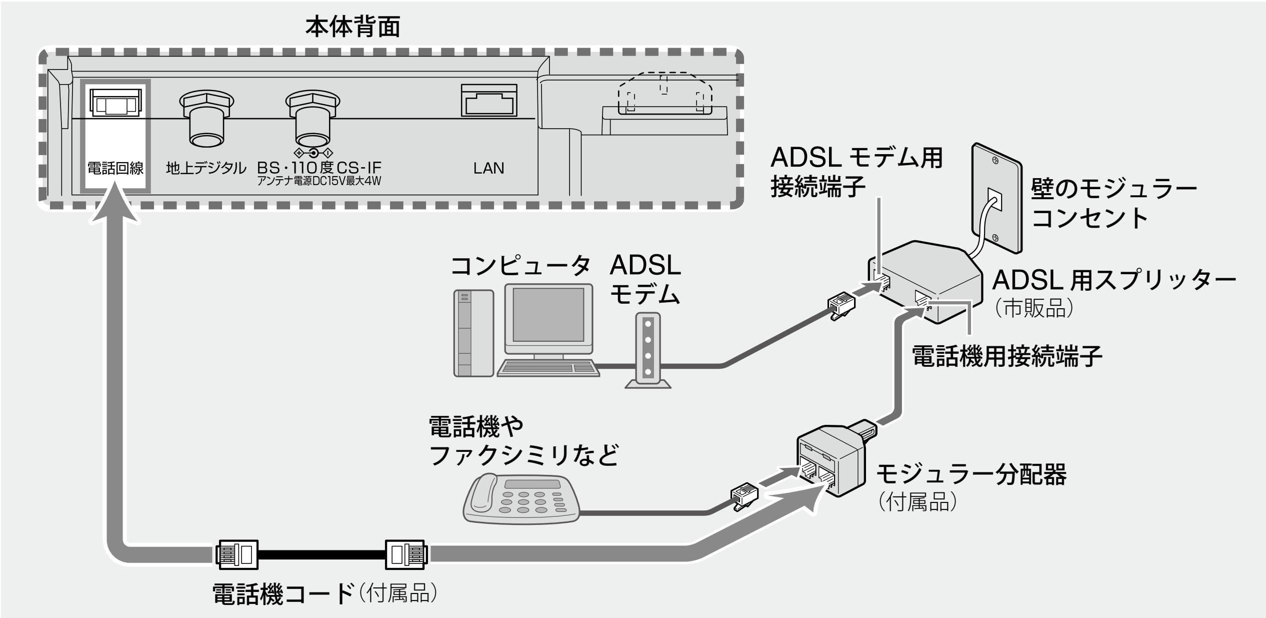
❖ 同じ電話回線に、3 つの機器（電話機やコンピュータ、ファクシミリなど）を一緒に接続すると、接続した機器の影響で電話機の呼出音が鳴ったり、正しく通信できなかったりすることがあります。このような場合は、モジュラー分配器ではなく、市販の 3 分配用モジュラー分配器を使用して、電話回線に接続してください。

❖ 電話機コードは、冷蔵庫などのモーターを使った機器の近くには近づけないでください。ノイズが混入して誤動作することがあります。

その他の接続の場合

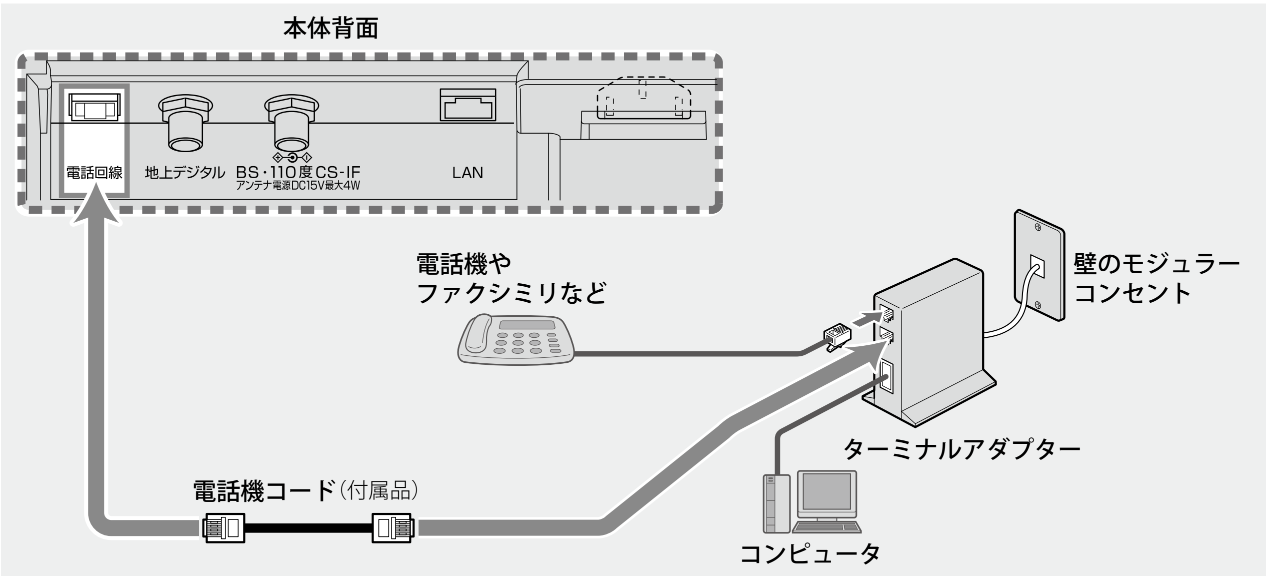
■ ADSL に接続する

電話回線に ADSL モデムが接続されている場合は、ADSL 用スプリッター（市販品）を使用し、ADSL 用スプリッターの電話機用接続端子にモジュラー分配器（付属）をつないで、本機を接続してください。詳しくは、スプリッターの取扱説明書をご覧ください。



■ ISDN に接続する

ターミナルアダプターのアナログポートに電話機コードを接続してください。詳しくは、ターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。



❖ ISDN 回線でターミナルアダプターのアナログポートに接続している場合は、［電話設定］の［回線設定］で「プッシュ」を選んでください。（32 ページ）

接続する（つづき）

ネットワークに接続する

アクトビラを利用する場合に接続します。
ここでは、ブロードバンド環境をすでにお持ちであることを前提に、ADSL モデムに本機を接続する例を説明します。接続については、ADSL モデムやルーターの取扱説明書もご覧ください。

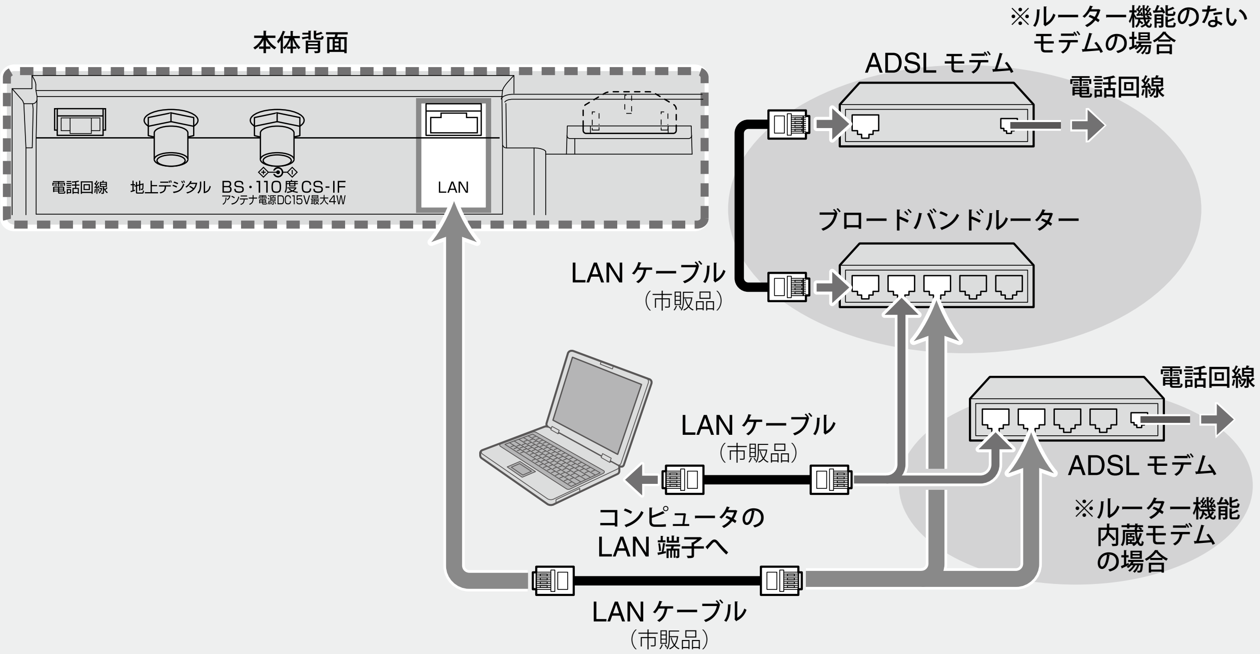
❖ ブロードバンド環境をお持ちでない場合、導入や契約については ADSL などの回線事業者にご相談ください。

❖ 本機では、ADSL モデムやルーターの設定はできません。ADSL モデムやルーターによっては、コンピュータでの設定が必要な場合があります。

❖ ケーブルテレビインターネットのケーブルモデムへの接続については、ご利用のケーブルテレビ会社にご相談ください。

❖ ブロードバンドルーターやハブは、必ず 10BASE-T に対応しているものをお使いください。（100BASE-TX 専用の環境ではお使いいただけません。10BASE-T/100BASE-TX 両対応のルーターやハブはお使いいただけます）

❖ 接続後は、必ず［ネットワーク設定］（68 ページ）を行ってください。



❖ LAN ケーブルはストレートタイプをご使用ください。

■ 本機の MAC アドレスの確認のしかた

ルーターの設定などで、本機の MAC アドレスを確認するときは、次の手順で行います。

❶ デジタル放送に切り換え、［番組ナビ］を押します。

❷ ▼▲ で［初期設定］を選び、（決定）を押します。

❸ ▼▲ で［設置設定］を選び、（決定）を 3 秒以上押します。

❹ ▼▲ で［ネットワーク設定］を選び、（決定）を押します。

❺ ▼▲ で「MAC アドレス」の項目を表示し確認します。

いろいろな機器を接続する

AV 機器を接続する

DVD プレーヤーやビデオカメラ、ゲーム機などの AV 機器を接続して、本機で映像と音声を再生することができます。
高精細、高画質に対応した出力端子につなぐとよりきれいな映像が楽しめます。

接続する機器	参照先
・HDMI 出力端子がある場合 HDMI 出力端子	「HDMI 対応機器の場合」（12 ページ）
・D 映像出力端子がある場合 D 映像出力端子	「D 映像出力端子付きの機器の場合」（13 ページ）
・S 映像 / 映像出力端子がある場合 S 映像出力端子 映像出力端子	「S 映像 / 映像出力端子付きの機器の場合」（13 ページ）

より高画質

接続する（つづき）

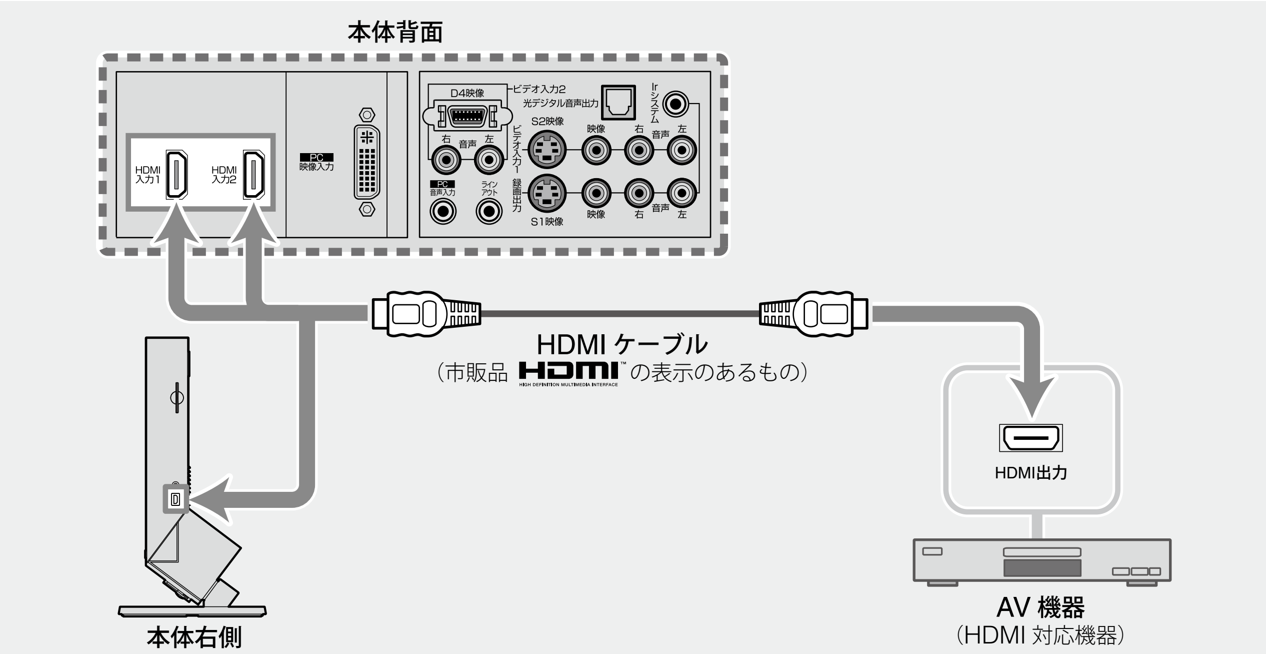
■ HDMI 対応機器の場合

HDMI 対応機器では、HDMI ケーブルを 1 本接続するだけで、デジタル信号のまま映像信号と音声信号の両方を入力することができます。

❖ 本機が対応している入力信号フォーマットは次のとおりです。

　ー 映像：525i（480i）、525p（480p）、1125i（1080i）、750p（720p）：60Hz
　　　　　1125p（1080p）：60Hz/24Hz

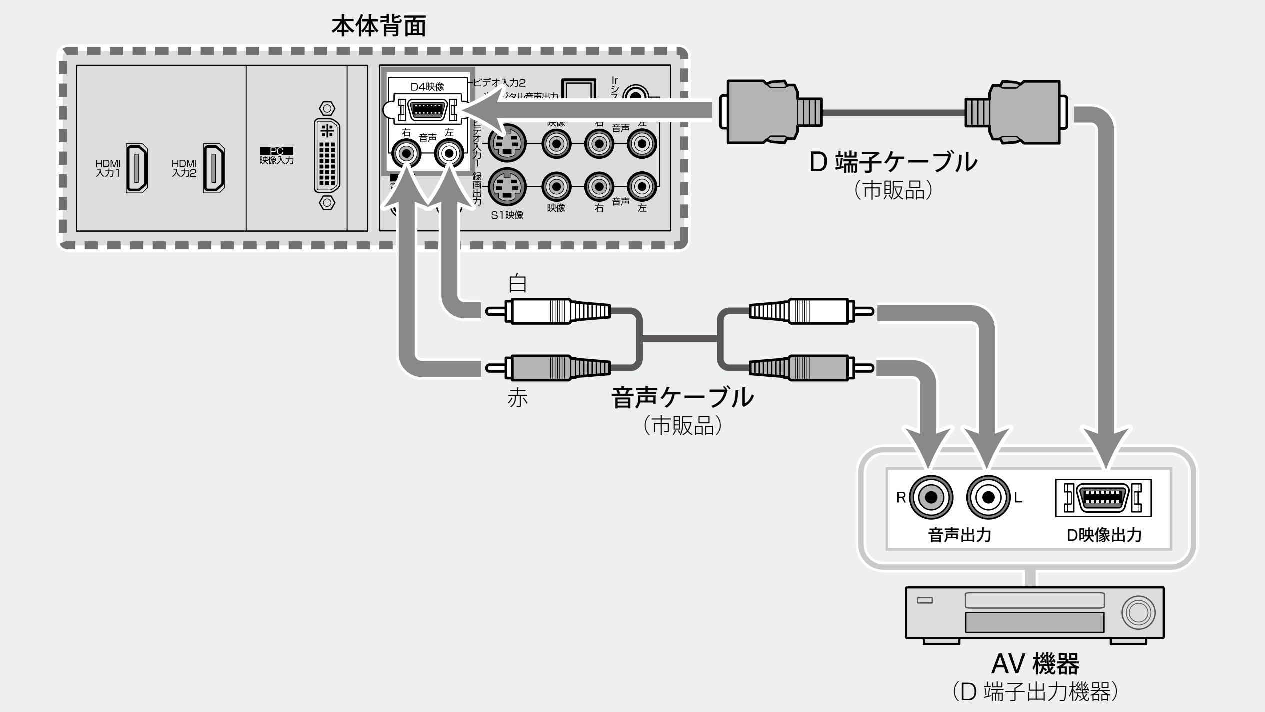
　ー 音声：2ch リニア PCM（32kHz/44.1kHz/48kHz/88.2kHz/96kHz/176.4kHz/192kHz）



❖ 本機の HDMI 入力端子は、コンピュータからの入力には対応していません。

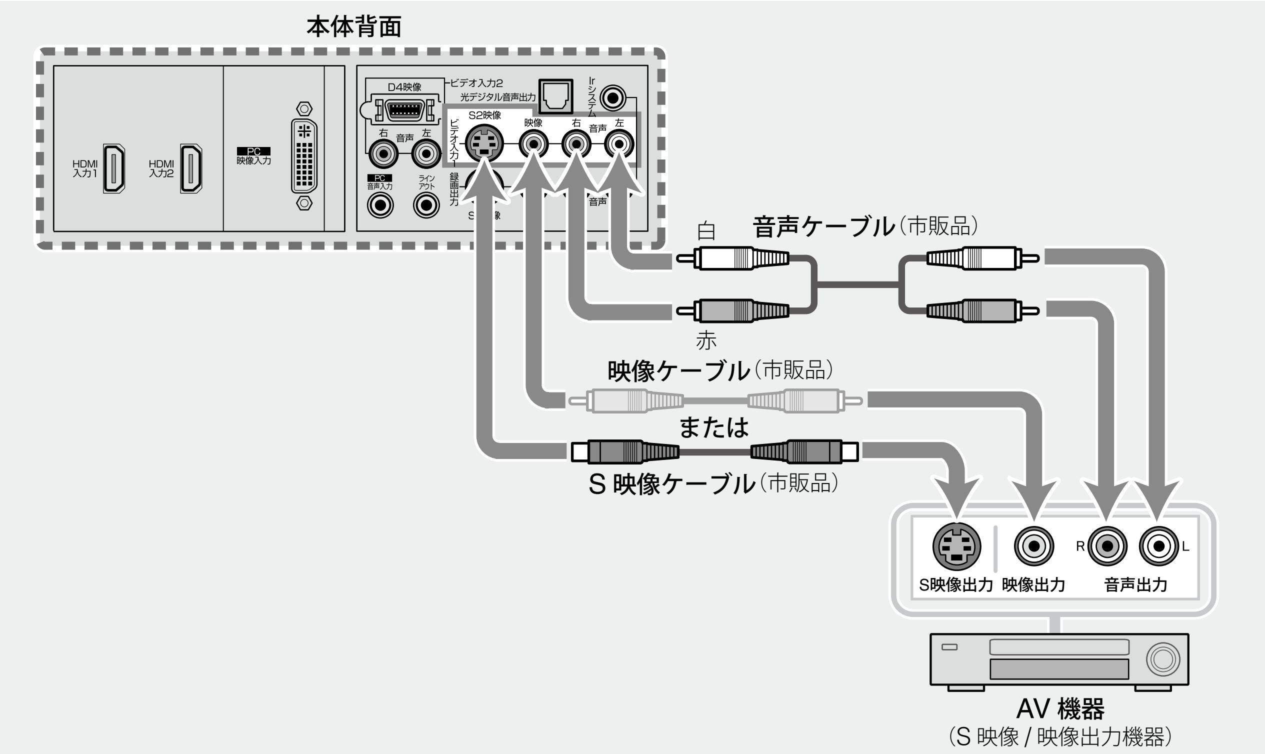
■ D 映像出力端子付きの機器の場合

❖ 本機が対応している入力信号フォーマットは次のとおりです。
– 525i（480i）、525p（480p）、1125i（1080i）、750p（720p）：60Hz



■ S 映像 / 映像出力端子付きの機器の場合

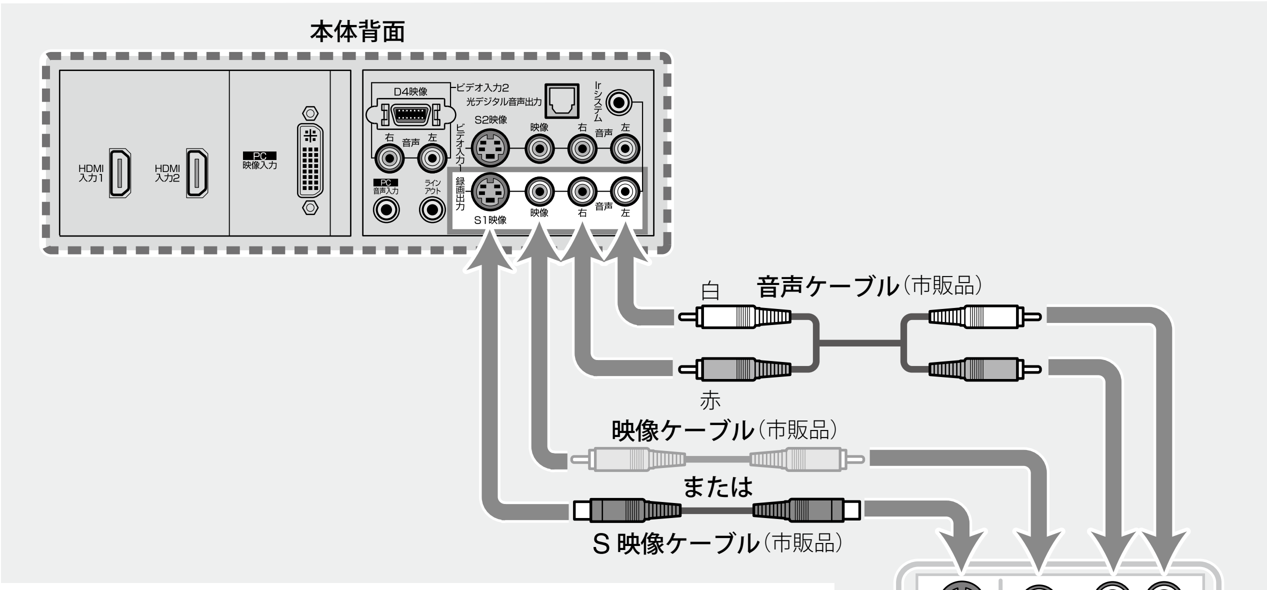
❖ S 映像ケーブルと映像ケーブルは同時に接続せず、どちらか一方を接続してください。S 映像入力端子に接続すると、映像入力端子より高画質な映像を楽しめます。

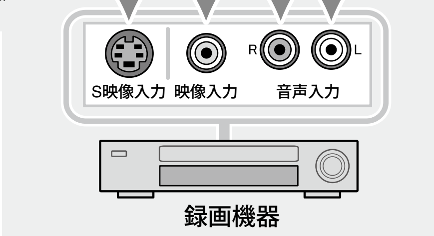


接続する（つづき）

録画機器を接続する

ビデオ、DVD レコーダーなどを接続して、本機が受信したデジタル放送を録画することができます。





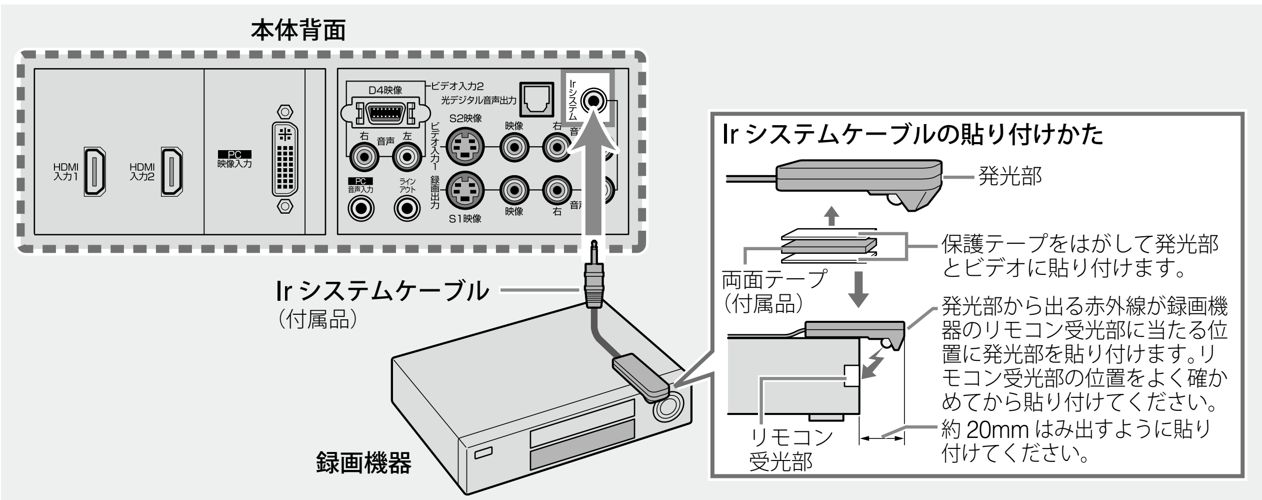
❖ 著作権保護された番組を本機のデジタル放送録画出力端子から録画する場合、著作権保護の機能が働き、正しく録画できません。また、この機能によりデジタル放送録画出力端子からの信号をアナログビデオなどを経由して、本機または他の機器に入力した場合、画質が劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。

■ Ir システムケーブルを接続する

付属の Ir システムケーブルを接続し、「番組ナビ」メニュー［初期設定］-［接続機器関連設定］の［Ir システム設定］（34 ページ）で録画機器の設定を行うと、本機から録画機器をコントロールして、デジタル放送を録画することができます。

❖［Ir システム設定］で設定できない録画機器は、本機からコントロールできません。この場合、録画機器側で録画などの操作が必要になります。

❖ 録画のしかたについては、54 ページをご覧ください。



コンピュータを接続する

本機は、コンピュータのモニターとして使用することができます。

❖ 別のモニターから本機に置き換える場合、必ず本機と接続する前に、コンピュータの画面設定（解像度、周波数）を本機で表示できる設定（下記参照）に変更しておいてください。

❖ 本機が対応している入力信号は次のとおりです。
下記以外の解像度および周波数を入力した場合、正常に表示できない場合があります。

解像度	周波数	備　考	デジタル信号入力の場合	アナログ信号入力の場合
			ドットクロック（~ 162 MHz）	ドットクロック（~ 162 MHz）
640 × 400	70Hz	NEC PC-9821	—	○
640 × 480	67Hz	Apple Macintosh	—	○
640 × 480	~75Hz	VGA, VESA	○（60Hz）	○
720 × 400	70Hz	VGA TEXT	○	○
720 × 480	60Hz	VESA	○	○
848 × 480	60Hz	VESA	○	○
800 × 600	~75Hz	VESA	○（60Hz）	○
832 × 624	75Hz	Apple Macintosh	—	○
1024 × 768	~75Hz	VESA	○（60Hz）	○
1152 × 864	75Hz	VESA	—	○
1152 × 870	75Hz	Apple Macintosh	—	○
1280 × 768 ※1	60Hz	VESA CVT RB	—	○
1280 × 768 ※1	~75Hz	VESA CVT	—	○
1280 × 960	60Hz	VESA	○	○
1280 × 960	75Hz	Apple Macintosh	—	○
1280 × 1024	~75Hz	VESA	○（60Hz）	○
1360 × 768	60Hz	VESA	—	○
1600 × 1200	60Hz	VESA	○	○
1680 × 1050 ※1	60Hz	VESA CVT	○	○
1680 × 1050 ※1	60Hz	VESA CVT RB	○	○
1920 × 1200 ※1 ※2	60Hz	VESA CVT RB	○	○
1280 × 750p（720p）※3	60Hz	750p（720p）	○	○
1920 × 1125p（1080p）※3	60Hz	1125p（1080p）	○	○

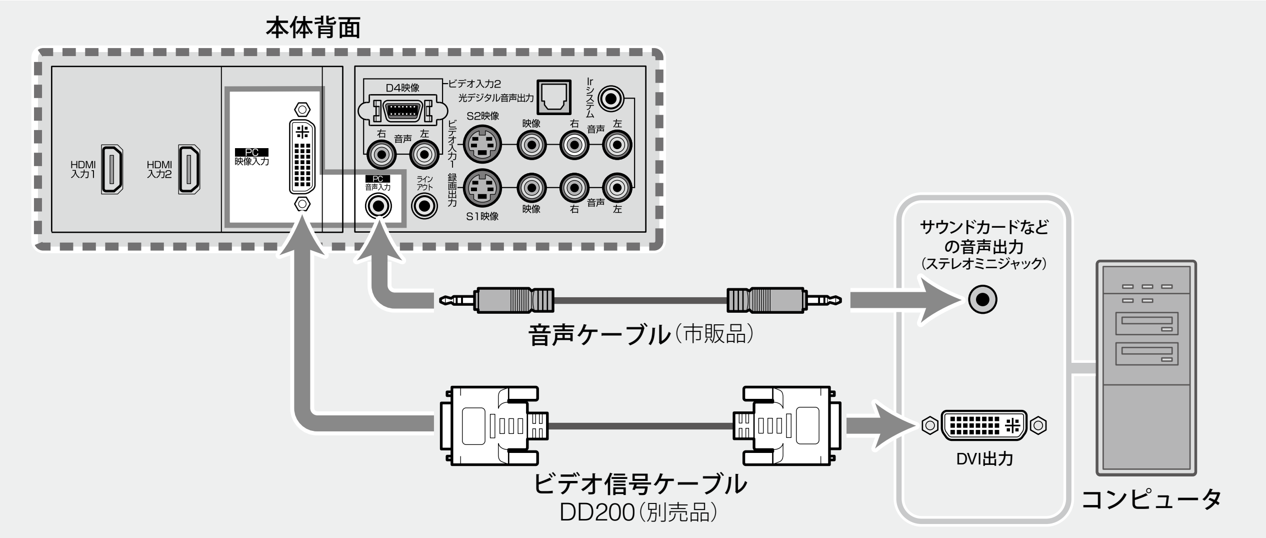
※1 Wide の信号を表示する場合は、VESA CVT 規格に準拠したグラフィックスボードが必要です。
※2 推奨解像度です。（この解像度に設定してお使いください）
※3 一部の AV 機器用途

❖ 接続するコンピュータにより表示位置などがずれた場合は、画面調整が必要になる場合があります。（その場合は、設定メニューの［入力設定］-［自動画面調整］（64 ページ）を行ってください）

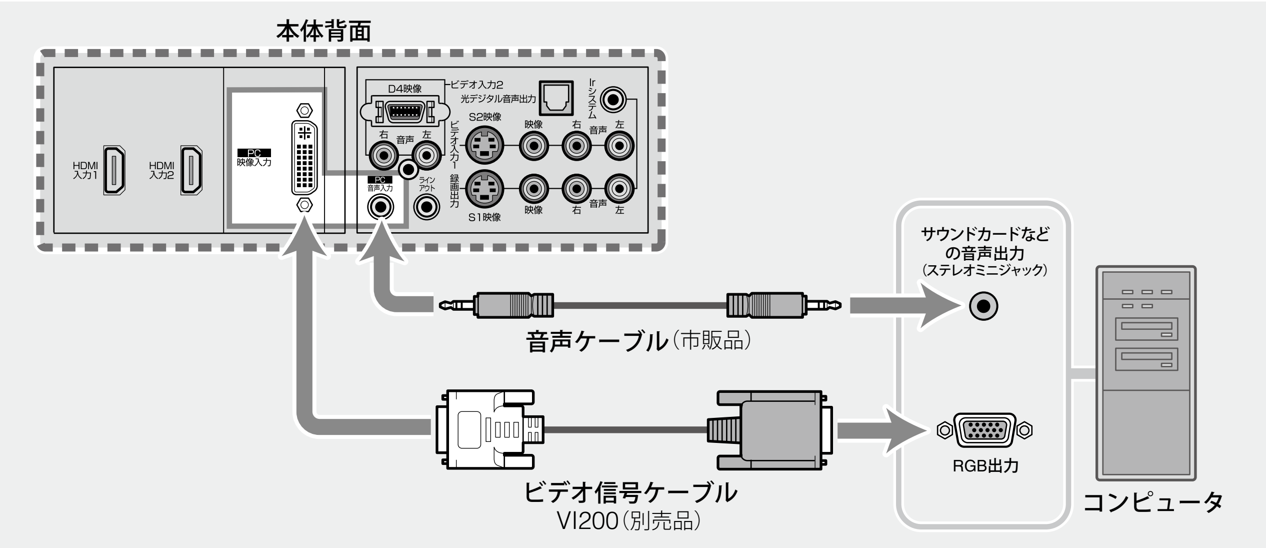
次ページにつづく >>

接続する（つづき）

■ デジタル接続の場合



■ アナログ接続の場合

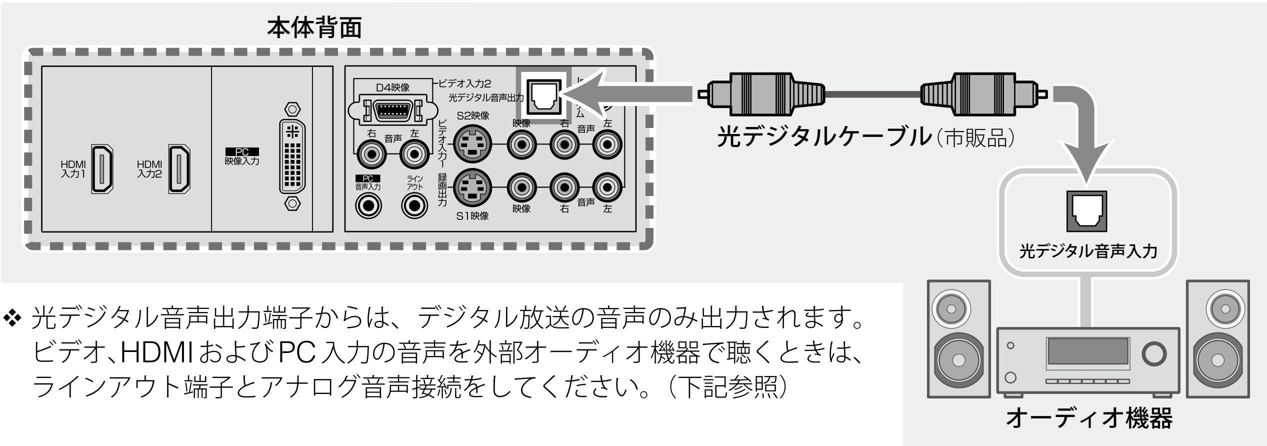


外部オーディオ機器を接続する

本機の光デジタル音声出力端子およびラインアウト端子に、外部アンプとスピーカーを接続して音声を聴くことができます。

■ 光デジタル音声入力対応のオーディオ機器を接続する場合

❖ 光デジタルケーブルを配線するときは、無理に曲げたりしないよう注意してください。ケーブルが破損し、音声が伝達できなくなることがあります。（使用するケーブルの屈曲を確認しておくことをおすすめします）

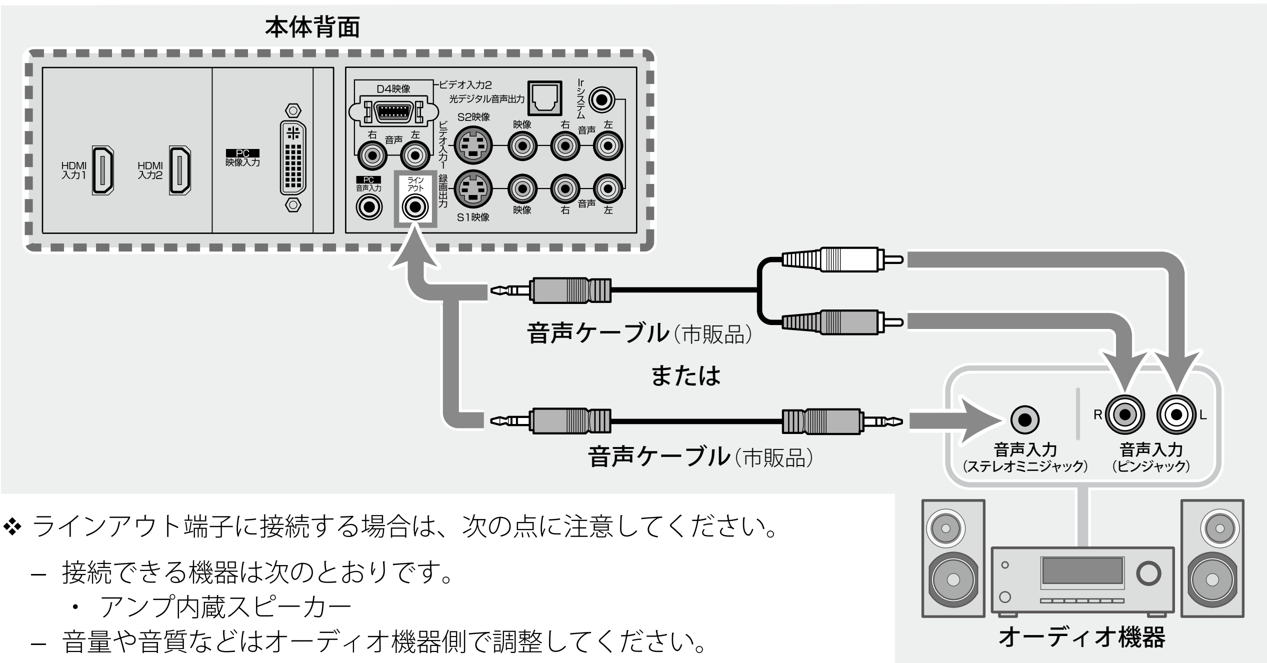


❖ 光デジタル音声出力端子からは、デジタル放送の音声のみ出力されます。ビデオ､HDMI およびPC 入力の音声を外部オーディオ機器で聴くときは、ラインアウト端子とアナログ音声接続をしてください。（下記参照）

❖ 光デジタル音声出力端子に接続する場合は、次の点に注意してください。

– 接続できる機器は次のとおりです。
  ・ MPEG-2 AAC 対応のアンプおよびデコーダー
– 接続する機器が AAC 対応の場合、「番組ナビ」メニュー［初期設定］-「接続機器関連設定］の［デジタル音声出力］設定を「AAC」にしてください（35 ページ）。
– 本機では、常にデジタル放送の音声が光デジタル音声出力端子から出力されます。
– 音量や音質などはオーディオ機器側で調整してください。

■ アナログ音声入力対応のオーディオ機器を接続する場合



❖ ラインアウト端子に接続する場合は、次の点に注意してください。

– 接続できる機器は次のとおりです。
  ・ アンプ内蔵スピーカー
– 音量や音質などはオーディオ機器側で調整してください。

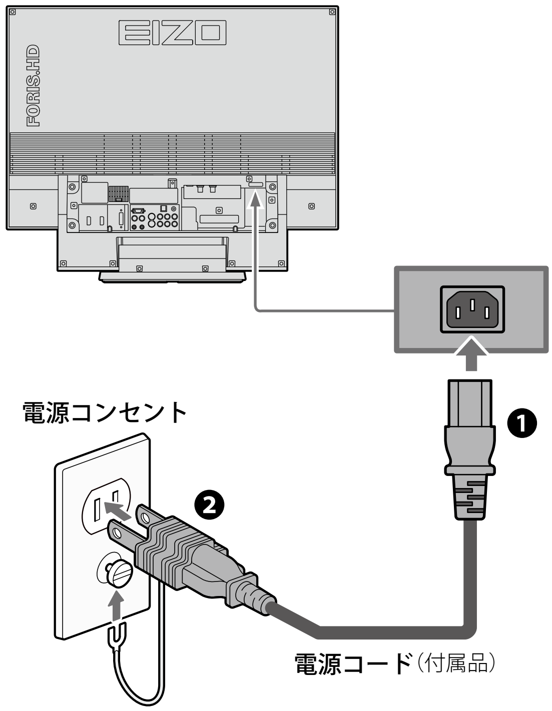
接続する（つづき）

電源コードを接続する

注意
- 電源コードは、必ずすべての機器の接続が終わった後で接続してください。

電源コードは、❶❷の順に接続してください。

❖ 電源コードを接続すると、電源ランプが赤く点灯し、スタンバイ状態になります。



⚠ 警告

付属の電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する

付属の電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。誤った接続をすると火災や感電の原因となります。

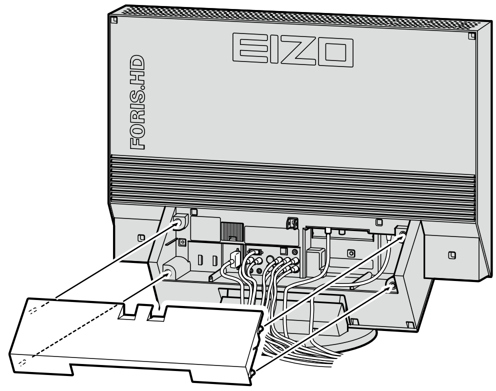
付属の二芯アダプタを使用し、安全（感電防止）および電磁界輻射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する

アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。

ケーブル類をまとめる

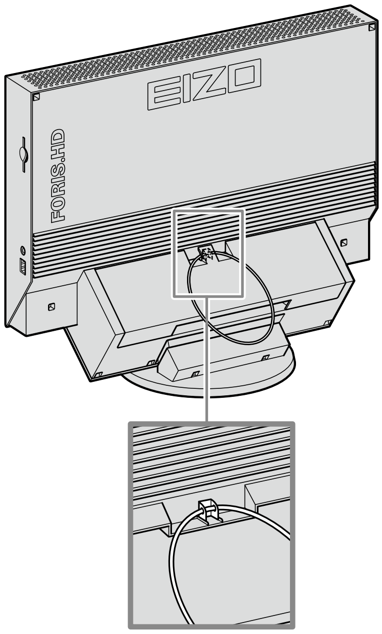
接続が終わったら、ケーブル類をまとめ、ケーブルカバーを取り付けます。

❖ カバーの突起を本体の穴に入れしっかりと押し込んでください。

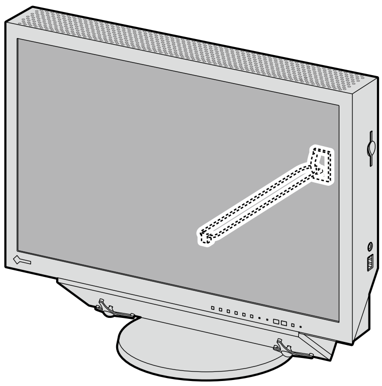


転倒防止の処置をする

1 **本体背面の転倒防止用フックの穴に、ワイヤー（直径 3 ～ 4mm）などを通す**



2 **壁面や柱にフックなどを取り付け、ワイヤーをしっかりと固定する**



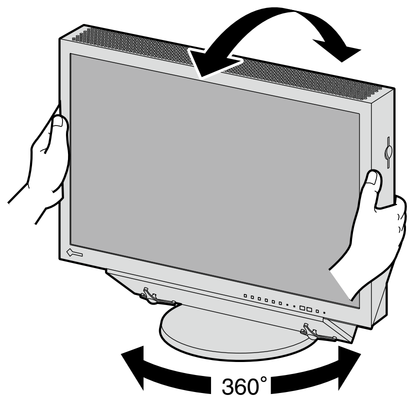
❖ ワイヤーやフックは付属しておりません。別途ご用意ください。

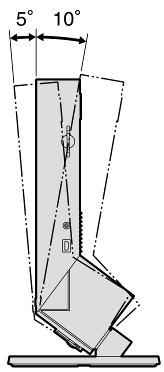
注意

- 前後左右の角度調節を考慮して、ワイヤーの長さを調節してください。

角度を調節する

1 **画面の前後左右の角度を見やすい状態になるように調節する**





注意

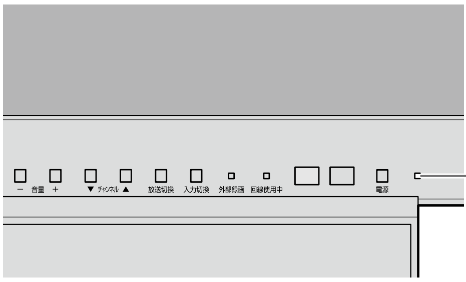
- 左右回転時、接続コードを無理に引っ張ったりして傷つけないようにご注意ください。

電源を入れる / 切る

電源を入れる

1 リモコンの電源◯（または本体の□電源）を押す

電源ランプが緑に点灯して、映像が表示されます。



電源ランプ

❖ 映像が表示されるまでにしばらく時間がかかることがあります。

❖ 電源を入れたときに「FORIS.HD」ロゴが表示されます。

はじめて電源を入れたときは、かんたん設置設定画面が表示されます。（21 ページ）

2 回目からは、前回電源を切ったときの放送または入力の画面が表示されます。

電源を切る

1 リモコンの電源◯（または本体の□電源）を押す

電源ランプが赤く点灯し、スタンバイ状態になります。

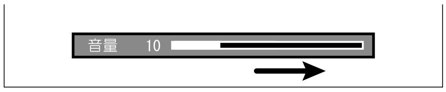
⚠ 注意

長時間使用しない場合には、安全および省エネルギーのため、本体の電源を切った後、電源プラグも抜く

音量を調節する

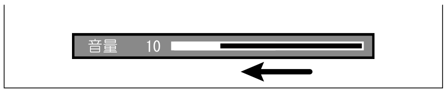
1 リモコンの[＋]（または本体の□音量＋）を押す

音量が上がります。



2 リモコンの[－]（または本体の－□音量）を押す

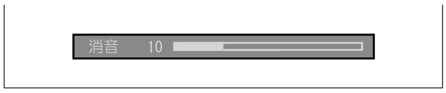
音量が下がります。



音声を消す

1 リモコンの消音[　]を押す

音声が消えます。



もう一度消音[　]を押すと、音声が出ます。

❖ [＋]（または本体の□音量＋）を押して音量を上げても音声が出ます。

かんたん設置設定をする

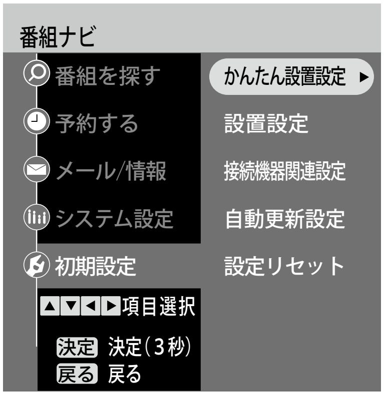
デジタル放送を見るための設定をします。
次の順序でデジタル放送を見るために必要な設定を行い、チャンネルやデータ放送の設定をお住まいの地域の放送に合わせます。

❖ ご購入後、はじめて電源を入れると、かんたん設置設定画面が表示されます。その場合は、画面の指示に従って、郵便番号の入力画面(手順 4 の画面)が表示されるまで進みます。

1 **デジタル放送に切り換え、[番組ナビ]を押す**

2 **▼で[初期設定]を選び、(決定)を押す**

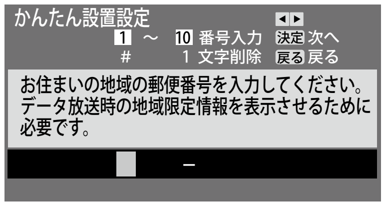
3 **[かんたん設置設定]を選び、(決定)を 3 秒以上押す**



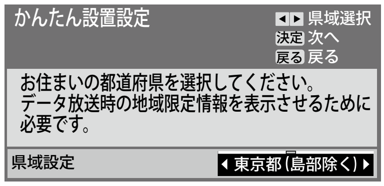
4 **お住まいの地域の郵便番号を入力し、(決定)を押す**

[1]～[10]で入力します。

❖ 間違えて入力したときは、[文字クリア]を押して 1 文字ずつ削除し、入力しなおします。

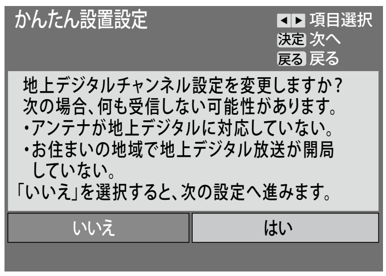


5 **◀ ▶ で お住まいの都道府県を選び、(決定)を押す**



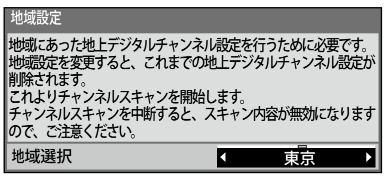
- 伊豆諸島、小笠原諸島地域は「東京都島部」を選びます。
- 南西諸島鹿児島県地域は「鹿児島県島部」を選びます。

6 **▶ で「はい」を選び、(決定)を押す**



❖ 設定しないときは、「いいえ」を選び、(決定)を押します。(手順 11 へ進みます)

7 **◀ ▶ でお住まいの地域を選び、(決定)を押す**

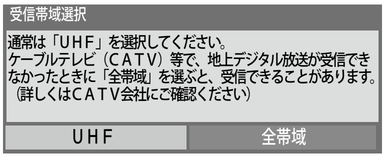


準備
テレビを見る
外部機器を使う
アクトビラでホームページを見る
もっと使いこなす
トラブル時の対処
付録

かんたん設置設定をする（つづき）

8 ◀ ▶ で「UHF」または「全帯域」を選び、(決定)を押す

通常は「UHF」を選びます。「全帯域」を選ぶと、VHF、UHF、C13 から C63 の帯域をスキャンします。

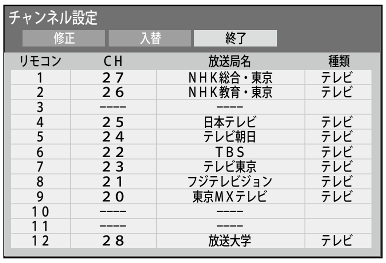


チャンネルスキャンが始まります。

❖ 受信される地域によっては 10 分程度かかることがあります。

チャンネルスキャンが終了すると、チャンネル設定画面が表示されます。

9 正しく設定されていることを確認し、「終了」を選び、(決定)を押す

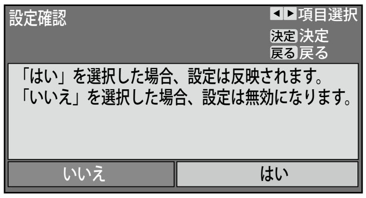


リモコン	CH	放送局名	種類
1	27	NHK総合・東京	テレビ
2	26	NHK教育・東京	テレビ
3	----	----	
4	25	日本テレビ	テレビ
5	24	テレビ朝日	テレビ
6	22	TBS	テレビ
7	23	テレビ東京	テレビ
8	21	フジテレビジョン	テレビ
9	20	東京MXテレビ	テレビ
10	----	----	
11	----	----	
12	28	放送大学	テレビ

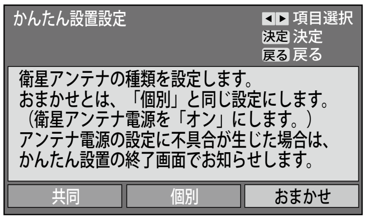
❖ 地上デジタル放送では、入力された地方および地域の情報と、実際に受信できたチャンネルの情報をもとに放送システム上の規定などに従ってリモコンの数字ボタンにチャンネルが割り当てられます。設定されるチャンネルの目安については「地上デジタル放送の放送一覧」（106 ページ）をご覧ください。

❖ チャンネルを修正したい場合は、「チャンネル修正 / 地上デジタル放送チャンネル　■マニュアル修正」（26 ページ）の手順②以降をご覧ください。

10 設定確認画面で「はい」を選び、(決定)を押す



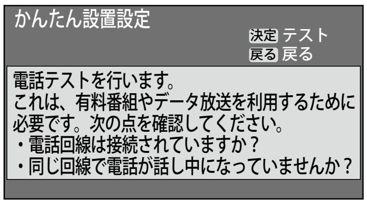
11 ◀ ▶ でアンテナの種類を選び、(決定)を押す



❖ 共同アンテナの場合、衛星アンテナに供給する電源をオフに設定します。（31 ページ）

❖ よくわからないときは「おまかせ」に設定してください。（ただし衛星アンテナ電源は「オン」に設定されます）

12 電話テスト開始画面の説明を読み、(決定)を押す

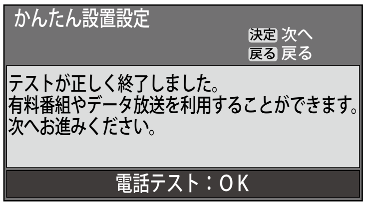


電話テストが開始されます。

❖ テストに 3 分程度かかる場合があります。

テストが終了すると、電話テスト結果が表示されます。

13 電話テスト結果を確認する



- 「電話テスト：OK」の場合

  (決定)を押す

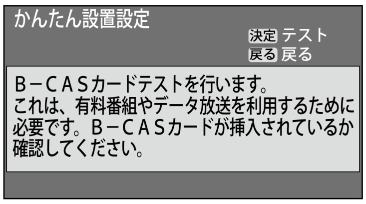
- 「電話テスト：NG」の場合

  画面の説明を確認し、(決定)を押す

  （かんたん設置設定終了後に、[電話設定]（32 ページ）、[電話テスト]（33 ページ）を順に行ってください）

❖ 視聴者参加番組やペイ・パー・ビュー番組などを利用しないときは、電話回線接続は不要です。このときは、「NG」が出ますが問題ありません。

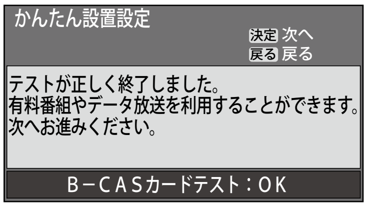
14 B-CAS カードテスト開始画面の説明を読み、(決定)を押す



B-CAS カードテストが開始されます。

テストが終了すると、B-CAS カードテスト結果が表示されます。

15 B-CAS カードテスト結果を確認する



- 「B-CAS カードテスト：OK」の場合

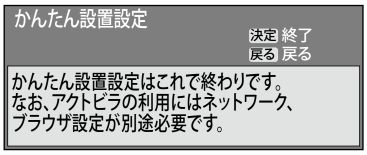
  (決定)を押す

- 「B-CAS カードテスト：NG」の場合

  画面の説明を確認し、(決定)を押す

  （かんたん設置設定終了後に、B-CAS カードを正しく挿入しなおして、[B-CAS カードテスト]（29 ページ）を行ってください）

16 かんたん設置設定終了画面の説明を読み、(決定)を押す



以上で「かんたん設置設定」は終了です。

❖「衛星アンテナとの接続に不具合があります」と表示されたときはアンテナの接続をご確認ください。

より詳しい設定をする

使用用途や目的に応じて、下記設定を行ってください。

設定	内容	参照先
チャンネル修正	自動で設定したチャンネル設定を修正する ● 地上デジタル放送チャンネル ● BS・110 度 CS デジタル放送チャンネル	25 ページ
地域設定	引越しなどで、お住まいの地域を変更する	28 ページ
B-CAS カードテスト	B-CAS カードの動作を確認する	29 ページ
受信設定	デジタル放送の映りが悪いときなどに、アンテナの向きを調整する ● 地上デジタル用アンテナ ● BS・110 度 CS デジタル用（衛星）アンテナ	30 ページ
電話設定	電話回線に接続した電話の設定を行う	32 ページ
Ir システム設定	Ir システムケーブルを使って、デジタル放送を録画する録画機器の設定を行う	34 ページ
デジタル音声出力設定	光デジタル音声出力端子に、AAC 対応のデジタルオーディオ機器を接続したときに設定する	35 ページ
自動更新設定	機能向上のためのソフトのダウンロード方法を選択する	35 ページ
視聴制限設定	視聴年齢や購入する番組の限度額などを設定する	36 ページ
選局対象の設定	リモコンの順送り時や番組表などで表示されるチャンネルの範囲を設定する	38 ページ
タイトル表示の設定	チャンネル番号などの表示を消す	38 ページ
設定リセット	アンテナと電話の設定をお買い上げ時の状態に戻したり、本機を廃棄するときに行う	39 ページ

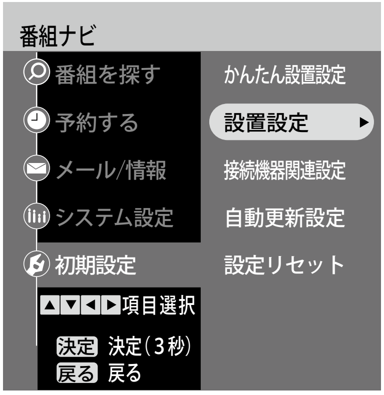
チャンネル修正

地上デジタル放送チャンネル

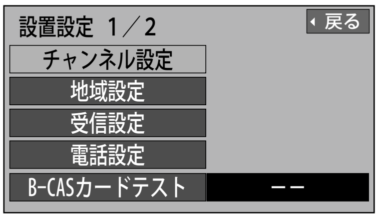
1 **デジタル放送に切り換え、番組ナビを押す**

2 **▼ で[初期設定]を選び、決定を押す**

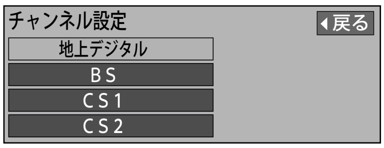
3 **▼ で[設置設定]を選び、決定を 3 秒以上押す**



4 **▼ で[チャンネル設定]を選び、決定を押す**



5 **▼ で[地上デジタル]を選び、決定を押す**

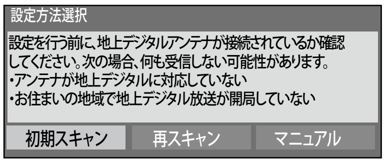


以降は、目的に応じてチャンネルの設定方法を選択し、設定を行ってください。

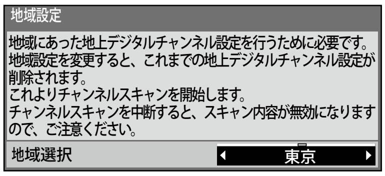
■ 初期スキャン

引越しなどで受信地域が変わったときなどに、改めて受信設定を自動で行います。

① **[初期スキャン]を選び、決定を押す**

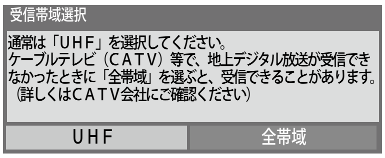


② **◀ ▶ でお住まいの地域を選び、決定を押す**



③ **◀ ▶ で「UHF」または「全帯域」を選び、決定を押す**

通常は「UHF」を選びます。「全帯域」を選ぶと、VHF、UHF、C13 から C63 の帯域をスキャンします。

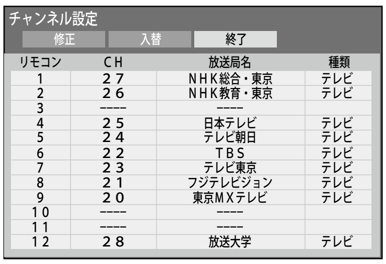


チャンネルスキャンが始まります。

❖ 受信される地域によっては 10 分程度かかることがあります。

チャンネルスキャンが終了すると、チャンネル設定画面が表示されます。

④ **正しく設定されていることを確認し、「終了」を選び、決定を押す**



リモコン	CH	放送局名	種類
1	27	NHK総合・東京	テレビ
2	26	NHK教育・東京	テレビ
3	----	----	
4	25	日本テレビ	テレビ
5	24	テレビ朝日	テレビ
6	22	TBS	テレビ
7	23	テレビ東京	テレビ
8	21	フジテレビジョン	テレビ
9	20	東京MXテレビ	テレビ
10	----	----	
11	----	----	
12	28	放送大学	テレビ

⑤ **設定確認画面で「はい」を選び、決定を押す**

⑥ **終了を押す**

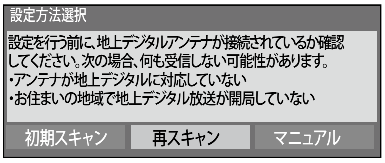
初期スキャンでの地上デジタル放送のチャンネル設定を終了します。

より詳しい設定をする（つづき）

■ 再スキャン

地上デジタル放送の受信状況が変わったとき（新たに放送局が追加されたなど）、受信できる局を自動で追加します。

① ▶ で[再スキャン]を選び、(決定)を押す



チャンネルスキャンが始まります。

❖ 再スキャンに 10 分程度かかることがあります。

❖ 新たに受信できた放送局は自動的に追加されます。

チャンネルスキャンが終了すると、チャンネル設定画面が表示されます。

② 正しく設定されていることを確認し、「終了」を選び、(決定)を押す

③ 設定確認画面で「はい」を選び、(決定)を押す

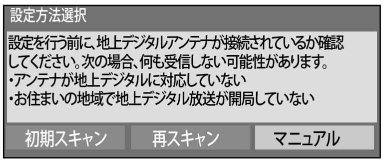
④ (終了)を押す

再スキャンでの地上デジタル放送のチャンネル設定を終了します。

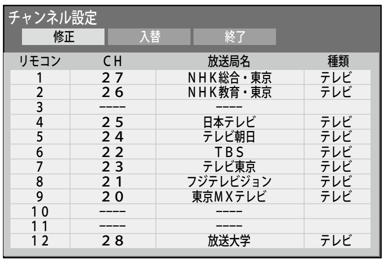
■ マニュアル修正

自動で設定された地上デジタル放送のチャンネル設定を手動で修正します。

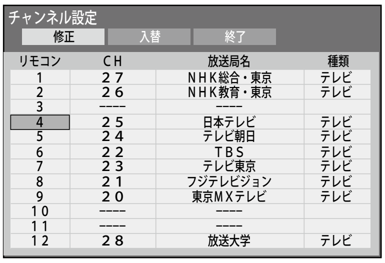
① ▶ で[マニュアル]を選び、(決定)を押す



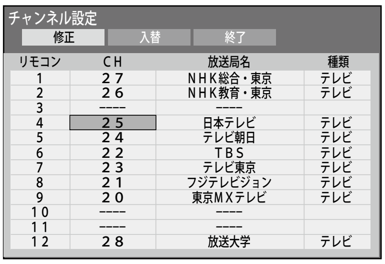
② ◀ で「修正」を選び、(決定)を押す



③ ▼▲ で修正したいリモコンボタンを選ぶ



④ ◀ ▶ で「CH」（チャンネル）の項目を選び、▼▲ で修正する



⑤ 修正が終了したら、(戻る)を押す

⑥ ▶ で「終了」を選び、(決定)を押す

⑦ 設定確認画面で「はい」を選び、(決定)を押す

⑧ (終了)を押す

マニュアルでの地上デジタル放送のチャンネル設定を終了します。

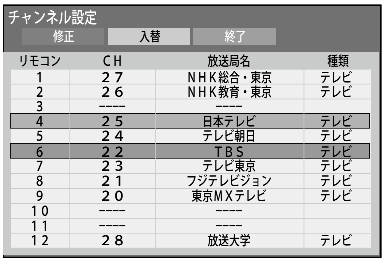
❖ チャンネルは最大 36 局まで設定できます。
設定したチャンネルは、「お好み」チャンネルとして登録されます。
選局対象（38 ページ）を「お好み」にすると、番組表には設定したチャンネルのみが表示され、リモコンの順送りでも設定したチャンネルのみが選局されます。

チャンネルや放送局名など、設定した項目を他のリモコンボタンと入れ替えたいときは、次の方法で修正します。

❶「マニュアル修正」手順②の画面で「入替」を選び、(決定)を押す

❷ ▼▲ で入れ替えたいボタンを選び、(決定)を押す

❸ ▼▲ で入れ替え先のボタンを選び、(決定)を押す


チャンネル設定　修正　入替　終了

リモコン	CH	放送局名	種類
1	27	NHK総合・東京	テレビ
2	26	NHK教育・東京	テレビ
3	----	----	
4	25	日本テレビ	テレビ
5	24	テレビ朝日	テレビ
6	22	TBS	テレビ
7	23	テレビ東京	テレビ
8	21	フジテレビジョン	テレビ
9	20	東京MXテレビ	テレビ
10	----	----	
11	----	----	
12	28	放送大学	テレビ

手順❷で選んだボタンの設定と、手順❸で選んだボタンの設定が入れ替わります。

❹(戻る)を押す

衛星放送チャンネル

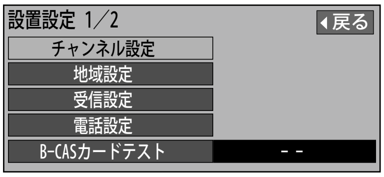
BS デジタル、110 度 CS デジタル放送のチャンネルについては、お買い上げ時に設定されています。（41 ページ）
リモコンボタンに割り当てられているチャンネルを変える場合は、次の方法で行ってください。

1 **デジタル放送に切り換え、(番組ナビ)を押す**

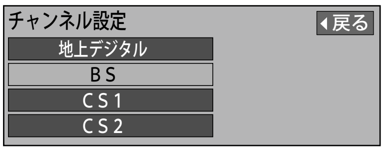
2 **▼ で［初期設定］を選び、(決定)を押す**

3 **▼ で［設置設定］を選び、(決定)を 3 秒以上押す**

4 **▼ で［チャンネル設定］を選び、(決定)を押す**



5 **▼▲ で［BS］［CS1］［CS2］を選び、(決定)を押す**



より詳しい設定をする(つづき)

6 ▼▲ で修正したいリモコンボタンを選ぶ

衛星チャンネル設定　BS

リモコン	CH	種類	チャンネル名
1	101	テレビ	NHK BS1
2	102	テレビ	NHK BS2
3	103	テレビ	NHK h
4	141	テレビ	BS日テレ
5	151	テレビ	BS朝日1
6	161	テレビ	BS－iテレビ⑥
7	171	テレビ	BSジャパン
8	181	テレビ	BSフジ・181

7 ◀ ▶ で「CH」(チャンネル)の項目を選び、▼▲ で修正する

衛星チャンネル設定　BS

リモコン	CH	種類	チャンネル名
1	101	テレビ	NHK BS1
2	102	テレビ	NHK BS2
3	103	テレビ	NHK h
4	141	テレビ	BS日テレ
5	151	テレビ	BS朝日1
6	161	テレビ	BS－iテレビ⑥
7	171	テレビ	BSジャパン
8	181	テレビ	BSフジ・181

8 (戻る)または(終了)を押す

BS デジタル、110 度 CS デジタル放送のチャンネル設定を終了します。

❖ チャンネルは最大 36 局まで設定できます。
設定したチャンネルは、「お好み」チャンネルとして登録されます。
選局対象（38 ページ）を「お好み」にすると、番組表には設定したチャンネルのみが表示され、リモコンの順送りでも設定したチャンネルのみが選局されます。

地域設定

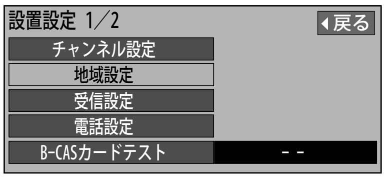
地域設定は、引越しなどでお住まいが変わったときなどに、データ放送の地域情報を受信するために設定します。

1 デジタル放送に切り換え、(番組ナビ)を押す

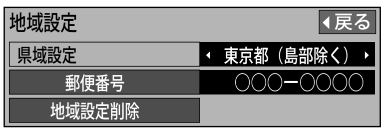
2 ▼ で[初期設定]を選び、(決定)を押す

3 ▼ で[設置設定]を選び、(決定)を 3 秒以上押す

4 ▼ で[地域設定]を選び、(決定)を押す

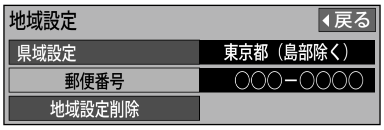


5 ▼ で[県域設定]を選び、◀ ▶ でお住まいの地域を選ぶ

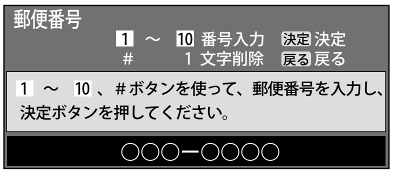


- 伊豆諸島、小笠原諸島地域は「東京都島部」を選びます。
- 南西諸島鹿児島県地域は「鹿児島県島部」を選びます。

6 ▼で[郵便番号]を選び、(決定)を押す



7 [1]〜[10]でお住まいの地域の郵便番号を入力し、(決定)を押す



8 設定確認画面で「はい」を選び、(決定)を押す

9 (終了)を押す

地域設定を終了します。

❖ 地域設定をお買い上げの状態に戻すには、次の方法で行います。

❶ ▼で［地域設定削除］を選び、(決定)を押す

❷ 削除確認画面で「はい」を選び、(決定)を押す

B-CAS カードテスト

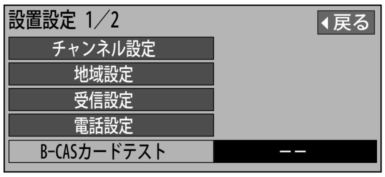
B-CAS カードの動作を確認します。

1 デジタル放送に切り換え、[番組ナビ]を押す

2 ▼で[初期設定]を選び、(決定)を押す

3 ▼で[設置設定]を選び、(決定)を 3 秒以上押す

4 ▼で[B-CAS カードテスト]を選び、(決定)を押す



B-CAS カードテストが開始されます。

❖ テスト結果に NG が表示されときは、B-CAS カードの挿入を確認してください。

5 (終了)を押す

B-CAS カードテストを終了します。

より詳しい設定をする(つづき)

受信設定

デジタル放送の映りが悪いときなどに、アンテナの方向を調整し、レベルを最大にします。

❖ 集合住宅などの共同アンテナの場合は、この調整は不要です。

❖ アンテナの方向調整は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

❖ アンテナレベルは、アンテナ設置方向の最適性を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さでなく、質（信号と雑音の比率）を表します。
アンテナレベルは、天候や季節などの自然条件、地域やチャンネルなどにより異なります。またアンテナの種類などによっても変動することがありますので、十分な余裕をとることをおすすめします。

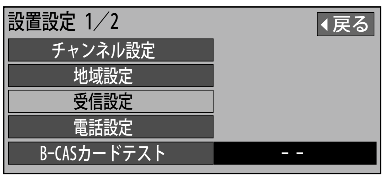
❖ アンテナレベルは、［便利機能 画面モード］を押し、［アンテナレベル］を選ぶことによっても確認できます。

1 **デジタル放送に切り換え、［番組ナビ］を押す**

2 **▼ で［初期設定］を選び、(決定)を押す**

3 **▼ で［設置設定］を選び、(決定)を 3 秒以上押す**

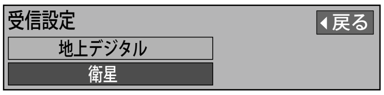
4 **▼ で［受信設定］を選び、(決定)を押す**



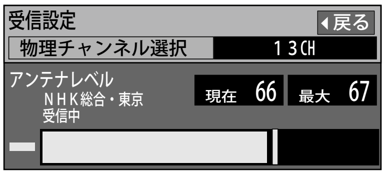
以降は、アンテナの種類に応じて設定してください。

■ 地上デジタル用アンテナの場合

① **▼ で［地上デジタル］を選び、(決定)を押す**

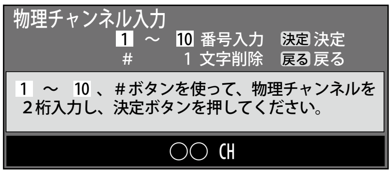


② **▼ で［物理チャンネル選択］を選び、(決定)を押す**

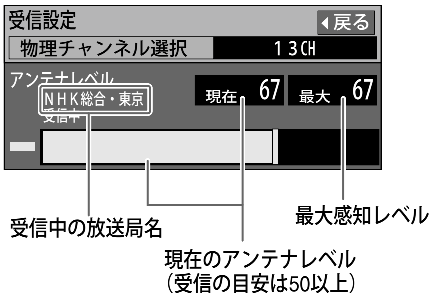


③ **［1］～［10］で視聴するいずれかの放送局の「物理チャンネル」を入力し、(決定)を押す**

❖ 地上デジタル放送は、UHF 放送の 13 から 62 チャンネルを使って行われますが、放送局ごとの割り当てチャンネルを、物理チャンネルといいます。



④ **アンテナの向きを調整し、アンテナレベルを最大にする**

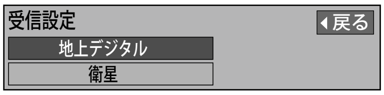


⑤ **(戻る)または(終了)を押す**

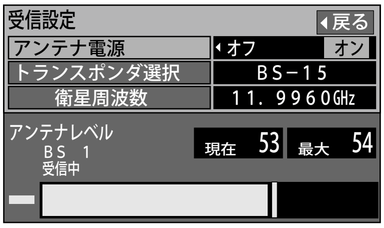
地上デジタル用のアンテナ調整を終了します。

■ BS・110 度 CS デジタル用アンテナの場合

① ▼ で［衛星］を選び、(決定)を押す



② ▼ で［アンテナ電源］を選び、◀ ▶ で設定を選ぶ

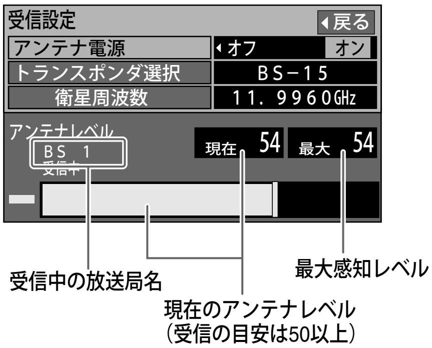


「オン」：戸建住宅でアンテナを設置している場合

「オフ」：集合住宅などで、共同アンテナを利用している場合

❖ アンテナ電源を「オン」にするときは、アンテナ設定終了後、「機能待機の設定」を行ってください。（次項参照）

③ アンテナの向きを調整し、アンテナレベルを最大にする



❖ 共同アンテナの場合は、アンテナレベルを確認してください。

④ (戻る)または(終了)を押す

衛星のアンテナ調整を終了します。

注意

- ［トランスポンダ選択］と［衛星周波数］の設定は、変えないでください。変えると視聴できなくなることがあります。この設定は、放送局からの案内が来たときのみ、再設定してください。

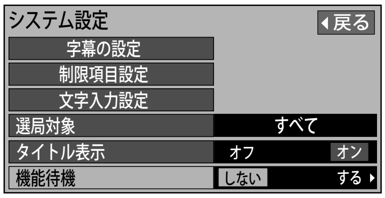
機能待機の設定

衛星アンテナのコンバーターへ、電源を常時供給するかしないかを設定します。
「しない」に設定すると、消費電力を少なくできます。

1 デジタル放送に切り換え、(番組ナビ)を押す

2 ▼ で［システム設定］を選び、(決定)を押す

3 ▼ で［機能待機］を選び、◀ ▶ で設定を選ぶ



「する」：　電源を常時供給する

「しない」：　電源を常時供給しない（スタンバイ時の消費電力を少なくしたいとき）

- 機能待機の設定は、衛星アンテナ設定の［アンテナ電源］が「オン」のときに有効です。
- 機能待機を「する」に設定すると、出画時間は早くなりますが、スタンバイ状態でも約 9W の電力を消費します。

4 (終了)を押す

機能待機の設定を終了します。

より詳しい設定をする(つづき)

電話設定

電話回線に接続した電話の設定を行います。

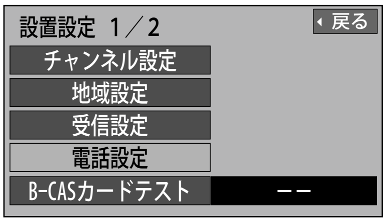
❖ 設定の前に、電話回線が正しく接続されていることを確認してください。(8 ページ)

1 **デジタル放送に切り換え、番組ナビ を押す**

2 **▼ で[初期設定]を選び、決定 を押す**

3 **▼ で[設置設定]を選び、決定 を 3 秒以上押す**

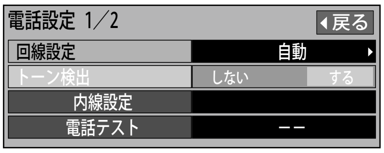
4 **▼ で[電話設定]を選び、決定 を押す**



電話設定画面が表示されますので、電話の使用状況に応じて各項目を設定します。

■ 回線設定

① **▼ で[回線設定]を選び、◀ ▶ で設定を選ぶ**



「自動」: 電話テストで自動的に選ぶとき

❖「自動」でうまく設定できないときに、「プッシュ」(ダイヤルボタンを押すと『ピッポッパ』と音が出る場合)、「ダイヤル 20 (20pps)」または「ダイヤル 10 (10pps)」(ダイヤルボタンを押しても音が出ない場合)を選んでください。

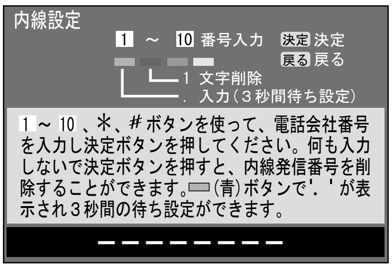
❖ 回線設定が「自動」以外の場合、「トーン検出」を設定してください。
▼ で[トーン検出]を選び、電話回線の状態に合わせて ◀ ▶ で設定を選ぶ
「する」: 通常ご使用のとき
「しない」: 受話器を上げて『ツー』音が聞こえないとき

■ 内線設定

外線使用時に 0 発信などが必要な電話をご使用のときに設定します。

① **▼ で[内線設定]を選び、決定 を押す**

② **1 ～ 10 で内線番号を入力し、決定 を押す**



(例) 0 発信のときは 10 で 0 を入力します。

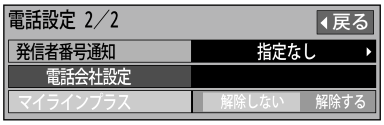
❖ 0 発信の後、外線につながるまでに時間のかかる電話のときは、●青を押します。

③ **設定確認画面で「はい」を選び、決定 を押す**

■ 発信者番号通知

相手に自分の電話番号を通知するかどうかを設定します。

① ▼ で[発信者番号通知]を選び、◀ ▶ で設定を選ぶ



「指定なし」： 電話会社との契約に従う

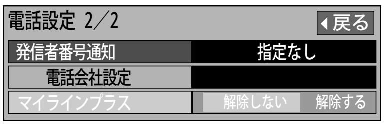
「通知する」： 相手に常に通知する

「通知しない」： 相手に常に通知しない

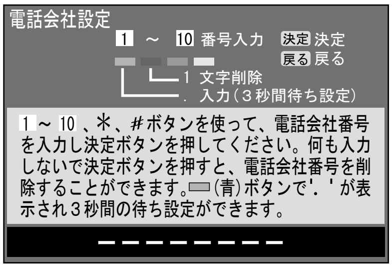
■ 電話会社設定 / マイラインプラス

本機から電話をかけるときのみ、電話会社を変えたい場合に設定します。

① ▼ で[電話会社設定]を選び、(決定)を押す

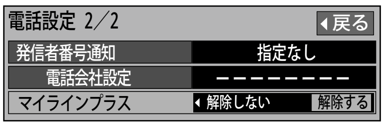


② [1]～[10]で電話会社の番号を入力し、(決定)を押す



③ 設定確認画面で「はい」を選び、(決定)を押す

④ マイラインプラスを契約しているときは、▼ で[マイラインプラス]、▶ で「解除する」を選ぶ



■ 電話テスト

電話設定が正しく行われているかをテストします。

① ▼ で[電話テスト]を選び、(決定)を押す

電話テストが開始されます。

❖ テストに 3 分程度かかる場合があります。

テストが終了すると、テスト結果が表示されます。

「OK」： 正常

「NG」： 電話回線の接続（8 ページ）と設定を確認し、再度テストを実行してみてください。

5 (終了)を押す

電話設定を終了します。

より詳しい設定をする（つづき）

Ir システム設定

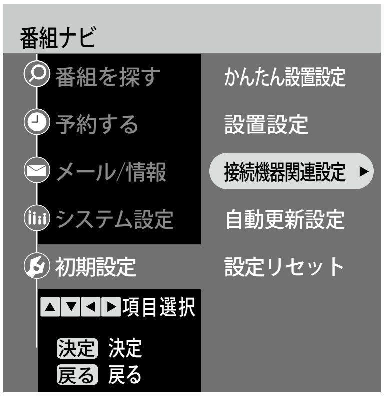
Ir システムケーブルを使って、本機に接続された録画機器をコントロールできるように設定します。

❖ Ir システムの設定を変更する場合は、事前に録画予約の設定をすべて取り消してください。（60 ページ）

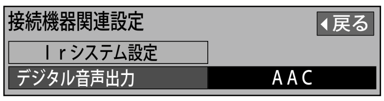
1 **デジタル放送に切り換え、[番組ナビ]を押す**

2 **▼ で［初期設定］を選び、(決定)を押す**

3 **▼ で［接続機器関連設定］を選び、(決定)を押す**



4 **▼ で［Ir システム設定］を選び、(決定)を押す**



5 **▼ で［Ir システム］を選び、▶ で「オン」を選ぶ**

6 **▼ で［メーカー］を選び、◀ ▶ で接続した機器のメーカーを選ぶ**

設定できるメーカーは次のとおりです。

- ビデオ
  松下、ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、日立、アイワ、NEC
- DVD レコーダー
  松下、パイオニア

❖ VHS/DVD/HDD 複合ビデオデッキや一部のレコーダーでは使用できない場合があります。

7 **▼ で［リモコン種別］を選び、◀ ▶ で種別を選ぶ**

❖ メーカーによってリモコンの種別が複数あります。手順 9 のテストを行っても機器の操作ができないときに、他のリモコン種別に変更してください。

8 **▼ で［外部入力］を選び、◀ ▶ で設定を選ぶ**

接続した松下製のビデオや DVD レコーダー側の外部入力の番号（1, 2, 3）に合わせます。

❖ この項目は、松下電器産業㈱製の録画機器で、タイマー予約（54 ページ）をするときのみ、設定を行ってください。これ以外のメーカーの機器では設定できません。

9 **▼ で［テスト］を選び、(決定)を押す**

テストが実行され、「送信中」と表示されます。電源のオン / オフが繰り返されますので、接続した機器の電源がオン / オフすることを確認してください。

- 正しく動作したときは、(決定)を押し、動作を終了させます。
- 録画機器の電源がオン / オフしないときは、(決定)を押して動作をいったん終了させ、Ir システムケーブルの接続、取り付けの確認（14 ページ）または、リモコンの種別を変更（手順 7）し、再度テストしてみてください。

10 **(終了)を押す**

Ir システムの設定を終了します。

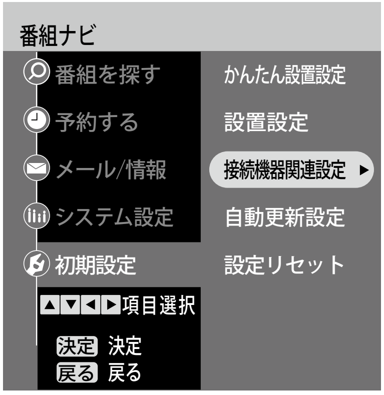
デジタル音声出力設定

本機の光デジタル音声出力端子に、AAC 対応のデジタルオーディオ機器を接続したときの音声出力を設定します。

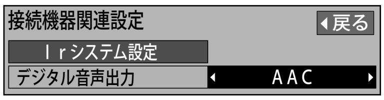
1 **デジタル放送に切り換え、番組ナビを押す**

2 **▼ で［初期設定］を選び、決定を押す**

3 **▼ で［接続機器関連設定］を選び、決定を押す**



4 **▼ で［デジタル音声出力］を選び、◀ ▶ で「AAC」または「自動」を選ぶ**



「PCM」： AAC フォーマットに対応していないオーディオ機器のとき

「AAC」： AAC の番組のときは、常に「AAC」で出力（AAC 以外のときは「PCM」で出力）

「自動」： サラウンド・ステレオ番組のときのみ、自動的に「AAC」出力に切り換える

5 **終了を押す**

デジタル音声出力の設定を終了します。

❖「AAC」に設定すると、次のような制限があります。
- 字幕放送やデータ放送の効果音が光デジタル音声出力から出力されません。
- 主音声・副音声の切り換えができません。オーディオ機器側で切り換えてください。

自動更新設定（ダウンロード予約）

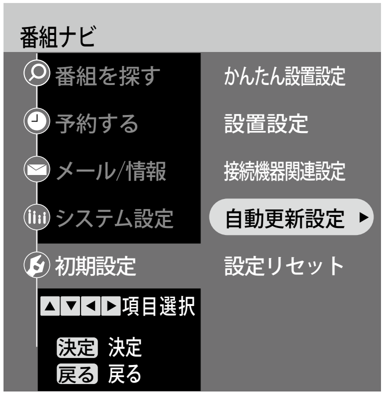
デジタル放送から送られる新しい情報の放送ダウンロードの方法を設定します。

❖ デジタル放送からの情報を放送ダウンロードで本機に取り込むことで、本機の制御プログラムを最新のものに書き換えられます。

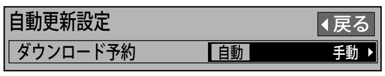
1 **デジタル放送に切り換え、番組ナビを押す**

2 **▼ で［初期設定］を選び、決定を押す**

3 **▼ で［自動更新設定］を選び、決定を押す**



4 **▼ で［ダウンロード予約］を選び、◀ ▶ で設定を選ぶ**



「自動」： 通常は「自動」をおすすめします。スタンバイ状態のときに情報が届いた場合、自動的に放送ダウンロードを実行します。

「手動」： 情報が届いた場合、メールでお知らせします。
このときは、放送メール（52 ページ）を確認し、［ダウンロード予約］の「する」または「しない」を選びます。

5 **終了を押す**

自動更新の設定を終了します。

準備
テレビを見る
外部機器を使う
アクトビラでホームページを見る
もっと使いこなす
トラブル時の対処
付録

より詳しい設定をする(つづき)

視聴制限設定

視聴制限では、デジタル放送番組の視聴年齢やペイ・パー・ビュー番組の購入金額の上限を設定できます。

❖ 上限を超える番組は、暗証番号の入力が必要です。(番組を選ぶと、暗証番号の入力画面が表示されますので、1～10で暗証番号を入力します)

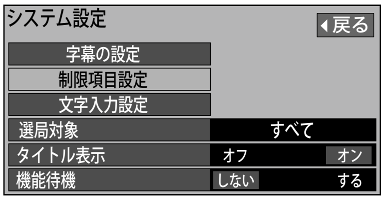
❖ 年齢制限を超える番組は、番組表などでは「･･･」と表示されます。

❖ [制限項目設定] 内の [ブラウザ制限] については、73 ページをご覧ください。

1 **デジタル放送に切り換え、番組ナビを押す**

2 **▼ で[システム設定]を選び、決定を押す**

3 **▼ で[制限項目設定]を選び、決定を押す**



4 **1～10で、暗証番号を入力する**

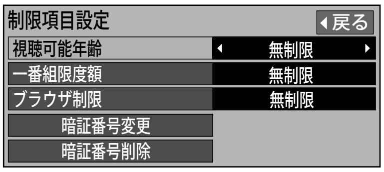
❖ 初めて暗証番号を入力するときは、2 回入力して番号を登録し、戻るを押します。(番号は必ずメモして忘れないようにしてください)

制限項目設定画面が表示されますので、目的に応じて各項目を設定します。

■ 視聴可能年齢

番組を視聴できる年齢を制限できます。

① **▼ で[視聴可能年齢]を選び、◀ ▶ で年齢を指定する**



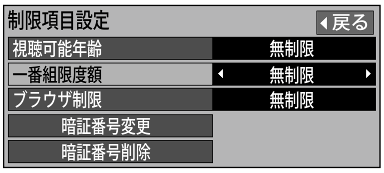
年齢は、4 歳～ 19 歳の間と無制限から指定できます。

❖ 年齢制限を超える番組を選ぶと、暗証番号の入力が必要になります。

■ 一番組限度額

ペイ・パー・ビュー番組の 1 番組ごとの購入金額を制限できます。

① **▼ で[一番組限度額]を選び、◀ ▶ で金額を指定する**



金額は、100 円、500 円、1000 円、1500 円、2000 円、2500 円、3000 円、無制限から選べます。

❖ 限度額を超える番組を選ぶと、暗証番号の入力が必要になります。

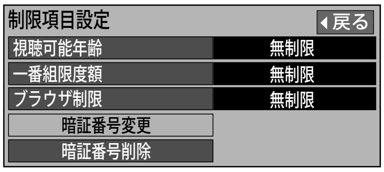
❖ 番組によって視聴金額と録画金額が異なる場合は、高い方の金額で購入限度額の判定を行います。

❖ 複数映像、複数音声、複数データで課金対象になっている番組は、映像、音声、データを切り換えるときに購入限度額の判定を行います。

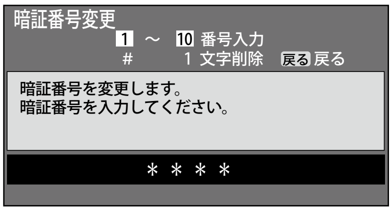
■ 暗証番号変更

設定した暗証番号を変更できます。

① ▼ で［暗証番号変更］を選び、(決定)を押す



② [1]〜[10] で新しい暗証番号を入力する

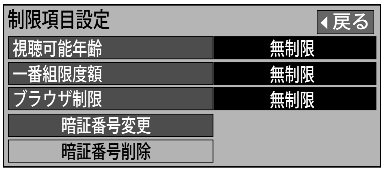


③ 画面の指示に従って、再度暗証番号を入力し、(戻る)を押す

■ 暗証番号削除

暗証番号を取り消します。

① ▼ で［暗証番号削除］を選び、(決定)を押す



② 削除確認画面で「はい」を選び、(決定)を押す

5 (戻る)または(終了)を押す

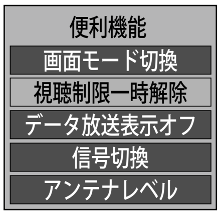
視聴制限設定を終了します。

視聴制限一時解除

次の方法で、デジタル放送の視聴中に一時的に制限を解除することができます。

1 便利機能 画面モード［ ］を押す

2 ▼ で［視聴制限一時解除］を選択し、(決定)を押す



3 [1]〜[10] で、暗証番号を入力する

制限が一時的に解除されます。

より詳しい設定をする(つづき)

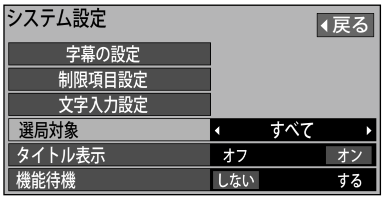
選局対象の設定

リモコンの順送りで選局されるチャンネルや、番組表などに表示されるチャンネルの範囲を設定できます。

1 デジタル放送に切り換え、[番組ナビ]を押す

2 ▼ で[システム設定]を選び、(決定)を押す

3 ▼ で[選局対象]を選び、◀ ▶ で設定を選ぶ



「お好み」：リモコンの[1]から[12]に設定されているチャンネルと、チャンネル設定で設定した 13 から 36 までのチャンネル

「テレビ」：テレビ放送のチャンネルのみ

「ラジオ」：ラジオ放送のチャンネルのみ

「データ」：データ放送のチャンネルのみ

「すべて」：現在受信できるすべてのチャンネル

4 (終了)を押す

選局対象の設定を終了します。

タイトル表示の設定

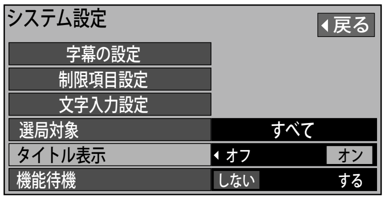
チャンネルを切り換えたときなどに、画面右上に表示される番組タイトルを表示するかしないかを設定します。

❖「オフ」（表示しない）に設定しても、チャンネル番号は表示します。

1 デジタル放送に切り換え、[番組ナビ]を押す

2 ▼ で[システム設定]を選び、(決定)を押す

3 ▼ で[タイトル表示]を選び、◀ ▶ で設定を選ぶ



「オフ」：　番組タイトルを表示しない

「オン」：　番組タイトルを表示する

4 (終了)を押す

タイトル表示の設定を終了します。

設定リセット

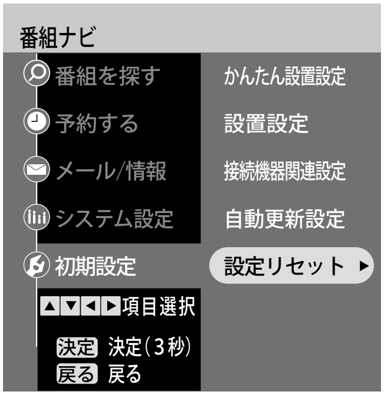
設定項目をリセットする

設定された衛星のアンテナ電源設定および電話設定を工場出荷状態に戻します。

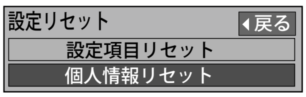
1 **デジタル放送に切り換え、［番組ナビ］を押す**

2 **▼ で[初期設定]を選び、(決定)を押す**

3 **▼ で[設定リセット]を選び、(決定)を 3 秒以上押す**



4 **▼ で[設定項目リセット]を選び、(決定)を押す**



5 **実行確認画面で「はい」を選び、(決定)を押す**

個人情報をリセットする

デジタル放送の設定や本機の映像 / 音声に関する設定など、すべての設定を工場出荷状態に戻します。

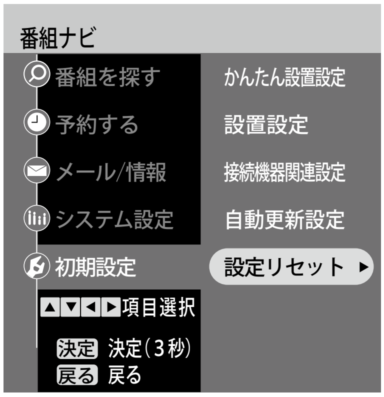
注意

- 本機を廃棄などで手放される以外には、実行しないでください。
- 本機に記録されたお客様の操作に関する個人情報（メールや購入記録、データ放送のポイントなど）が、すべて削除されます。
- この設定リセットでは、双方向データ放送やアクトビラを使用したときに、放送局やインターネットのホームページに登録した情報は、削除されません。それぞれのサービスで情報の削除などを行ってください。

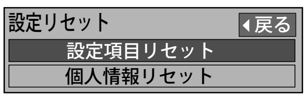
1 **デジタル放送に切り換え、［番組ナビ］を押す**

2 **▼ で[初期設定]を選び、(決定)を押す**

3 **▼ で[設定リセット]を選び、(決定)を 3 秒以上押す**



4 **▼ で[個人情報リセット]を選び、(決定)を 3 秒以上押す**



5 **実行確認画面で「はい」を選び、(決定)を押す**

メッセージが表示されますので、メッセージに従って操作してください。

放送を選ぶ

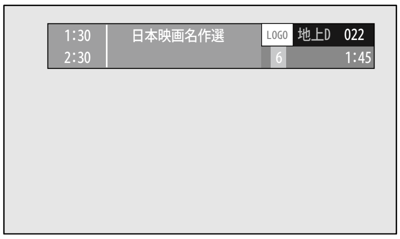
1 **放送切換ボタン 地上D BS CS1/2（または本体の 放送切換）を押し、放送を選ぶ**

地上D BS CS1/2 を押したときは、それぞれの放送が表示されます。

地上D	地上デジタル放送
BS	BS デジタル放送
CS1/2	110 度 CS デジタル放送 1/2 （CS1、CS2 は押すたびに切り換わります）

❖ 110 度 CS デジタル放送には、CS1 と CS2 の 2 つの放送サービスがあります。

（例：地上デジタル放送の場合）



本体の 放送切換 を押したときは、次の順序で放送が変わります。

地上デジタル放送
↓
BSデジタル放送
↓
110度CSデジタル放送1
（110度CSデジタル放送2）
↓
110度CSデジタル放送2
（110度CSデジタル放送1）
（→ 地上デジタル放送に戻る）

❖ 110 度 CS デジタル放送は、前回見ていた方から順に表示されます。

注意

- BS デジタル、110 度 CS デジタル放送では、別途各放送局と受信契約が必要になる場合があります。

チャンネルを選ぶ

チャンネルの選びかたには、次の方法があります。

- リモコンの数字ボタンで選ぶ（41 ページ）
- 順送りで選ぶ（42 ページ）
- チャンネル番号で選ぶ（42 ページ）

注意

- **地上デジタル放送は、［初期スキャン］（25 ページ）を行わないと選局できません。**

❖ 録画中は、チャンネルを変えたり、チャンネル番号指定ができない場合があります。

❖ チャンネルの割り当てを変更する場合は、次の設定を行ってください。

「番組ナビ」メニュー［初期設定］-［設置設定］-［チャンネル設定］（25 ページ）

❖ ペイ・パー・ビュー番組を選んだ場合は、購入しなければ視聴できません。ペイ・パー・ビュー番組については、50 ページをご覧ください。

リモコンの数字ボタンで選ぶ

1 **放送切換ボタン 地上D BS CS1/2（または本体の放送切換）を押し、放送を選ぶ**

2 **1 から 12 のいずれかを押す**

あらかじめボタンに割り当てられているチャンネルに変わります。

- 地上デジタル放送の場合
「かんたん設置設定」(21 ページ) で設定したチャンネルが割り当てられています。

- BS デジタル、110 度 CS デジタル放送の場合
お買い上げ時には、次のチャンネルが割り当てられています。

• BS デジタル放送

番号	チャンネル	放送局名	
1	101	NHK BS1	
2	102	NHK BS2	
3	103	NHK ハイビジョン	
4	141	BS 日テレ	
5	151	BS 朝日	
6	161	BS-i	
7	171	BS ジャパン	
8	181	BS フジ	
9	191	WOWOW	
10	200	スター・チャンネル	
11	700	NHK データ 1	データ放送の画面になります
12	701	NHK データ 2	

• CS 1 デジタル放送

番号	チャンネル	放送局名
1	001	e2 メイト
5	055	ep055 チャンネル

• CS 2 デジタル放送

番号	チャンネル	放送局名
1	100	e2 プロモ
2	110	ワンテンポータル
3	123	CS 映画
4	147	CS 日本番組ガイド
6	160	C-TBS ウエルカム
7	177	ショップチャンネル
8	258	フジテレビ 739
9	194	インターローカル TV
10	101	宝塚プロモチャンネル
11	290	SKY・STAGE
12	232	スター・クラシック

［2007 年 9 月現在］

❖ 放送局名やチャンネル名は、実際の表示と異なる場合があります。

チャンネルを選ぶ(つづき)

順送りで選ぶ

1 放送切換ボタン[地上D] [BS] [CS1/2](または本体の[放送切換])を押し、放送を選ぶ

2 [∧][∨](または本体の▼[チャンネル]、[チャンネル]▲)を押す

選局対象（38 ページ）のチャンネルが、順番に表示されます。

チャンネル番号で選ぶ

1 放送切換ボタン[地上D] [BS] [CS1/2](または本体の[放送切換])を押し、放送を選ぶ

2 [チャンネル入力]を押し、[1]～[10]でチャンネル番号を押す

[チャンネル入力]を押すたびに、チャンネル番号を入力する放送を切り換えることができます。

例：BS デジタル放送の 103 チャンネルを選ぶ場合

[BS] [チャンネル入力] [1] [10] [3]と押します。

❖ 存在しないチャンネルは選べません。

❖ チャンネル番号を間違えて入力した場合は、[文字クリア]を押し、一つ前に戻って再入力します。

■ 地上デジタル放送で、枝番号の異なる放送を選ぶとき

（枝番号とは、同じチャンネル番号の放送が複数受信できた場合に追加される区分番号のことです）

① **枝番号のある地上デジタル放送を受信中に、[便利機能 画面モード]を押す**

② **▼ で[枝番選局]を選び、(決定)を押す**

③ **表示された放送局リストから見たい放送を選び、(決定)を押す**

❖ 手順③で[チャンネル入力]を押すと、選択中の枝番号の放送局にチェックが付きます。チャンネル番号入力時には、チェックを付けた放送局を表示します。

番組を選ぶ

番組の選びかたには、次の方法があります。

- 番組表で選ぶ（次項）
- 今放送中の番組から選ぶ（44 ページ）
- ジャンルで検索して選ぶ（45 ページ）

番組表で選ぶ 〈番組表〉

1 **［番組表］を押す**

番組表が表示されます。

❖ 本機の電源を入れた直後や、デジタル放送に切り換えた直後、地上デジタル放送のチャンネルを切り換えた直後は、番組表の表示に時間がかかる場合があります。
また、地上デジタル放送のとき、受信可能な放送局で番組表が表示されない場合は、その局を選んで、（決定）を押すと表示されます。（数分かかることがあります）

❖「番組ナビ」メニュー［番組を探す］-「番組表で」を選んでも、番組表を表示できます。

2 **◀ ▶ でチャンネルを選び、▼▲ で番組を選ぶ**

❖ ▼ を押し続けると先の時間帯に進みます。戻るときは ▲ を押します。（現在の日時よりも前の時間帯には戻れません）

❖ チャンネル番号（42 ページ）でチャンネル欄を選ぶこともできます。

❖ 番組表データのないチャンネルは、表示されません。

次ページにつづく >>

番組表の見かた

放送の種類

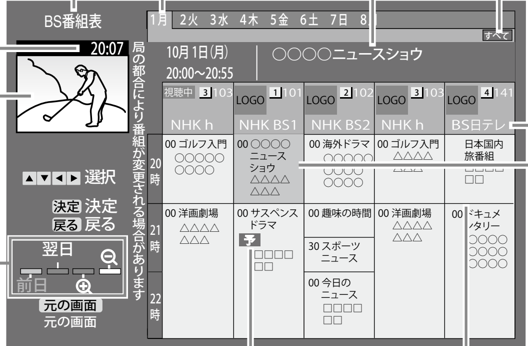
❖ 別の放送の番組表を見たいとき
［地上D］［BS］［CS1/2］で切り換え

日付

選択中の番組の紹介

現在時刻

番組表を開く前に見ていた画面



表示するチャンネル
番組表に表示するチャンネルを「すべて」「テレビ」「ラジオ」「データ」「お好み」に変更できます。(38 ページ)

放送局名

選択中の番組
選んでいる番組は黄色になります。

❖ 別の日の番組表を見たいとき
●青：前日　●赤：翌日
・現在よりも前の日には戻れません。

❖ 番組表を拡大、縮小したいとき
●緑：拡大　●黄：縮小

予約された番組
（青：見るだけ、赤：録画）

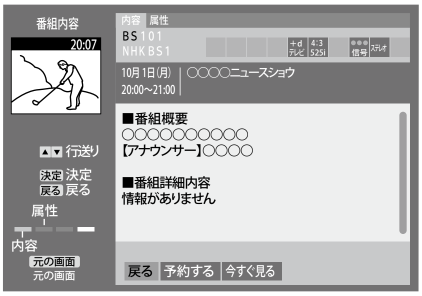
青い部分には、短い番組が存在します。
カーソルを合わせると番組を表示します。

準備
テレビを見る
外部機器を使う
アクトビラでホームページを見る
もっと使いこなす
トラブル時の対処
付録

番組を選ぶ（つづき）

3 **(決定)を押す**

番組内容が表示されます。



4 **放送中の番組のときは、▶ で「今すぐ見る」を選び、(決定)を押す**

選んだ番組が表示されます。

■ 放送予定の番組のときは（「見るだけ」予約）

① **▶ で「予約する」を選び、(決定)を押す**

予約設定画面が表示されます。

② **▼ で［予約方式］を選び、◀ で「見るだけ」を選ぶ**

③ **▲ で「予約する」を選び、(決定)を押す**

表示される画面に従って操作してください。

④ **(戻る)または(終了)を押す**

開始時刻になると、画面が予約した番組に切り換わります。（スタンバイ時、アクトビラ接続時を除く）

❖ 2 画面表示時は 2 画面表示を解除して、予約した番組に切り換わります。

❖ 番組を「録画」予約したい場合は、「テレビを録画する」（54 ページ）をご覧ください。

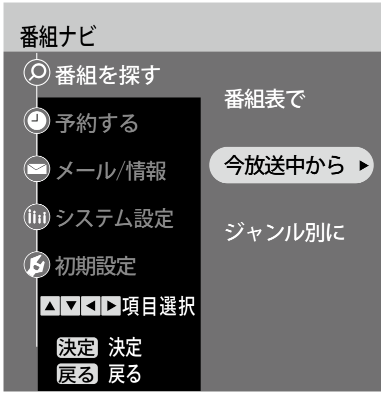
今放送中の番組を選ぶ

現在放送している番組のリストを表示して、番組を選ぶことができます。

1 **［番組ナビ］を押す**

2 **［番組を探す］を選び、(決定)を押す**

3 **▼ で［今放送中から］を選び、(決定)を押す**



現在放送中の番組リスト（裏番組のリスト）が表示されます。

4 **▼▲ で番組を選び、(決定)を押す**

選んだ番組が表示されます。

❖ 別のデジタル放送の番組リストに切り換えるには、［地上D］［BS］［CS1/2］を押します。

❖ 番組の詳細情報を見るには、［番組内容］を押します。

❖ リストに表示するチャンネルを「すべて」「テレビ」「ラジオ」「データ」「お好み」に変更することができます。（38 ページ）

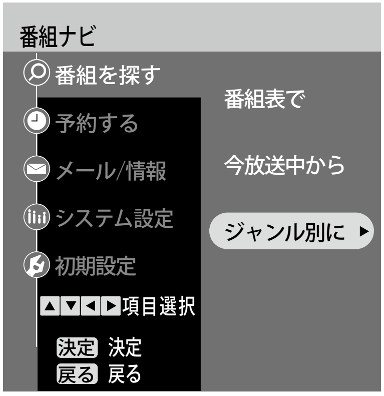
ジャンルで検索して選ぶ

映画やスポーツなどのジャンルを指定し、番組を検索して選ぶことができます。

1 番組ナビ **を押す**

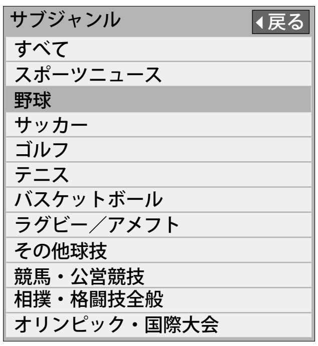
2 **［番組を探す］を選び、(決定)を押す**

3 **▼ で［ジャンル別に］を選び、(決定)を押す**



4 **▼▲ で見たい番組のメインジャンルを選び、(決定)を押す**

5 **▼ で見たい番組のサブジャンルを選び、(決定)を押す**



番組検索が始まり、検索結果が表示されます。

探す範囲
便利機能 画面モード を押して、探す範囲を変更できます。

❖ 別の日の番組を探すとき
●青：前日　●赤：翌日

・現在よりも前の日には戻れません。
・現在より７日先までの検索結果が表示されます。

番組データ取得状況の目安
検索できる番組数は、各放送の番組データの取得状況によって変わります。

❖ 別のデジタル放送をジャンル検索するには、地上D BS CS1/2 を押します。
❖ ジャンル情報が送られていない番組は、ジャンル検索されません。

6 **▼▲ で番組を選び、(決定)を押す**

番組内容が表示されます。

7 **▶ で「今すぐ見る」または「予約する」を選び、(決定)を押す**

- 「今すぐ見る」を選んだ場合は、選んだ番組が表示されます。
- 「予約する」を選んだ場合は、予約設定画面が表示されます。（56、57 ページ）

注意
- お買い上げ直後や電源コードを長時間取り外していた後は、検索される番組が少ないことがあります。
  また、デジタル放送に切り換えた直後も、検索される番組が少ないことがあります。
  これは、本機に記憶されている番組情報の量が少ないためです。

準備
テレビを見る
外部機器を使う
アクトビラでホームページを見る
もっと使いこなす
トラブル時の対処
付録

番組を選ぶ(つづき)

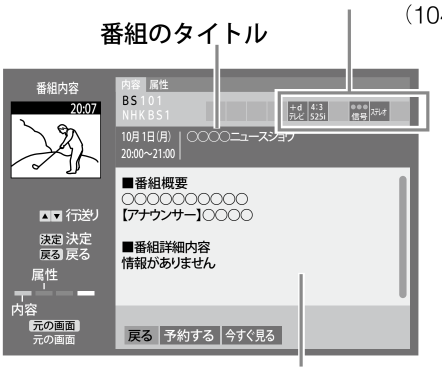
番組の内容を見る

番組を見ているときや、番組表、番組リストなどで番組を選んでいるときに、その番組の内容を画面に表示することができます。

1 [番組内容]を押す

その番組の内容が表示されます。

(戻る)を押すと、説明画面は消えます。



- 「今すぐ見る」を選び、(決定)を押すと、その番組が表示されます。
- 「予約する」を選び、(決定)を押すと、予約設定画面が表示され、その番組の「見るだけ」予約または「録画」予約ができます。(44、54 ページ)

❖ 放送予定の番組の場合は、「予約する」のみ表示されます。

❖ アイコンで表示している番組の詳しい内容などを見たいときは、(赤)を押します。

■ 録画や録音が制限されているときは

番組によっては、録画や録音が制限される場合があり、その場合は、番組説明画面にアイコンが表示されます。アイコンについては、104 ページをご覧ください。

番組内の信号を切り換える

マルチビュー対応の放送や 1 つの番組に複数の映像や音声のある放送の場合、信号を切り換えて見ることができます。

1 複数の信号がある放送を視聴中に、[便利機能 画面モード]を押す

2 ▼ で[信号切換]を選び、(決定)を押す

便利機能
- 画面モード切換
- データ放送表示オフ
- 信号切換
- アンテナレベル

3 ▼▲ で項目を、◀ ▶ で見たい信号を選び、(決定)を押す

信号切換	
マルチビュー	◂ 主番組 ▸
映像	映像 1
音声	日本語/英語
二重音声	日本語/英語
データ	データ 1
字幕	オフ　オン
字幕言語	日本語　英語

指定した信号に切り換わります。

❖ 表示される設定項目は、番組によって変わります。

❖ 切り換えた映像が有料の場合もあります。

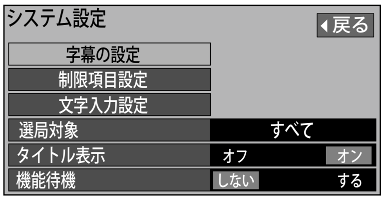
字幕 / 文字スーパーの表示を設定する

デジタル放送で字幕放送サービスが行われている場合は、画面に字幕を表示させることができます。また、視聴者にお知らせしたいことを番組放送中の画面上に文字で表示すること（文字スーパー）もできます。

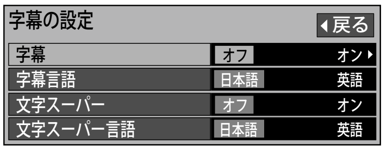
1 **[番組ナビ]を押す**

2 **▼ で [システム設定] を選び、(決定) を押す**

3 **▼ で [字幕の設定] を選び、(決定) を押す**



4 **▼▲ で項目を選び、◀ ▶ で設定を選ぶ**



[字幕]：　「オン」/「オフ」

[字幕言語]：　「日本語」/「英語」

[字幕スーパー]：　「オン」/「オフ」

[字幕スーパー言語]：「日本語」/「英語」

❖ 強制的に表示される字幕や文字スーパーなど、設定しても番組によって無効になる場合があります。

5 **(終了) を押す**

字幕 / 文字スーパーの設定を終了します。

■ リモコンの [字幕] を使って

字幕表示のオン / オフは [字幕] でも切り換えることができます。

[字幕] を押すたびに「字幕オン」→「字幕オフ」と切り換わります。

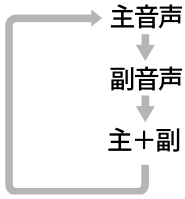
音声を切り換える

音声多重放送

二重音声放送を受信しているときは、音声を「主音声」、「副音声」、「主＋副」に選択できます。

1 **[音声切換]を押す**

押すたびに、次のように切り換わります。



二重音声放送以外にも一つの番組の中に複数の音声信号があることがあります。これらの音声を切り換えて聴くことができます。

1 **[音声切換]を押す**

押すたびに、次のように切り換わります。

❖ 音声の設定は、チャンネルや放送を切り換えるなどの操作をしても、最後に設定された状態が保たれます。

データ放送を見る

データ放送とは

デジタル放送で、電話回線を利用して視聴者が番組に参加したり、天気予報などの情報を受信したりすることのできる放送です。
データ放送には、次の種類があります。

■ 番組連動 / 非連動データ放送

放送中の番組に関連したデータ放送（番組連動）/ 放送中の番組内容と関係のないデータ放送（番組非連動）です。
例えば、「番組連動」では番組のアンケートやクイズに答えたり、「番組非連動」ではニュースや天気予報、地域情報などを見たりすることができます。

■ 独立データ放送

テレビ放送とは無関係の独立したデータ放送です。
例えば、天気予報やショッピング（オンライン通販）、交通情報などの放送があります。

注意

- 録画予約中や録画中は、データ放送の操作ができない場合があります。
- データ放送サービスの中には、放送局からの情報を本機に記憶し、更新できる番組があります。情報の更新は、スタンバイ状態のときに行われる場合があります。電源コンセントを抜く場合は、電源ボタンで電源を切った後、3 秒以上経過してから行うようにしてください。

双方向通信サービス

データ放送で行われている、電話回線などを使用した双方向のサービスです。

双方向通信サービスを利用する場合は、電話回線を接続し（8 ページ）、［電話設定］（32 ページ）を行ってください。

注意

- 電話回線を使用中（本機前面の回線ランプが緑に点灯）は、同じ回線に接続された電話機などは使用できません。通信中は、電源ボタン以外は操作できなくなる場合があります。

番組連動 / 非連動データ放送を見る

1 **［番組内容］を押す**

番組連動 / 非連動のデータ放送があることを確認します。

放送があるときは、次のアイコンが表示されます。（アイコンの内容については、104 ページをご覧ください）

❖ アイコンが表示されていても、番組連動 / 非連動データ放送がない場合があります。

2 **（終了）を押す**

番組内容表示が消えます。

3 **ⓓデータ を押す**

データ放送に切り換わります。

❖ 情報が多いときは、表示に時間がかかります。

4 **▼▲◀ ▶ で見たい項目を選び、（決定）を押す**

❖ 番組により、カラーボタンなどを使った専用の選択画面や数字入力画面が表示されることがあります。そのときは、画面の指示に従ってください。

❖ お好みページへの登録案内が出ることがあります。

■ データ放送を終了するとき

① **（終了）を押す**

データ放送を終了します。

❖ ［便利機能 画面モード］の「便利機能」メニューから［データ放送表示オフ］を選択し、（決定）を押すことでも、データ放送を終了できます。（表示を中止できる場合のみ）

独立データ放送を見る

1 **データ放送番組を選ぶ**

番組は、番組表などで選んでください。

2 **画面の指示に従って操作する**

❖ データ放送を受信しなおすときは、(終了)を押します。

お好みページを見る

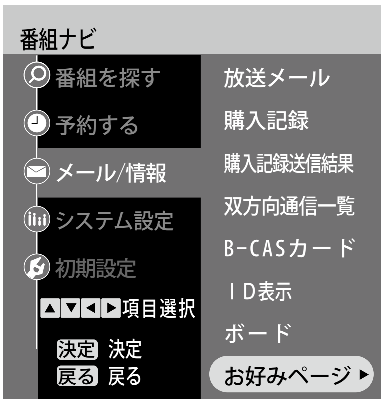
データ放送の画面上の指示があって操作したとき「お好みページ」が本機に登録されます。
登録したお好みページは、次の方法で見ることができます。

❖ アクトビラのお好みページとは動作が異なります。

1 **[番組ナビ]を押す**

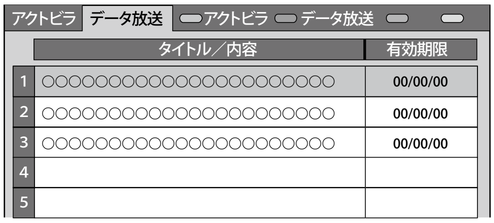
2 **▼ で［メール／情報］を選び、(決定)を押す**

3 **▼ で［お好みページ］を選び、(決定)を押す**



4 **●赤を押し、データ放送のお好みページ一覧に切り換える**

5 **▼▲ で実行したいお好みページのタイトル / 内容を選び、(決定)を押す**



登録されている内容に従った動作が行われます。（例えば、指定されたテレビ放送のチャンネルに切り換わるなど）

■ お好みページを削除する

① **▼▲ で削除したいお好みページのタイトル / 内容を選び、[便利機能 画面モード]を押す**

② **▼ ▶ で「削除」を選び、(決定)を押す**

③ **削除確認画面で「はい」を選び、(決定)を押す**

お好みページ一覧に戻ります。

④ **お好みページが削除されていることを確認し、(終了)を押す**

❖ データ放送からの指示で、お好みページを自動的に削除させる場合は、次のように行います。

❶ [便利機能 画面モード]を押す

❷［削除許可設定］の項目を選び、「許可」を選ぶ

❸「更新」を選び、(決定)を押す

❹ 更新確認画面で「はい」を選び、(決定)を押す

❺ (終了)を押す

準備
テレビを見る
外部機器を使う
アクトビラでホームページを見る
もっと使いこなす
トラブル時の対処
付録

データ放送を見る（つづき）

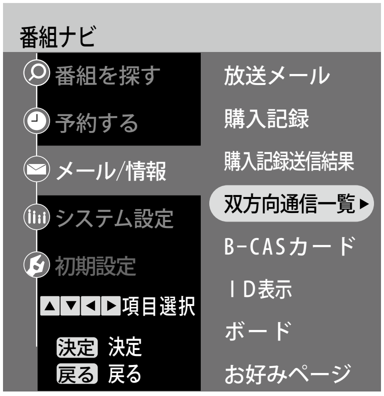
双方向通信の一覧を表示する

デジタル放送視聴中に行った双方向通信の記録を一覧で表示します。

1 **番組ナビを押す**

2 **▼で［メール / 情報］を選び、決定を押す**

3 **▼で［双方向通信一覧］を選び、決定を押す**



一覧が表示されます。

双方向通信一覧

通信開始時刻	電話番号
１０月１日(月) 10:15	○○○-○○○-○○○○
１０月１日(月) 12:05	○○○-○○○-○○○○
１０月１日(月) 16:00	○○○-○○○-○○○○
１０月２日(火) 9:00	○○○-○○○-○○○○
１０月２日(火) 12:05	○○○-○○○-○○○○
１０月２日(火) 15:10	○○○-○○○-○○○○
１０月３日(水) 9:15	○○○-○○○-○○○○

通信に失敗したときは、右端にエラーコードが表示されます。

4 **終了を押す**

一覧表示を終了します。

ペイ・パー・ビュー番組を見る

ペイ・パー・ビュー番組とは、番組ごとに視聴料金を払って購入する番組のことです。
有料チャンネルを契約しなくても、見たい番組だけ料金を払って見ることができます。
ただし、放送会社とペイ・パー・ビューの契約が必要です。

ペイ・パー・ビュー番組のサービス

ペイ・パー・ビュー番組には、次の 3 通りのサービスがあります。

- 視聴も録画もできる
- 視聴はできるが録画ができない
- 追加料金を払えば録画ができる（録画購入）

❖ デジタル放送には、録画機器などで録画できないようにしている（コピーガードのある）番組があります。その番組は正常に録画できません。
コピーガードを解除できない番組は「録画購入」の項目が表示されません。

ペイ・パー・ビュー番組を購入する

- ペイ・パー・ビュー番組を購入するには、電話回線を接続し（8 ページ）、［電話設定］（32 ページ）を行う必要があります。
- 購入した番組に複数の映像、音声、データ信号がある場合、基本以外の信号の視聴に追加料金が必要な場合があります。
- 番組によっては、購入できる時間が、番組開始からある時間までに限られている場合があります。その場合は、購入時間が過ぎると購入できなくなりますのでご注意ください。
- 1 番組ごとの購入限度額を設定することができます。（36 ページ）

注意

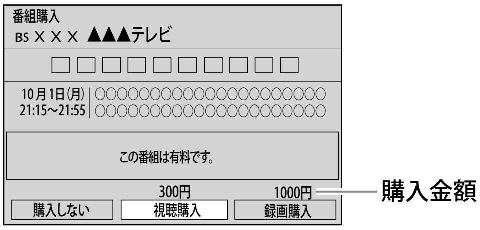
- **番組購入後の取り消しはできません。ただし、録画予約したペイ・パー・ビュー番組で、まだ番組が始まっていない場合には、予約取り消しができます。（60 ページ）**
- **番組購入後は、「視聴購入」、「録画購入」の変更はできません。**

1 **ペイ・パー・ビュー番組を選ぶ**

番組によっては、番組購入の前にわずかな時間だけ視聴できる（プレビュー）ものがあります。

画面の指示に従って操作してください。

2 **◀ ▶ で項目を選び、(決定)を押す**



❖ 番組によっては、選べる項目が変わります。

「購入する」： 番組を購入したことになり、視聴できます。
ただし、コピーガードのある番組は、録画できません。

「購入しない」：番組を購入しません。

「視聴購入」： この表示は、料金を払うと視聴できる番組のみ表示されます。視聴できますが、コピーガードのある番組は録画できません。

「録画購入」： この表示は、料金を払うと録画できる番組のみ表示されます。視聴、および録画ができます。

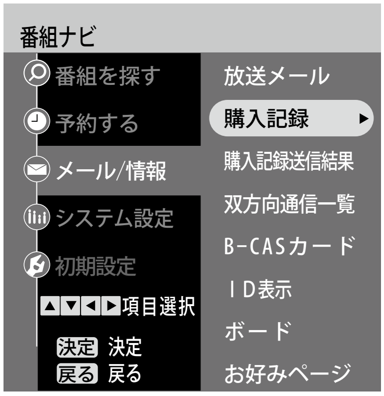
ペイ・パー・ビュー番組の購入状況を確認する

購入したペイ・パー・ビュー番組のタイトルや金額を確認することができます。

1 **(番組ナビ)を押す**

2 **▼ で［メール / 情報］を選び、(決定)を押す**

3 **▼ で［購入記録］を選び、(決定)を押す**



購入記録画面が表示されます。
購入記録は最大 25 件まで表示されます。

4 **(戻る)または(終了)を押す**

購入記録表示を終了します。

■ 購入累計金額を０に戻す

① **購入記録画面で(12#)を押す**

② **リセット確認画面で「はい」を選び、(決定)を押す**

❖累計金額を０に戻すことはできますが、購入記録は削除できません。

❖表示される金額は参考金額です。価格改定などで請求金額と異なる場合があります。

ペイ・パー・ビュー番組を見る(つづき) ｜ いろいろな情報を見る

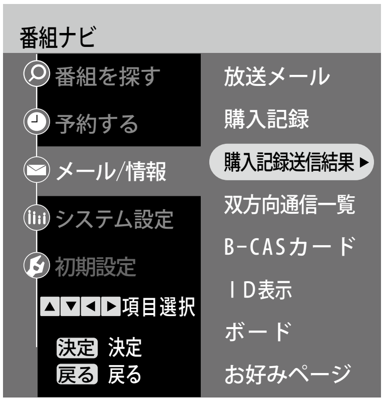
ペイ・パー・ビュー番組を正しく購入できたか確認する

ペイ・パー・ビュー番組を購入したときの送信状況を確認し、正しく購入できたか確認したり、購入情報を送信しなおしたりすることができます。

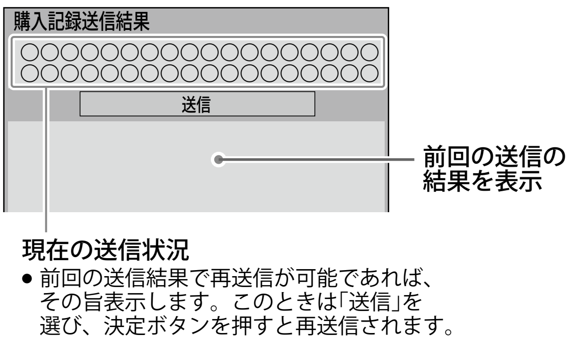
1 番組ナビ を押す

2 ▼ で[メール / 情報] を選び、(決定)を押す

3 ▼ で[購入記録送信結果] を選び、(決定)を押す



最新の送信結果が表示されます。
メッセージを確認してください。



4 (戻る)または(終了)を押す

購入記録送信結果表示を終了します。

放送局などからの情報や、本機に関する情報を見ることができます。

1 番組ナビ を押す

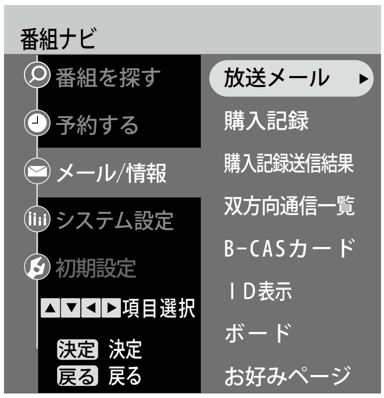
2 ▼ で「メール / 情報」を選び、(決定)を押す

以降は、見たい情報に応じて操作してください。

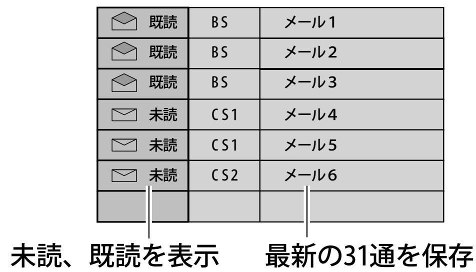
■ 放送メール

放送局や本機からのお知らせや情報を確認できます。

① [放送メール] を選び、(決定)を押す



受信したメールの一覧が表示されます。



② ▼▲ で確認したいメールを選び、(決定)を押す

メールの内容が表示されます。

❖ メールの内容に合わせて、ボタンが表示されることがあります。ボタンを選んで(決定)を押すと、関連画面を表示します。

❖ B-CAS カードが挿入されていないと、メールを受信できない場合があります。

③ (戻る)または(終了)を押す

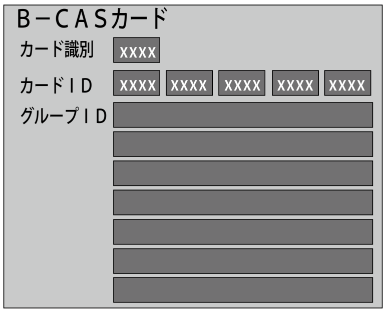
メール表示を終了します。

■ B-CAS カード番号

本体に装着された B-CAS カードを取り外すことなく、カードの登録番号が確認できます。

① ▼で[B-CAS カード]を選び、(決定)を押す

カードの情報が確認できます。



② (戻る)または(終了)を押す

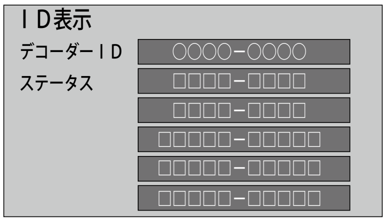
情報表示を終了します。

■ ID

本機に関するソフト情報を確認できます。

① ▼で[ID 表示]を選び、(決定)を押す

デコーダー ID などの情報が表示されます。



- ●青を押すと、ソフト情報（本機で使用しているフリーソフトの状況）を表示します。
- ●赤を押すと、ルート証明書を表示します。

❖ ルート証明書は、双方向サービスで、本機がサーバーに接続する際の認証に使用されます。これによって、双方向サービスの安全性を高めることができます。

② (戻る)または(終了)を押す

情報表示を終了します。

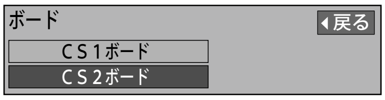
❖ デジタル放送を見ているときに、(番組ナビ)を 5 秒以上押しても ID を表示できます。

■ ボード

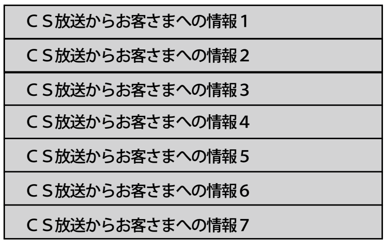
110 度 CS デジタル放送から送られる情報を確認できます。

① ▼で[ボード]を選び、(決定)を押す

② ▼▲で[CS1 ボード]または[CS2 ボード]を選び、(決定)を押す



③ ▼▲で確認したい情報を選び、(決定)を押す



CS 放送から送られてきた情報が表示されます。

④ (戻る)または(終了)を押す

情報表示を終了します。

テレビを録画する

録画予約について

本機が受信したデジタル放送を録画機器に録画することができます。

注意

- **デジタル放送を録画した番組を個人で楽しむ場合は問題ありませんが、録画した番組を許可なくダビングして他人に配ることは法律に違反します。不正にダビングしたソフトが出回ると番組の制作者や出演者などの権利が著しく侵害され、良質な番組の提供に支障をきたすため、デジタル放送には「1 回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられています。（ただしコピー制御信号の実際の運用は、個々の放送局が判断します）**
  - VHS ビデオなどのアナログ録画機器での録画はこれまでどおり可能ですが、DVD レコーダーなどのデジタル録画機器では CPRM（著作権保護技術）に対応したデジタル録画機器と記録メディア（ディスクなど）の組み合わせにおいてのみ、1 回だけ録画が可能です。
    DVD-R や CPRM に対応していない DVD-RAM では録画ができませんのでご注意ください。
  - この信号とともに録画された番組は、他のデジタル録画機器へのダビングはできません。
  - 「1 回だけ録画可能」のコピー制御信号は、BS デジタル放送の WOWOW やスター・チャンネルで、すでに利用されています。
  - 「1 回だけ録画可能」と同じ意味で「デジタル 1COPY」「1 世代のみコピー可」と表現することがあります。
  - 詳細は録画機器の取扱説明書やカタログなどでご確認ください。
- **コピー制御のしくみに関する一般的な内容については下記ホームページをご覧ください。**
  - 社団法人　デジタル放送推進協会
    http://www.dpa.or.jp/
- **ハイビジョン放送の録画は、従来の地上アナログ放送と同等の画質になります。**

本機の録画予約の方法は、次の 3 通りあります。
ご使用の録画機器や用途に合わせて、予約方法をお選びください。

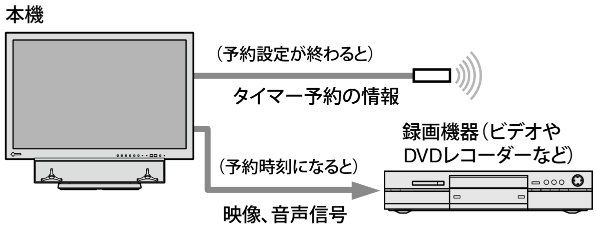
Ir システムを使って「タイマー予約」する

本機を使って録画機器の予約設定ができます。
本機で予約設定するだけで、録画機器の予約も設定できます。

❖ タイマー予約は、1995 年以降に発売された松下製のタイマー予約付きビデオおよび DVD レコーダーでのみ使用できます。（W-VHS を除く）

❖ 設定の前に、録画機器および Ir システムケーブルを接続し（14 ページ）、[Ir システム設定]（34 ページ）を行ってください。

❖ 深夜番組など、日付をまたいで放送される番組は、正しく録画されない場合があります。また、24 時間以上の録画はできません。このような場合は、「連動予約」をお使いください。



■ 本機側の準備

❖ 本機側の設定をする前に、録画機器側の準備を行ってください。

① **番組表から録画予約設定を行う**

（設定方法は、56 ページをご覧ください）

予約時刻になると、
スタンバイ時はスタンバイの状態のまま、予約が実行されます。
電源オン時は画面が予約番組に切り換わります。
（デジタル放送、アクトビラを選んでいるときのみ）

❖ 2 画面表示時は、子画面が予約番組に切り換わります。

■ 録画機器側の準備

① **リモコンで電源を入れる**

② **テープやディスクを入れる**

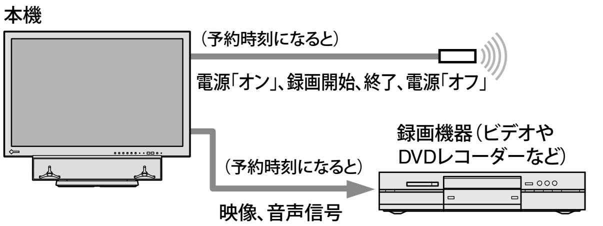
予約時刻になると録画が実行されます。

Ir システムを使って「連動予約」する

本機からリモコン信号を送って、ビデオなどの録画操作を行います。
予約に従って本機から「電源オン / オフ」「録画開始 / 停止」などの信号を送り、録画操作をします。

❖ 連動予約は、松下、ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、日立、アイワ、NEC のビデオ、および松下、パイオニアの DVD レコーダーでのみ使用できます。（VHS/DVD/HDD 複合ビデオデッキや一部のレコーダーでは使用できない場合があります）

❖ 設定の前に、録画機器および Ir システムケーブルを接続し （14 ページ）、［Ir システム設定］（34 ページ）を行ってください。



■ 本機側の準備

① **番組表から録画予約設定を行う**

（設定方法は、56 ページをご覧ください）

予約時刻になると、
スタンバイ時はスタンバイ状態のまま、予約が実行されます。
電源オン時は画面が予約番組に切り換わります。
（デジタル放送、アクトビラを選んでいるときのみ）

❖ 2 画面表示時は、子画面が予約番組に切り換わります。

■ 録画機器側の準備

予約実行開始の 3 分前までに準備をします。

① **テープやディスクを入れる**

② **本機の録画出力端子と接続した録画機器の外部入力端子に切り換える**

③ **録画モードを設定する**

④ **録画可能状態であることを確認し、リモコンで電源を切る（切らないと録画が開始されません）**

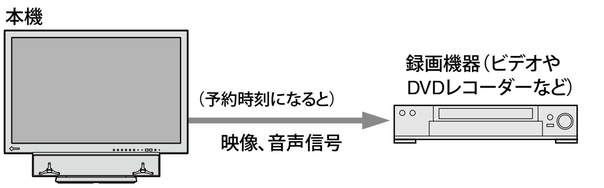
予約時刻になると電源が入り、録画が実行されます。（終了時刻には電源が切れます）

❖ DVD レコーダーで複数の予約録画を行う場合、番組の間隔が 1 分未満のときは、1 つの番組として録画されることがあります。

本機と録画機器で別々に「通常予約」する（Ir システムを使わないとき）

本機と録画機器で、それぞれ予約設定を行います。
録画したい番組を本機で予約し、受信した映像・音声信号を、別に予約設定した録画機器側で録画する方法です。

❖ 通常予約は、［Ir システム設定］（34 ページ）で録画機器の設定ができなかった場合など、Ir システムを使えないときにご利用ください。



■ 本機側の準備

① **番組表から録画予約設定を行う**

（設定方法は、56 ページをご覧ください）

予約時刻になると、
スタンバイ時はスタンバイの状態のまま、予約が実行されます。
電源オン時は画面が予約番組に切り換わります。
（デジタル放送、アクトビラを選んでいるときのみ）

❖ 2 画面表示時は、子画面が予約番組に切り換わります。

■ 録画機器側の準備

① **テープやディスクを入れる**

② **本機の録画出力端子と接続した録画機器の外部入力端子に切り換える**

③ **録画モード、録画開始、終了時刻を設定する**

予約時刻になると録画が実行されます。

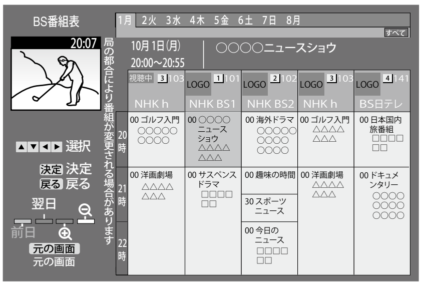
テレビを録画する（つづき）

番組表から録画予約する

1 番組表 を押す

❖「番組ナビ」メニュー［予約する］-［番組表で］を選んでも番組表を表示できます。

2 ▼▲◀ ▶ で番組表から録画したい番組を選び、決定を押す

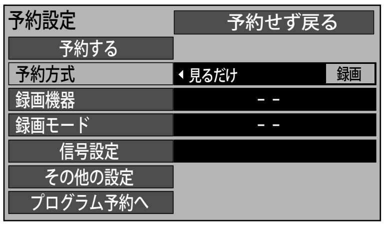


番組内容が表示されます。

3 ▶ で［予約する］を選び、決定を押す

❖ 暗証番号入力画面が表示される場合があります。

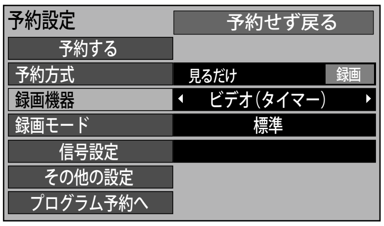
4 ▼ で［予約方式］を選び、▶ で「録画」を選ぶ



以降の手順は、Ir システムを使って録画するときの「タイマー予約」と「連動予約」、および Ir システムを使わないで録画する「通常予約」により異なります。
それぞれの場合の手順に従って操作してください。

■「タイマー予約」をする

① ▼▲◀ ▶ で各項目を設定する



［録画機器］：「ビデオ（タイマー）」または「DVD レコーダー（タイマー）」

［録画モード］：ビデオのとき
「標準」/「3 倍」/「5 倍」/「標 3」/「機器側設定」

DVD レコーダーのとき
「XP」/「SP」/「LP」/「EP」/「FR」/「機器側設定」

［信号設定］（59 ページ「予約の詳細設定」）

［その他の設定］（59 ページ「予約の詳細設定」）

❖ 録画モードは、録画機器の取扱説明書をご覧の上、録画機器で対応している録画モードを設定してください。

❖「機器側設定」を選んだときは、録画機器で設定してください。

② ▲ で「予約する」を選び、決定を押す

表示される画面に従って操作してください。

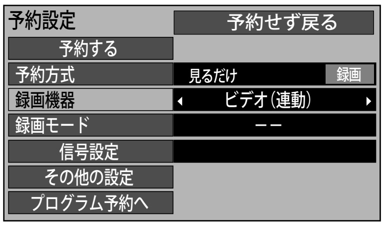
本機から録画機器に予約情報が送られ、録画機器がタイマー予約状態になると、予約は完了です。（録画機器がタイマー予約状態にならなかった場合は、「再送信」を行います）

③ 終了を押す

予約設定を終了します。

■「連動予約」をする

① ▼▲◀ ▶ で各項目を設定する



［録画機器］：　「ビデオ（連動）」または「DVD レコーダー（連動）」

［録画モード］：選べません（録画機器側で設定してください）

［信号設定］（59 ページ「予約の詳細設定」）

［その他の設定］（59 ページ「予約の詳細設定」）

❖ DVD レコーダーで複数の予約録画を行う場合、番組の間隔が 1 分未満のときは、1 つの番組として録画されることがあります。

② ▲ で「予約する」を選び、(決定)を押す

以上で、予約は完了です。

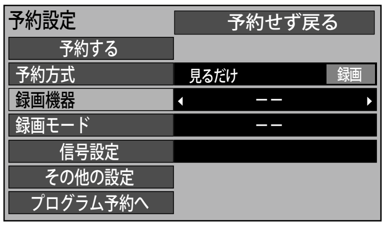
ただし、録画機器側での準備操作が必要です。（55 ページ）

③ (終了)を押す

予約設定を終了します。

■「通常予約」をする

① ▼▲◀ ▶ で各項目を設定する



［録画機器］：　「−−」

［録画モード］：選べません（録画機器側で設定してください）

［信号設定］（59 ページ「予約の詳細設定」）

［その他の設定］（59 ページ「予約の詳細設定」）

② ▲ で「予約する」を選び、(決定)を押す

以上で、予約は完了です。

ただし、録画機器側での予約設定が必要です。（55 ページ）

❖ 録画する番組は、ジャンル検索からも選ぶことができます。

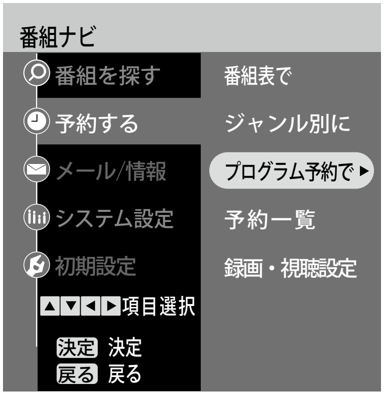
テレビを録画する（つづき）

日時を指定して予約する（プログラム予約）

1 番組ナビ を押す

2 ▼ で［予約する］を選び、決定を押す

3 ▼ で［プログラム予約で］を選び、決定を押す



4 ▼▲◀ ▶ で各項目を設定する

［予約方式］：　「見るだけ」/「録画」

［放送種別］：　放送種別を選ぶ

［予約チャンネル］：チャンネルを選ぶ

［曜日 / 日］：曜日と日を選ぶ

- 日付指定（1 か月先まで）⇔ 毎日 ⇔ 毎週（月 ~ 土）⇔ 毎週（月 ~ 金）⇔ 毎週（日）~ 毎週（土）⇔ 日付指定･･･

［開始時刻］/
［終了時刻］：　開始時刻と終了時刻を設定する

［録画機器］：　録画機器を選ぶ（56、57 ページ）

［録画モード］：　録画モードを選ぶ（56、57 ページ）

［信号設定］：　二重音声の設定内容を表示（二重音声の番組のみ）（59 ページ）

［その他の設定］：　［サイドカット］の設定を変更する（59 ページ）

5 ▼ で「予約する」を選び、決定を押す

表示される画面に従って操作してください。

以上で、予約は完了です。

6 終了を押す

予約設定を終了します。

❖ 暗証番号入力画面が表示された場合は、暗証番号を入力してください。

❖ 確認画面（またはエラー画面）が表示されたときは、表示内容を確認し操作してください。

❖ タイマー予約時の「再送信」は、録画機器がタイマー予約状態にならなかった場合に行ってください。

予約の詳細設定

信号設定

この信号設定は、マルチビュー放送や複数の映像や音声がある番組で、録画する信号を選ぶときに使用します。

予約設定画面で［信号設定］を選び、決定を押すと、信号設定画面が表示されます。

信号設定	戻る
マルチビュー	主番組
映像	映像 1
音声	日本語/英語
二重音声	自動
データ	ーー
字幕	オフ　オン
字幕言語	日本語　英語
	追加金額：0円

［マルチビュー］：　マルチビューの放送のとき（主番組 / 副番組 1/ 副番組 2）

［映像］：　映像が複数あるとき（映像 1、映像 2 など）

［音声］：　音声が複数あるとき（音声 1、音声 2 など）

［二重音声］：　二重音声のとき（自動 / 主音声 / 副音声 / 主＋副）

［データ］：　データが複数あるとき（データ 1、データ 2 など）

［字幕］：　字幕表示（オン / オフ）

［字幕言語］：　字幕言語（日本語、英語など）

❖ プログラム予約の場合、音声信号が複数ある番組でも第一音声が選択されます。

その他の設定

録画予約に関するその他の設定を行います。

予約設定画面で［その他の設定］を選び、決定を押すと、その他の設定画面が表示されます。

その他の設定	戻る
時間変更追従	しない　する
イベントリレー	オフ　オン
開始時刻修正　14：15	±0分
終了時刻修正　15：00	±0分
サイドカット	しない　する

［時間変更追従］：　終了時間変更に合わせて、予約も自動で変更したいとき「する」を選ぶ

❖ 局からの情報があるときのみ 3 時間まで追従します。

［イベントリレー］：延長番組が別のチャンネルで放送されるときに、続けて録画したいとき「オン」を選ぶ

❖ 局からの情報があるときのみ動作します。また、この場合、［時間変更追従］を「する」に設定してください。

［開始時刻修正］/
［終了時刻修正］：　予定時刻を微調整します。
・開始時刻：-1 分まで
・終了時刻：+1 分まで

❖ 開始時刻から終了時刻が、7 分以上あることが必要です。

［サイドカット］：　番組がワイド放送で両端に黒幕のある映像の場合、両端を切り取った映像に変換して出力させたいとき「する」を選ぶ

❖ 黒幕がない映像でも、両端を切り取った映像で出力しますのでご注意ください。また、データ放送のときは、サイドカットしません。

❖ 時間変更追従やイベントリレーで予約時間が変更された場合、別の予約番組と重複する可能性がありますのでご注意ください。

❖ 時間変更追従やイベントリレーは、「タイマー予約」と「プログラム予約」時は働きません。

❖ 時間変更追従を事前に設定しておくことができます。

❶ 番組ナビ を押す

❷ ▼ で［予約する］を選び、決定を押す

❸ ▼ で［録画・視聴設定］を選び、決定を押す

❹ ▼ で［時間変更追従］を選び、◀ ▶ で設定を選ぶ
（番組の終了時間変更に合わせて、予約も自動で変更したいときは「する」を選びます）

❺ 終了を押す

時間変更追従の設定を終了します。

テレビを録画する(つづき)

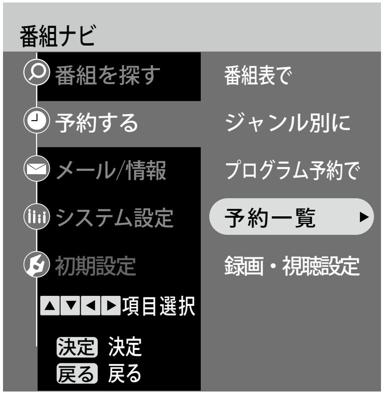
予約を変更する / 取り消す

予約一覧画面で、予約状況の確認や予約の変更、削除ができます。

1 番組ナビ を押す

2 ▼ で [予約する] を選び、決定を押す

3 ▼ で [予約一覧] を選び、決定を押す

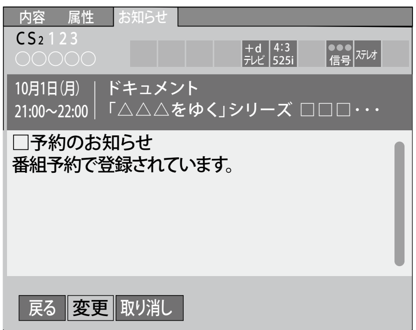


予約状況の一覧が表示されます。

■予約を変更する場合

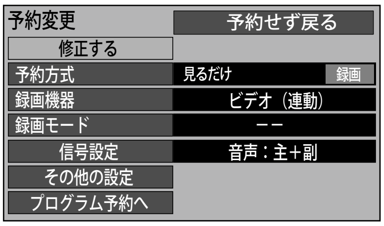
① ▼▲ で変更する番組を選び、決定を押す

② ▶ で [変更] を選び、決定を押す



③ **設定を変更する**

④ **▲ で「修正する」を選び、決定を押す**

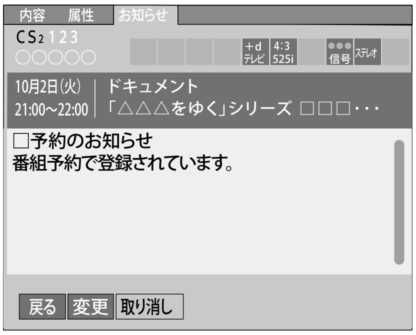


表示される画面に従って操作してください。
変更を完了します。

■ 予約を取り消す場合

① ▼▲ で取り消す番組を選び、決定を押す

② ▶ で [取り消し] を選び、決定を押す



予約が取り消されます。

4 終了を押す

予約の変更 / 取り消しを終了します。

❖「タイマー予約」の変更、取り消しは、録画機器側でも行ってください。

❖ 実行中の予約は、予約一覧からは変更できません。
実行を中止する場合は、便利機能 画面モード を押し、画面のメッセージに従って操作を行ってください。

❖ 実行済みの予約は、「履歴削除」を選んで決定を押すと、一覧から削除されます。

予約についての注意

予約後のメッセージ

> 予約できませんでした。

過去の時間帯を予約しようとしたときに表示されます。

> 予約がいっぱいです。
> 予約を削除してから
> やり直してください。

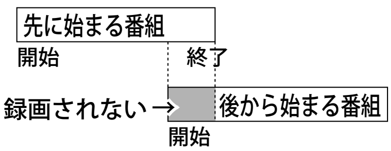
予約は 24 件までです。予約一覧で不要な予約を取り消してください。（60 ページ）

> 予約が完了しました。
> 予約が重複しています。予約が
> 実行されない場合があります。

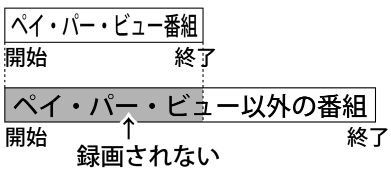
すでに予約されている番組と同じ時間帯の番組を予約しています。

このとき、そのまま実行すると、重複している部分は録画されず、次のようになります。

- 放送開始時刻の早い番組を優先



- 開始時刻が同じ場合は、ペイ・パー・ビュー（有料）番組を優先



- 上記以外の場合は、予約一覧の順に録画します。

正しく録画するために

- 放送中または開始直前の番組を予約録画した場合、録画機器は、電源「入」後、録画可能になるまで、約数十秒かかる場合があります。
- 番組にコピーガードがかかっている場合は、正しく録画されません。
- 年齢制限を設定しているときは、暗証番号を入力しないと録画されません。

録画中のご注意

- 録画中は、現在録画中のチャンネル以外のデジタル放送を視聴することはできません。
- 録画を中止するときは、[便利機能 画面モード] を押し、画面のメッセージに従って操作してください。

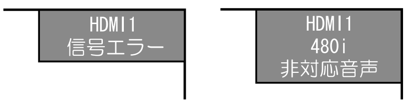
入力を切り換える

1 **入力切換（または本体の入力切換）を押す**

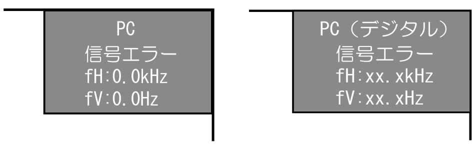
入力切換を押すたびに入力が切り換わり、それぞれの入力に接続した機器からの映像が表示されます。

ビデオ 1
↓
ビデオ 2
↓
HDMI 1
↓
HDMI 2
↓
HDMI 3
↓
PC

❖ HDMI を選んだ場合、接続した機器から入力されている信号が本機に対応していないときには、次のような画面が表示されます。機器のデジタル信号のフォーマットを確認してください。本機の対応フォーマットは、115、117 ページをご覧ください。



❖ PC を選んだ場合、コンピュータから入力されている信号が本機に対応していないときには、次のような画面が表示されます。コンピュータ側の設定を確認し、本機に対応した表示モードに変更してください。本機の対応信号は、115、117 ページをご覧ください。



❖ アナログ接続をした PC を選んだ場合は、画面の表示後に［自動画面調整］を行うことをおすすめします。（64 ページ）

入力別に調整 / 設定を行う

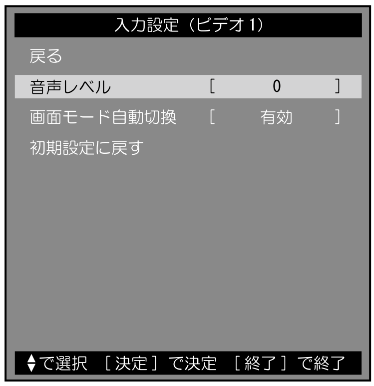
ビデオ入力設定

ビデオ 1、2 に入力される映像 / 音声信号に関する設定を行います。

1 **設定する入力（ビデオ 1/2）を選び、設定 ◯ を押す**

2 **▼ で［入力設定］を選び、決定 を押す**

3 **▼▲ で設定項目を選び、決定 を押す**



4 **◀ ▶ で設定値を選び、決定 を押す**

設定項目	設定値	説明
音声レベル	− 3 〜＋ 3	入力される音声のレベルを調整し、入力を切り換えたときの音量差を軽減します。※1
画面モード自動切換	有効 無効	入力信号に応じて、画面の表示サイズを自動的に切り換えるかどうかを設定します。（82 ページ）
HD 表示率選択（ビデオ 2 の場合）	全画面 16:9 16:9 フル	HD 信号（1125i［1080i］、750p［720p］）を入力しているときの画面の表示率を選択します。（83 ページ）

※ [1]外部機器とテレビ放送などの平均的音声レベルが異なるため、入力によって音量差が生じることがあります。例えば、入力を外部機器からテレビに切り換えたときに音量が大きくなった場合には、音声レベルの設定を上げると、音量差を軽減することができます。

5 (終了)を押す

注意

- ［音声レベル］の設定によっては、音がひずむ場合があります。その際は、音量を下げてみてください。ひずみが解消されることがあります。

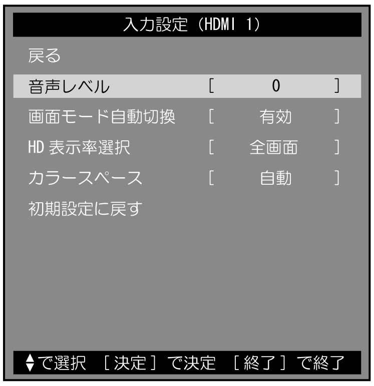
HDMI 入力設定

HDMI1 ～ 3 に入力される映像 / 音声信号に関する設定を行います。

1 設定する入力（HDMI 1/2/3）を選び、（設定）を押す

2 ▼ で入力設定を選び、(決定)を押す

3 ▼▲ で設定項目を選び、(決定)を押す



4 ◀ ▶ で設定値を選び、(決定)を押す

設定項目	設定値	説明
音声レベル	－３～＋３	「ビデオ入力設定」参照（62 ページ）
画面モード自動切換	有効 無効	「ビデオ入力設定」参照（62 ページ）
HD 表示率選択	全画面 16:9 16:9 フル	HD 信号（1125i［1080i］、750p［720p］、1125p［1080p］）を入力しているときの画面の表示率を選択します。（83 ページ）
カラースペース	自動 YUV 4:2:2 YUV 4:4:4 RGBフルレンジ	映像信号のカラースペースを指定します。 通常は「自動」を選択してください。色が正しく表示されない場合は、設定を変更してみてください。

5 (終了)を押す

入力別に調整 / 設定を行う（つづき）

PC 入力設定

コンピュータ画面の調整および音声信号の設定を行います。

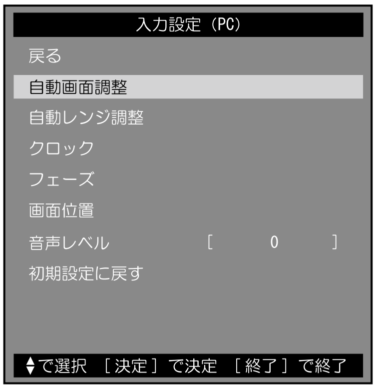
1 PC 入力を選び、(設定)を押す

2 ▼ で［入力設定］を選び、(決定)を押す

画面調整（アナログ信号のみ）

❖ デジタル信号入力の場合は、本機の設定データに基づいて画面が正しく表示されます。画面の調整をする必要はありません。

❖ 調整は、電源を入れて 30 分以上経過してから行ってください。



■ 自動画面調整

画面の表示サイズ、表示位置などを自動で調整します。

① **▼ で［自動画面調整］を選び、(決定)を押す**

② **実行確認画面で「はい」を選び、(決定)を押す**

画面調整が実行されます。

❖「入力信号の解像度を選択してください。」というメッセージが表示された場合は、コンピュータ側で設定した解像度を選んで、(決定)を押してください。

③ **(終了)を押す**

注意

- ［自動画面調整］は、Windows など画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。DOS プロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。また、一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

❖ 次の場合には、自動的に［自動画面調整］がはたらきます。

- 本機に今まで接続されたことのない信号が入力された場合
- 入力信号の解像度やリフレッシュレートを変えた場合で、今までに入力されていない信号の場合

ただし、VGA など低解像度の信号では自動的に［自動画面調整］ははたらきません。

❖［自動画面調整］を行っても、映像に横縞やちらつきなどが出たり、画面位置が正しく表示されなかった場合は、次ページの［クロック］、［フェーズ］、［画面位置］の調整を行ってください。

■ 自動レンジ調整

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調（0 〜 255）を表示できるように調整します。

❖ レンジ調整を実行するときは、白い画面を表示させてから行ってください。

① **▼ で［自動レンジ調整］を選び、(決定)を押す**

② **実行確認画面で「はい」を選択し、(決定)を押す**

レンジ調整が実行されます。

③ **(終了)を押す**

■ クロック調整

映像に横縞が出る場合に調整します。
調整のしかたは次のとおりです。

① **[クロック]を選び、(決定)を押す**

次のように表示されます。

クロック	◄ 1588 ►

② **画面を見ながら、◄ ► で横縞が出なくなるように調整する**

調整後の映像にちらつきやにじみが出た場合は、［フェーズ］を調整してください。

■ フェーズ

映像にちらつきやにじみが出る場合に調整します。
調整のしかたは次のとおりです。

① **[フェーズ]を選び、(決定)を押す**

次のように表示されます。

フェーズ	◄ 16 ►

② **画面を見ながら、◄ ► でちらつきやにじみが出なくなるように調整する**

■ 画面位置設定

画面の表示位置を調整します。
調整のしかたは次のとおりです。

① **[画面位置]を選び、(決定)を押す**

次のように表示されます。

画面位置	◄ 水平 ►	▲ 垂直 ▼

② **▼▲◄ ► で位置を調整する**

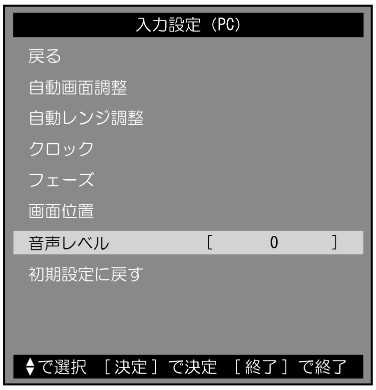
音声設定

■ 音声レベル設定

入力される音声のレベルを調整し、入力を切り換えたときの音量差を軽減します。

❖ 外部機器とテレビ放送などの平均的音声レベルが異なるため、入力によって音量差が生じることがあります。例えば、入力を外部機器からテレビに切り換えたときに音量が大きくなった場合には、音声レベルの設定を上げると、音量差を軽減することができます。

① **▼ で[音声レベル]を選び、(決定)を押す**



② **◄ ► で設定値を選び、(決定)を押す**

③ **(終了)を押す**

付属のリモコンで外部機器を操作する

本機に付属しているリモコンで、他社製の HDD 内蔵 DVD レコーダーを操作することができます。

メーカーを設定する

本機のリモコンで、他社製の HDD 内蔵 DVD レコーダーを操作するには、DVD レコーダーのメーカー設定を本機で行う必要があります。

1 **DVD電源 ◯ を押したまま、1 〜 10 で使用する 3 桁の設定番号（下表参照）を順に押す**

3 桁の数字を押すとメーカー設定は完了です。

❖ 設定番号は複数ありますので、左から順番に選んでください。

■ メーカー設定番号一覧

メーカー名	設定番号
日立	111、112、113、114、115、116
ビクター（JVC）	211、212、213、214、215、216、217、218、
三菱	411、412、413、414、415
Panasonic（松下）	311、312、313
パイオニア	511、512、513
シャープ	611、612、613、614、615
ソニー	811、812、813、814、815、816、817、818、819、821、822、823、824
東芝	911、912、913
ナナオ	770※1

※1 お買い上げ時の設定

2 **DVD電源 ◯ を押して、機器の電源がオン / オフできるか確認する**

リモコンを操作して、機器が操作できるか確認してください。うまく操作できない場合は、設定番号を変えて設定をやり直してください。

注意

- メーカー設定番号一覧にあるメーカーの機器でも、年代や機種によっては操作できないものもあります。

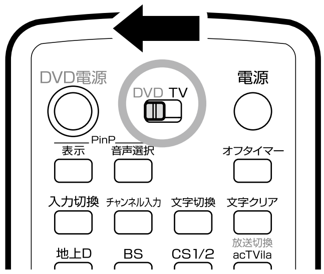
❖ リモコンから乾電池を長時間外してあった場合、メーカー設定が再度必要になる場合があります。

❖ お買い上げ時は、メーカー設定として「ナナオ」が設定されています。（設定番号「770」）
このときスイッチを「DVD」側へずらすと、当社液晶テレビ（FORIS.TV SC23XA1/SC20XD2/SC26XD2/SC32XD2）の DVD プレーヤーが操作できるようになります。

操作のしかた

1 **DVD/TV 操作切換スイッチを「DVD」側にずらす**

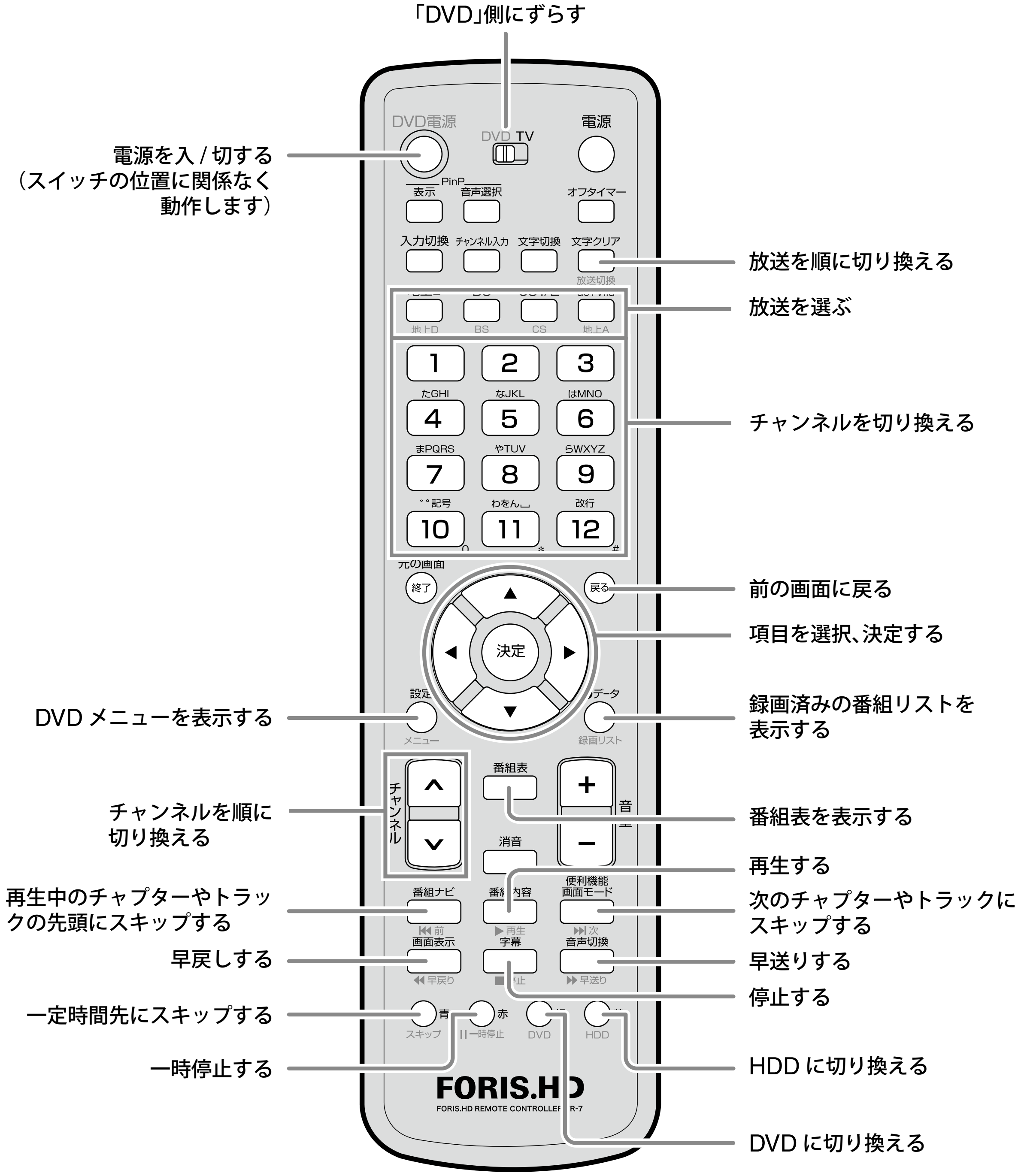
スイッチの位置を「DVD」に合わせると、メーカー設定を行った DVD レコーダーの操作が可能になります。（次ページ）



注意

- メーカーによっては、機能の名称が異なることがあります。
- 設定番号や機器によっては、一部の機能が操作できない場合があります。
- リモコンにある機能でも機器が対応していない場合は操作できません。
- リモコンにない機能は操作できません。

■ 他社製 HDD 内蔵 DVD レコーダーの操作



❖ その他のボタンは、スイッチを「DVD」側にずらしても、操作の対象は FORIS.HD（本機）になります。

ネットワーク設定 / ブラウザ設定

本機は、テレビをもっと楽しむためのネット・サービス「アクトビラ」に対応しています。
アクトビラでは、専用のホームページ（ポータルサイト）に接続して、テレビをもっと楽しむための情報や、テレビをもっと使いたくなるサービスを利用することができます。

❖ 本機は「アクトビラ　ベーシック」に対応しています。（「アクトビラ　ビデオ」はご利用いただけません）

アクトビラを使用するときは、あらかじめ本機をネットワークに接続し（10 ページ）、［ネットワーク設定］および［ブラウザ設定］を行ってください。

❖ アクトビラ操作のしかたは、72 ページ以降をご覧ください。

ネットワーク設定

1 **デジタル放送に切り換え、番組ナビを押す**

2 **▼ で［初期設定］を選び、決定を押す**

3 **▼ で［設置設定］を選び、決定を 3 秒以上押す**

4 **▼ で［ネットワーク設定］を選び、決定を押す**

ネットワーク設定画面が表示されますので、各項目の設定を行います。

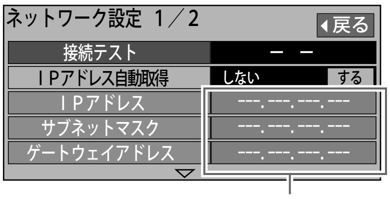
■ IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイアドレス設定

ルーターなどの仕様に従って、IP アドレスを設定します。

• DHCP での IP アドレスの自動取得が使えるとき

① **▼ で［IP アドレス自動取得］を選び、▶ で「する」を選ぶ**

❖ ブロードバンドルーターやルーター機能付き ADSL モデムをお使いの場合は、一般に DHCP での IP アドレス自動取得が使えます。ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。



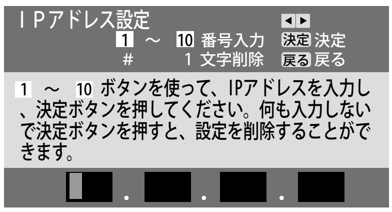
取得したアドレスを表示

• 手動で入力するとき

① **▼ で［IP アドレス自動取得］を選び、◀ で「しない」を選ぶ**

② **▼ で［IP アドレス］［サブネットマスク］［ゲートウェイアドレス］をそれぞれ選び、決定を押す**

③ **IP アドレスを画面の指示に従って入力する**



（入力画面例：IP アドレス）

❖ IP アドレスが 0 から 255 の範囲外のときは、エラーメッセージが表示されます。

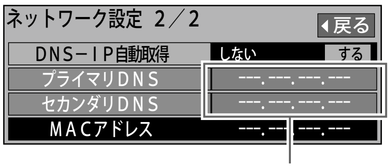
❖ 設定は、［接続テスト］（69 ページ）を実行すると有効になります。

■ プライマリ DNS/ セカンダリ DNS 設定

DNS の設定を行います。

- DHCP での DNS アドレスの自動取得が使えるとき

① **▼ で［DNS-IP 自動取得］を選び、▶ で「する」を選ぶ**



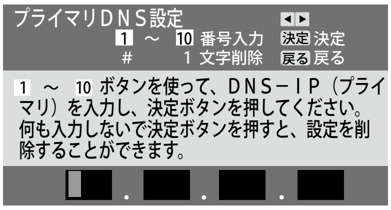
取得したアドレスを表示

- 手動で入力するとき

① **▼ で［DNS-IP 自動取得］を選び、◀ で「しない」を選ぶ**

② **▼ で［プライマリ DNS］［セカンダリ DNS］をそれぞれ選び、(決定)を押す**

③ **プロバイダーから指示された IP アドレスを画面の指示に従って入力する**



（入力画面例：プライマリ DNS）

❖ IP アドレスが 0 から 255 の範囲外のときは、エラーメッセージが表示されます。

❖ 設定は、次項の［接続テスト］を実行すると有効になります。

■ 接続テスト

ネットワーク設定が正しく設定されているか確認します。

① **▼ で［接続テスト］を選び、(決定)を押す**

接続テストが実行されます。

「OK」：　接続は完了しました

「NG」：　ネットワークの接続と設定を確認し、再度テストを実行してください

5 **(戻る)または(終了)を押す**

ネットワーク設定を終了します。

ネットワーク設定 / ブラウザ設定(つづき)

ブラウザ設定

1 **デジタル放送に切り換え、番組ナビを押す**

2 **▼ で[初期設定]を選び、決定を押す**

3 **▼ で[設置設定]を選び、決定を 3 秒以上押す**

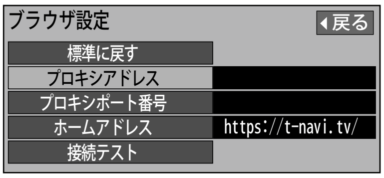
4 **▼ で[ブラウザ設定]を選び、決定を押す**

ブラウザ設定画面が表示されますので、各項目の設定を行います。

■ プロキシアドレス / プロキシポート番号設定

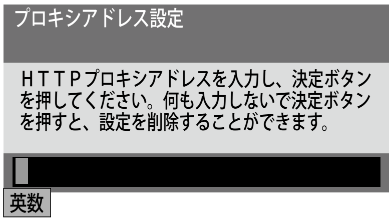
プロバイダーから指定があるとき、プロキシアドレスを設定します。
これは、ブラウザの代わりに目的のサーバーに接続し、ブラウザにデータを転送する中継サーバーのアドレスです。

① **▼ で[プロキシアドレス]を選び、決定を押す**



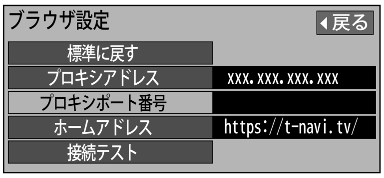
② **アドレスを入力し、決定を押す**

文字の入力方法は、「文字入力のしかた」(76 ページ)をご覧ください。



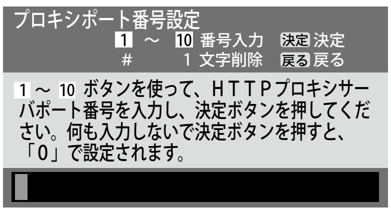
③ **設定確認画面で「はい」を選び、決定を押す**

④ **▼ で[プロキシポート番号]を選び、決定を押す**



⑤ **ポート番号を入力し、決定を押す**

文字の入力方法は、「文字入力のしかた」(76 ページ)をご覧ください。



⑥ **設定確認画面で「はい」を選び、決定を押す**

■ ホームアドレス

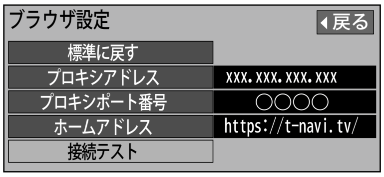
アクトビラ「ネット操作パネル」（72 ページ）の ホーム を選んだときに表示されるホームページのアドレスを確認できます。（変更はできません）

注意
- アドレス「https://t-navi.tv/」で、アクトビラのポータルサイトに接続されます。

■ 接続テスト

ネットワーク設定とブラウザ設定が終了した後に、ポータルサイトに接続できるか確認します。

① **▼ で［接続テスト］を選び、決定を押す**



接続テストが実行されます。

接続が完了すると、「正常に接続されました。」と表示されます。

❖ サイトに接続できなかった場合、エラーメッセージが表示されます。
ネットワークの接続（10 ページ）と設定（68 ページ）、ブラウザ設定（70 ページ）を確認し、再度テストを実行してください。

5 **戻るまたは終了を押す**

ブラウザ設定を終了します。

アクトビラを見る

1 acTVila を押す

アクトビラのポータルサイトに接続します。

2 ▼▲◀ ▶ で見たい項目を選び、(決定)を押す

（ポータルサイトの画面イメージ例）

❖ アクトビラのポータルサイトに戻るときは、acTVila を押します。

3 アクトビラを終了させるときは、(終了)を押す

前回見ていたテレビ放送の画面が表示されます。

❖ 天災やシステム障害その他の理由で、アクトビラのコンテンツを表示できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

❖ アクトビラの利用条件については、別途、アクトビラのサービス内にてご確認ください。

❖ 録画予約が開始されると、アクトビラは終了し、テレビ画面に戻ります。

■ 初めてアクトビラをお使いになるとき

acTVila を押すと端末情報送信画面が表示されます。画面の指示に従って、端末情報を送信してください。

❖ 端末情報とは、郵便番号や端末の識別 ID（本機にあらかじめ設定された番号）などのアクトビラの通信制御に必要な情報のことです。

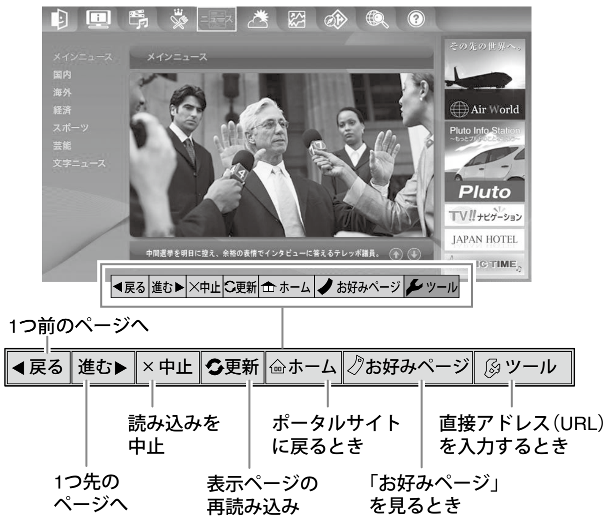
❖ 端末情報を送信しないと、アクトビラ機能の一部が使えません。一度送信を行うと、次回からは送信画面は表示されませんが、郵便番号が正しくない場合や、長期間ポータルサイトを使用しなかった場合は、再び送信画面が表示されることがあります。

「ネット操作パネル」を使う

ホームページを見るときに便利な機能です。

1 便利機能 画面モード を押す

ネット操作パネルが表示されます。



2 ◀ ▶ で項目を選び、(決定)を押す

選んだ項目が実行されます。

ネット操作パネルを消すときは、もう一度 便利機能 画面モード を押します。

アドレス(URL)を入力してホームページを見るとき

1 便利機能/画面モード **を押す**

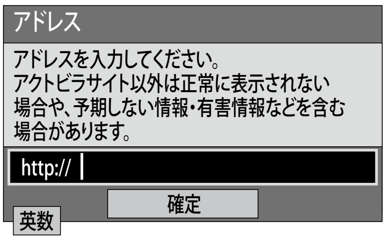
ネット操作パネルが表示されます。

2 **▶ で[ツール]を選び、(決定)を押す**

3 **[アドレス入力]を選び、(決定)を押す**

4 **アドレス(URL)を入力し、(決定)を押す**

文字の入力方法は、「文字入力のしかた」(76 ページ)をご覧ください。



5 **▼ で「確定」を選び、(決定)を押す**

注意

- アクトビラのコンテンツ以外の一般のインターネットホームページは、本機では正常に表示されない場合があります。また、予期しない情報や有害な情報が含まれている場合もあります。(アクトビラのコンテンツ以外の表示を制限することができます。次項参照)
- クレジットカードの番号や氏名などの個人情報を入力するときは、そのページの提供者が信用できるかどうか十分注意してください。
- アクトビラを使ってホームページに登録した情報は、ホームページのサーバーに登録されます。本機を譲渡または廃棄する場合は、登録時の規約などに従って、必ず登録情報の消去を行ってください。

■ アクトビラのコンテンツのみを見るようにする

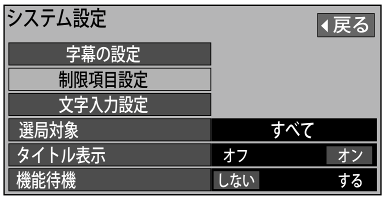
① **(終了)を押す**

テレビ放送の画面にします。

② 番組ナビ **を押す**

③ **▼ で[システム設定]を選び、(決定)を押す**

④ **▼ で[制限項目設定]を選び、(決定)を押す**



⑤ **暗証番号を入力する(37 ページ)**

⑥ **▼ で[ブラウザ制限]を選び、◀▶ で設定を選ぶ**

「すべて制限」: acTVila を押したときに、暗証番号の入力が必要

「アドレス入力制限」: アクトビラのコンテンツ以外は、暗証番号の入力が必要

「無制限」: 制限なし(暗証番号の入力は不要)

⑦ **(終了)を押す**

準備
テレビを見る
外部機器を使う
アクトビラでホームページを見る
もっと使いこなす
トラブル時の対処
付録

お好みページを使う

お好みページに登録する

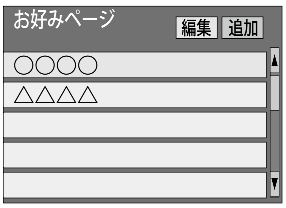
今見ているホームページを「お好みページ」に登録し、簡単に呼び出すことができます。

1 **ホームページを見ているときに、[便利機能 画面モード]を押す**

ネット操作パネルが表示されます。

2 **▶ で［お好みページ］を選び、(決定)を押す**

3 **▲ で「追加」を選び、(決定)を押す**



今見ているホームページがお好みページに登録されます。

❖「確認」を選び、(決定)を押すと、登録したページへの接続が確認できます。

❖ 登録したページを編集するときは「編集」を選びます。（75 ページ）

4 **(戻る)を押す**

登録を終了します

❖ お好みページへの登録は 20 件まで可能です。「これ以上登録できません。」のメッセージが表示されたときは、「編集」を選び、不要なお好みページを削除してください。（75 ページ）

お好みページに登録されたホームページを見る

1 **ホームページを見ているときに、[便利機能 画面モード]を押す**

ネット操作パネルが表示されます。

2 **▶ で［お好みページ］を選び、(決定)を押す**

3 **▼▲ で見たいホームページを選び、(決定)を押す**

❖ お好みページに登録したホームページが提供者の都合によりなくなったり、アドレスが変更になったりした場合は、そのページは表示できません。

お好みページを編集する

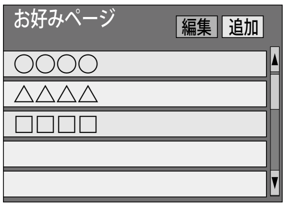
お好みページに登録したホームページのタイトルやアドレス（URL）を変更したり、ホームページを削除したりすることができます。

1 ホームページを見ているときに、便利機能 画面モード を押す

ネット操作パネルが表示されます。

2 ▶ で [お好みページ] を選び、(決定) を押す

3 ▲◀ で「編集」を選び、(決定) を押す



お好みページ一覧が表示されます。

上段：タイトル
下段：URL

以降は、目的に応じて各設定を行ってください。

■ お好みページのタイトル / アドレスを変更する

① **▼▲ で変更したいお好みページを選び、便利機能 画面モード を押す**

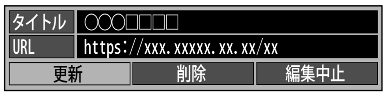
上段：タイトル
下段：URL

② **▼▲ で「タイトル」または「URL」を選ぶ**

③ **変更する**

文字の入力方法は「文字入力のしかた」（76 ページ）をご覧ください。

④ **▼ で「更新」を選び、(決定) を押す**



⑤ **更新確認画面で「はい」を選び、(決定) を押す**

お好みページ一覧に戻ります。

⑥ **編集した内容を確認し、(戻る) を押す**

■お好みページを削除する

① **▼▲ で削除したいお好みページを選び、便利機能 画面モード を押す**

② **▼ ▶ で「削除」を選び、(決定) を押す**

③ **削除確認画面で「はい」を選び、(決定) を押す**

お好みページ一覧に戻ります。

④ **編集した内容を確認し、(戻る) を押す**

文字入力のしかた

文字の入力設定

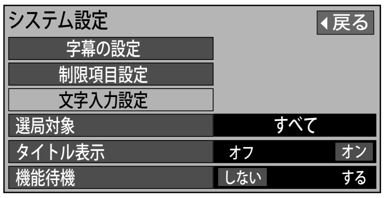
文字の入力方法と漢字への変換方式を設定します。

1 **(終了)を押して、テレビ放送の画面にする**

2 **[番組ナビ]を押す**

3 **▼ で［システム設定］を選び、(決定)を押す**

4 **▼ で［文字入力設定］を選び、(決定)を押す**

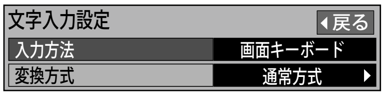


5 **▼ で［入力方法］を選び、◀ ▶ で設定を選ぶ**

「リモコンボタン」：リモコンボタンを使って、携帯電話と同じような操作で入力する

「画面キーボード」：画面上にキーボードを表示し、▼▲◀ ▶/(決定)を使って入力する

6 **▼ で［変換方式］を選び、◀ ▶ で設定を選ぶ**



「通常方式」：変換する文字を入力後に、一括変換する

「予測方式」：1 文字の入力で変換候補を表示する

7 **(終了)を押す**

文字の入力設定を終了します。

携帯（リモコン）方式で文字を入力する

文字入力欄にカーソルを移動させると、文字が入力できます。
リモコンボタンを使って、携帯電話と同じような操作で文字を入力します。

❖ 前項の「文字の入力設定」を参照し、［入力方法］を「リモコンボタン」に設定しておいてください。

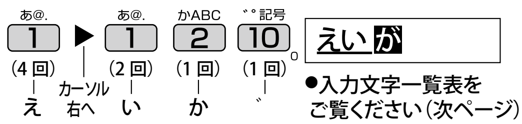
1 **[文字切換]で入力モードを選び、(決定)を押す**

押すたびに、かな→カナ→英数→数字と切り換わります。

- 漢字に変換するときは「かな」を選びます。
- 入力欄の状況により、選択できる入力モードが制限される場合があります。（例：英数と数字のみ）

2 **文字を入力する**

例：「えいが」と入力するとき



3 **漢字に変換しないときは、(決定)を押す**
漢字に変換するときは、変換したい漢字が出るまで ▼ を押し、(決定)を押す

❖ 続けて文字を入力する場合は、手順 1 から繰り返します。

準備
テレビを見る
外部機器を使う
アクトビラでホームページを見る
もっと使いこなす
トラブル時の対処
付録

■ リモコンボタンでの入力文字一覧表

ボタン＼入力モード	かな	カナ	英数	数字
あ@. 1	あ い う え お ぁ ぃ ぅ ぇ ぉ 1	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ 1	@ . / : _ 1	1
かABC 2	か き く け こ 2	カ キ ク ケ コ 2	a b c A B C 2	2
さDEF 3	さ し す せ そ 3	サ シ ス セ ソ 3	d e f D E F 3	3
たGHI 4	た ち つ て と っ 4	タ チ ツ テ ト ッ 4	g h i G H I 4	4
なJKL 5	な に ぬ ね の 5	ナ ニ ヌ ネ ノ 5	j k l J K L 5	5
はMNO 6	は ひ ふ へ ほ 6	ハ ヒ フ ヘ ホ 6	m n o M N O 6	6
まPQRS 7	ま み む め も 7	マ ミ ム メ モ 7	p q r s P Q R S 7	7
やTUV 8	や ゆ よ ゃ ゅ ょ 8	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ 8	t u v T U V 8	8
らWXYZ 9	ら り る れ ろ 9	ラ リ ル レ ロ 9	w x y z W X Y Z 9	9
゛゜記号 10 (0)	、 。 ? ! ・ ( ) 0	、 。 ? ! ・ ( ) 0	ー , ; ’ ” ? ! ( ) & ¥ 0	0
わをん␣ 11 (*)	わ を ん ゎ ー スペース	ワ ヲ ン ヮ ー スペース	スペース	*
改行 12 (#)	改行	改行	改行	#

- ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。（例:「え」を入力するときは[あ@. 1]を 4 回押す）
  未確定の文字があるときに[12]を押すと、表の逆順で文字が変わります。
- 「英数」と「数字」は、半角で入力されます。（全角に変換するときは ▼ を押す）
- 濁点や半濁点を入力するときは、文字に続けて[゛゜記号 10]を押します。

こんなときには

■ 同じボタンで続けて入力するときは

（例 :「いえ」）

❶ [あ@. 1]を 2 回押します。

❷ ▶ でカーソルを右に移動させます。

❸ [あ@. 1]を 4 回押します。

■ 文節を分けて変換するときは

（例 :「ろくが」の「ろく」だけ変換）

❶「ろくが」と入力し、▼ を押します。

❷ ◀ を押し、「ろく」だけを選びます。

❸ ▼ を押して変換します。

■ 記号を入力するときは

❶「きごう」と入力します。

❷ 変換したい記号が出るまで ▼ を押します。

■「予測方式」のときは

（例 :「テレビ」を入力するとき）

❶ [たGHI 4]を 4 回押します。

本機が予測して変換できると、「て」で始まる言葉の候補を表示します。
うまく変換できないときは、[文字切換]で一時的に「通常方式」に切り換えられます。

❷ ▼ で「テレビ」を選び、(決定)を押します。

■ 文字を追加するときは

❶ ◀ ▶ でカーソルを追加したい位置へ移動させます。

❷ 文字を入力します。

■ 文字を削除するときは

❶ ◀ ▶ でカーソルを消したい文字の左側に移動させます。

❷ [文字クリア]を押します。

カーソルの右の文字が削除されます。（右側に文字がない場合は、左側の文字が削除されます）

文字入力のしかた（つづき）

画面キーボード方式で文字を入力する

文字入力欄にカーソルを移動させせると、文字が入力できます。
画面上にキーボードを表示し、▼▲◀ ▶/ (決定)ボタンを使って入力します。

❖「文字の入力設定」（76 ページ）を参照し、［入力方法］を「画面キーボード」に設定しておいてください。

❖ 画面キーボード方式に設定した場合、カーソルを文字入力欄に移動させると、自動的に画面キーボードが表示されます。（文字を入力しない場合は、◯黄を押してキーボードを消してください）

1 ◯赤で入力モードを選ぶ

押すたびに、かな→カナ→英数と切り換わります。

- 漢字に変換するときは「かな」を選びます。
- 英数のみが入力できる項目のときは「英数」に固定されます。

2 ▼▲◀ ▶ で、画面上に表示されたキーボードから入力する文字を選び、(決定)を押す

この操作を繰り返して、文字を入力していきます。

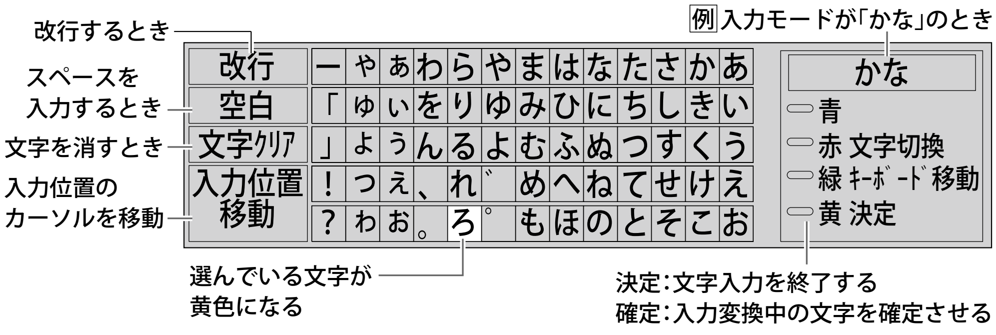
- 漢字に変換しないときは、◯黄を押します。
- 漢字に変更するときは、●青を押し（画面からキーボードが消える）、▼ で表示された変換候補の漢字を選び、(決定)を押します。

3 続けて文字を入力する場合は、手順 1 から繰り返す

4 入力を終了するときは、◯黄を押す

画面キーボードの表示が消えます。

■ 画面キーボードの見かた



- 画面上のキーボードの位置は、●緑を押すたびに移動します。
- 「英数」は、半角で入力されます。（全角に変換するときは●青を押し、▼ で変換します）

こんなときには

■ 文節を分けて変換するときは

（例：「ろくが」の「ろく」だけ変換）

❶「ろくが」と入力し、●青を押す

❷ ◀ を押し、「ろく」だけを選ぶ

❸ ▼ を押して変換する

■ 記号を入力するときは

❶「きごう」と入力する

❷ ●青を押す

❸ 変換したい記号が出るまで ▼ を押す

■「予測方式」のときは

（例：「テレビ」を入力するとき）

❶ ▼▲◀ ▶ で「て」を選び、(決定)を押す

本機が予測して変換できると、キーボードの上部に「て」で始まる言葉の候補を表示します。
うまく変換できないときは、●青で一時的に「通常方式」に切り換えられます。

❷ ▼▲◀ ▶ で「テレビ」を選び、(決定)を押す

■ 文字を追加するときは

❶ ▼▲◀ ▶ で「入力位置移動」を選び、(決定)を押す

❷ ◀ ▶ でカーソルを文字を追加したい位置へ移動させ、(決定)を押す

❸ 文字を入力する

■ 文字を削除するときは

❶ ▼▲◀ ▶ で「入力位置移動」を選び、(決定)を押す

❷ ◀ ▶ でカーソルを消したい文字の左側に移動させ、(決定)を押す

❸ (文字クリア)を押す

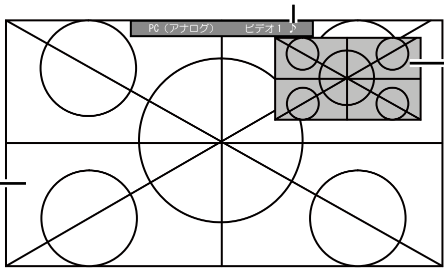
カーソルの右の文字が削除されます。（右側に文字がない場合は、左側の文字が削除されます）

2 画面表示にする 〈PinP〉

本機にコンピュータが接続されている場合、コンピュータの画面を親画面に、テレビやビデオなどの映像を子画面に表示して、2 つの画面を同時に楽しむことができます。

1 **表示を押す**

2 画面表示になります。



❖ アクトビラを選んでいるときは 2 画面表示できません。

❖ 親画面はコンピュータの画面表示になります。デジタル放送や他の入力に切り換えることはできません。また、コンピュータ画面を子画面に表示することもできません。

❖ 2 画面表示中は、手動での画面モードの切り換えはできません。

■ 2 画面表示を解除するときは

① **2 画面表示中に、表示を押す**

コンピュータ画面の 1 画面表示になります。

❖ 2 画面表示中に「見るだけ」予約の設定（44 ページ）をした時間になると、2 画面表示が解除され、予約した番組が 1 画面で表示されます。

親画面、子画面の音声を切り換える

1 **音声選択を押す**

音声選択を押すたびに、親画面と子画面の音声が入れかわります。

❖ 音符アイコン「♪」が表示されている画面の音声が出力されます。

子画面の放送 / 入力を切り換える

1 **地上D BS CS1/2 入力切換（または本体の放送切換 入力切換）を押す**

放送 / 入力が切り換わります。

❖ PC、アクトビラに切り換えることはできません。

デジタル放送のチャンネルを切り換える

1 **リモコンの数字ボタンまたは∧ ∨を押す**

チャンネルが切り換わります。

子画面の位置を変更する

子画面の位置を左上 / 右上 / 左下 / 右下に変更できます。

1 設定 ◯を押す

2 ▼で[PinP]を選び、(決定)を押す

3 ▼で[子画面位置]を選択し、(決定)を押す

4 ◀ ▶ で画面位置を選択し、(決定)を押す

5 (終了)を押す

子画面の表示を半透明にする

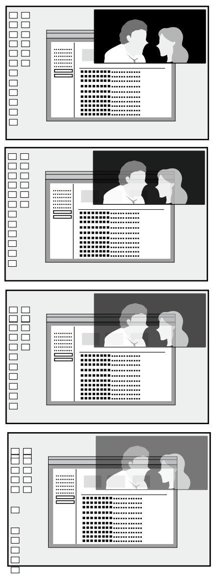
子画面を半透明にして、親画面が透けて見えるようにすることができます。

1 設定 ◯を押す

2 ▼で[PinP]を選び、(決定)を押す

3 ▼で[子画面半透明]を選択し、(決定)を押す

4 ◀ ▶ で設定値を選択し、(決定)を押す



「0」透明にしない

「1」 透明度小

「2」

「3」透明度大

5 (終了)を押す

画面の表示サイズを選ぶ 〈画面モード〉

画面の表示サイズ（画面モード）の切り換えかたは、選んでいる入力によって異なります。

❖ アクトビラを選んでいるときは、画面モードを切り換えることができません。

デジタル放送、ビデオ、HDMI の場合

自動切換と手動切換の 2 通りあります。

画面モード自動切換

■ デジタル放送とき

入力信号のアスペクト情報に応じて画面の表示サイズが自動的に切り換わります。

■ ビデオ、HDMI のとき

画面モードが「ノーマル」、画面モード自動切換が「有効」に設定されている場合に、入力信号のアスペクト情報に応じて画面の表示サイズが自動的に切り換わります。

❖ お買い上げ時は「ノーマル」、「有効」に設定されています。画面モードを自動で切り換えたくない場合は、画面モード自動切換を「無効」に設定してください。

• 画面モードの設定方法

次項「画面モード手動切換」をご覧ください。

• 画面モード自動切換の設定方法

❶ 設定 ◯ を押す

❷ ▼ で［入力設定］を選び、(決定)を押す

❸ ▼ で［画面モード自動切換］を選び、(決定)を押す

❹ ◀ ▶ で「有効」を選び、(決定)を押す

❖ 画面モードは、自動で切り換えられた後、手動で切り換えることができます。

出力機器から信号によっては、正しく切り換えが行われない場合があります。その場合は、手動で画面モードを切り換えてください。

画面モード手動切換

1 **便利機能 画面モード ［　］を押す**

- デジタル放送の場合は手順 2 へ
- ビデオ、HDMI の場合は手順 3 へ

2 **［画面モード切換］を選び、(決定)を押す**

3 **◀ ▶ で画面モードを切り換え、(決定)を押す**

画面モードは次のように切り換わります。

ノーマル → サイドカット → ズーム →（ノーマルへ戻る）

（各モードの見えかたについては 84、85 ページをご覧ください）

❖ ビデオ 2/HDMI に HD 信号（1125i［1080i］、750p［720p］、1125p［1080p］）が入力されたときは、自動的に画面モードが「ノーマル」に固定され、モードを切り換えることができません。

ただし、この場合でも画面の表示率を選択することができます。（次ページ）

■ 画面の表示率を選択する〈HD 表示率選択〉

次のような場合には、画面モードとは別に画面の表示率を選ぶことができます。

- デジタル放送のとき
- ビデオ 2、HDMI に HD 信号（1125i［1080i］、750p［720p］、1125p［1080p］）が入力されているとき

① 設定 ◯ **を押す**

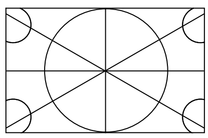
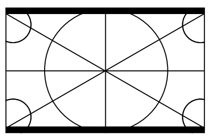
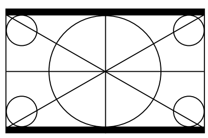
② **▼ で［入力設定］を選び、（決定）を押す**

③ **▼▲ で［HD 表示率選択］を選び、（決定）を押す**

④ **◀ ▶ で表示率を選び、（決定）を押す**

表示率は次のように切り換わります。

全画面
↓
16:9
↓
16:9 フル
（全画面に戻る）

設定	状態	
全画面	映像の左右を切り取り、画面全体を表示します。	
16:9	16:9 の画面で表示します。映像の上下左右が一部切れ、画面の上下に黒帯が表示されます	
16:9 フル	16:9 サイズの映像を、上下左右を切り取らずすべて画面に表示します。画面の上下に黒帯が表示されます。	

❖「16:9 フル」を選択したときに、画面の周囲部にノイズが見える場合には「16:9」を選択してください。

PC の場合

1 便利機能 画面モード **を押す**

2 **◀ ▶ で画面モードを切り換え、（決定）を押す**

画面モードは次のように切り換わります。

ノーマル
↓
リアル
↓
フルスクリーン
（ノーマルに戻る）

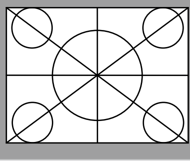
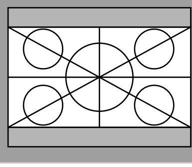
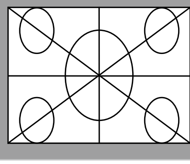
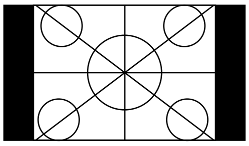
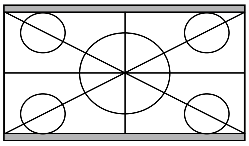
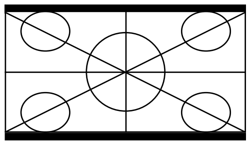
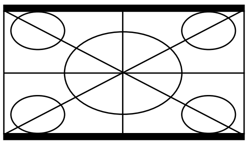
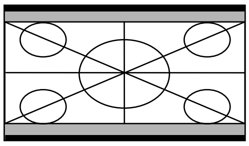
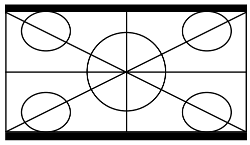
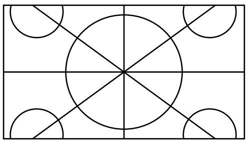
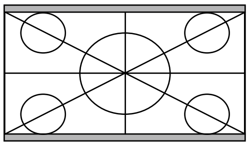
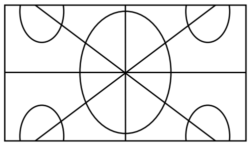
（各モードの見えかたについては 86 ページをご覧ください）

画面の表示サイズを選ぶ（つづき）

画面モードの種類

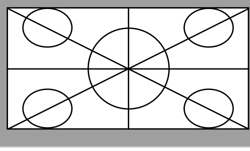
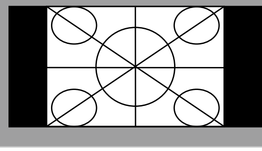
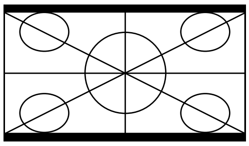
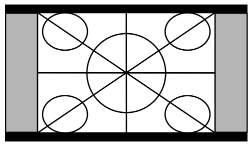
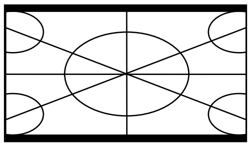
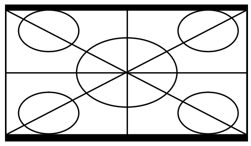
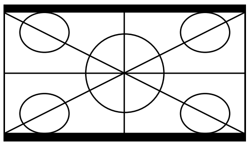
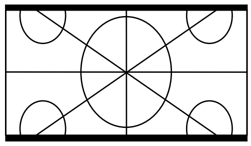
画面モードの種類と見えかたは次のとおりです。

■ ビデオ、HDMI に SD 信号（525i［480i］、525p［480p］）が入力されている場合

アスペクト情報／画面モード		4:3 サイズ 	レターボックス※2 	16:9 サイズ※3 
ノーマル	入力信号のアスペクト情報に応じた表示になります。※1			
サイドカット	映像の左右の黒帯を切り取り、中央の 4:3 の部分を画面全体に表示します。			
ズーム	レターボックスの上下の黒帯部分を切り取り、映像を画面全体に表示します。上下に黒帯がない映像は、上下が切れます。			

※1 画面モード自動切換が「有効」の場合
※2「ノーマル」と「ズーム」の見えかたは同じです。
※3「ノーマル」と「サイドカット」の見えかたは同じです。

■ デジタル放送の場合 / ビデオ 2、HDMI に HD 信号（1125i［1080i］、750p［720p］、1125p［1080p］）が入力されている場合

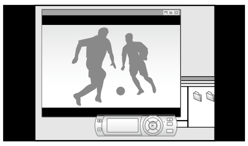
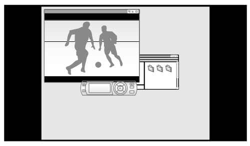
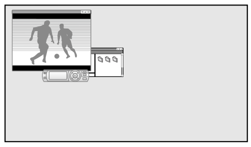
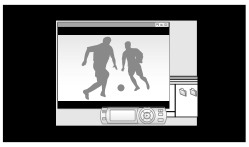
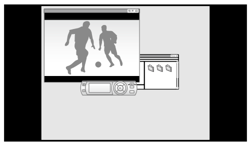
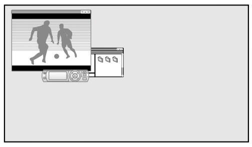
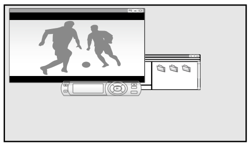
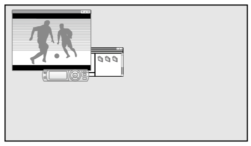
画面モード ＼ アスペクト情報		16:9 サイズ※3 	16:9 主画部 4:3 サイズ 
ノーマル	入力信号のアスペクト情報に応じた表示になります。※1		
サイドカット※2	左右の黒帯を切り取り、中央の 4:3 の部分を画面全体に表示します。左右に黒帯がない映像は、左右が切れます。		
ズーム※2	字幕つきの映像の場合、字幕部分を切り取り、映像を画面全体に表示します。		

※1 画面モード自動切換が「有効」の場合
※2 デジタル放送時のみ切り換えることができます。
※3「ノーマル」と「ズーム」の見えかたは同じです。

❖ 上記の場合、画面モードとは別に画面の表示率を選択することができます。（83 ページ）

画面の表示サイズを選ぶ(つづき)

■ PC 入力の場合

入力信号（解像度）：例 / 画面モード		1280 × 1024	1600 × 1200※1	1920 × 1200※2
ノーマル	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率を縦・横一定にするため、水平垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。			
リアル	設定した解像度のままの大きさで画像が表示されます。			
フル スクリーン	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率は縦・横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。			

※1「ノーマル」と「リアル」の見えかたは同じです。
※2 画面モードを変更しても見えかたは同じです。

オフタイマー機能を使う 〈オフタイマー〉

オフタイマーは、一定の時間が経つと自動的に本機の電源を切る機能です。

1 **[オフタイマー] を押す**

現在のオフタイマーの設定が 3 秒間表示されます。

2 **表示中に [オフタイマー] を押す**

[オフタイマー] を押すたびに、30 分刻みで時間が変わります。最長 180 分まで指定できます。

オフタイマー　無効
↓
オフタイマー　30 分
↓
オフタイマー　60 分
↓
オフタイマー　90 分
↓
オフタイマー　120 分
↓
オフタイマー　150 分
↓
オフタイマー　180 分
（→ オフタイマー　無効 に戻る）

表示が消えるとオフタイマーが設定され、設定した時間が経つと自動的に電源が切れます。

❖ 電源が切れる 1 分前になると、「まもなく電源が切れます」と表示されます。

オフタイマーを解除する

1 **「オフタイマー 無効」が表示されるまで [オフタイマー] を押す**

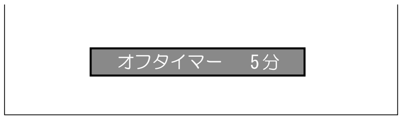
「オフタイマー 無効」を選ぶと、オフタイマーは解除されます。

❖ 電源を切ったときにも、オフタイマーが解除されます。

残り時間を確認する

1 **オフタイマーの設定中に [オフタイマー] を押す**

電源が切れるまでの残り時間が表示されます。



❖ 残り時間は、秒を切り捨てた分単位で表示されます。

オフタイマー時間を延長する

1 **残り時間の表示中に [オフタイマー] を押す**

[オフタイマー] を押すたびに 30 分刻みで時間が延長されます。

準備
テレビを見る
外部機器を使う
アクトビラでホームページを見る
もっと使いこなす
トラブル時の対処
付録

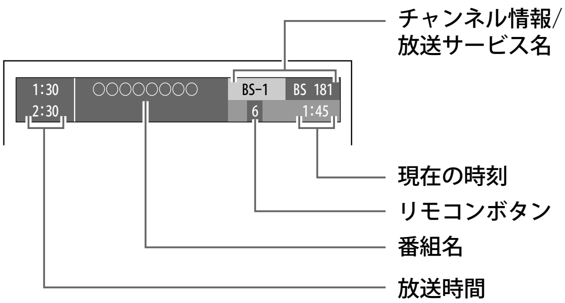
放送や入力の情報を見る 〈画面表示〉

[画面表示]を押すと、そのとき選んでいた放送や入力についての情報が表示されます。

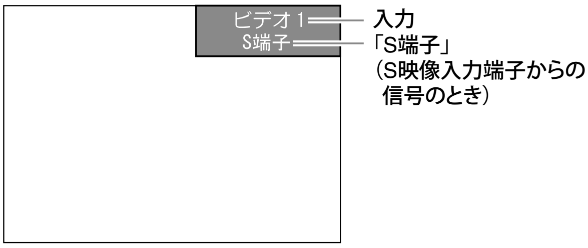
数秒経過すると、チャンネル名 / 情報や入力以外の情報が消えます。
表示をすべて消すには、もう一度[画面表示]を押してください。

表示の内容は、放送や入力によって次のようになります。

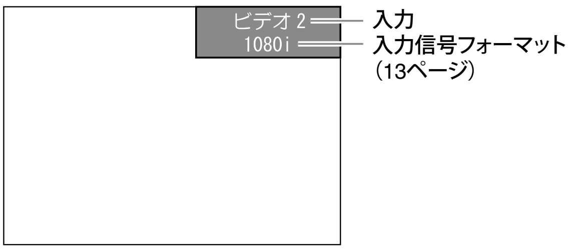
■ デジタル放送のとき



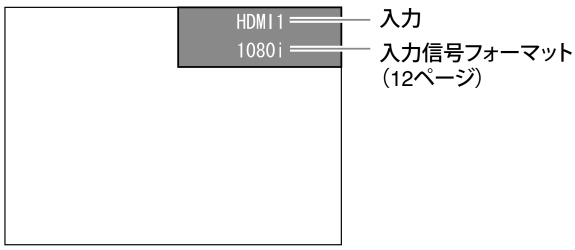
■ ビデオ 1 のとき



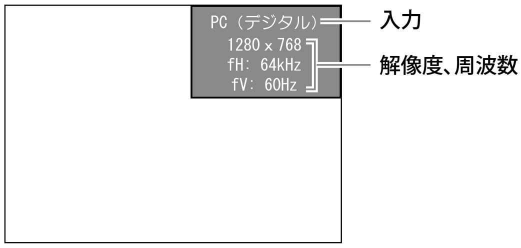
■ ビデオ 2 のとき



■ HDMI1/2/3 のとき



■ PC のとき



映像・音声・省エネ設定〈設定〉

画質や音質、省エネルギーの設定は「設定メニュー」で行います。

設定メニューの基本操作

設定◯を押し、設定メニューを表示します。終了を押すと、メニューを終了します。

設定メニュー

1 ▼▲で[映像] [音声] [省エネ]を選択し、決定を押す

2 ▼▲で設定項目を選択する

設定値を選ぶ項目で決定を押すと、選択メニューが表示されます。

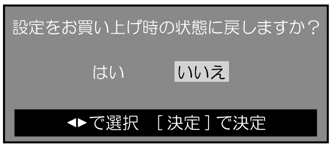
◀▶で設定値を選び、決定を押して決定します。

数値を設定する項目で決定を押すと、調整メニューが表示されます。

◀▶で調整し、決定または戻るを押して決定します。

［初期設定に戻す］で決定を押すと、そのとき表示されているメニューの設定内容をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

❶ 決定を押す



❷ 実行確認画面で「はい」を選び、決定を押す

［詳細設定］で決定を押すと、詳細設定メニューが表示されます。

各項目の設定が終わったら、「戻る」を選んで決定を押すか、戻るを押して元のメニューに戻ります。

映像・音声・省エネ設定（つづき）

映像設定

［映像］メニューでは、映像に関する設定を行います。

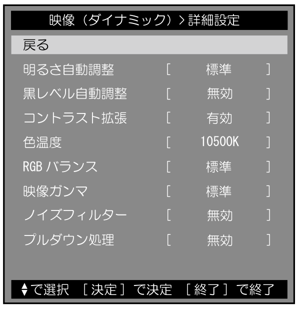
お買い上げ時は、それぞれの映像モードに合わせた画質に設定されていますので、表示する映像に適用する［映像モード］を選択してください。（各モードの設定状態については、下表をご覧ください）

また、各モードの設定状態を変更することもできます。
モードの設定状態を変更するときは、はじめに［映像モード］でモードを選び、設定を変更してください。

❖ 入力がデジタル放送、ビデオ、HDMI の場合、各モード（「標準」「シネマ」「ダイナミック」）の設定状態は、すべての入力で共通となります。

設定項目	設定値	説明
映像モード	入力がデジタル放送、ビデオ、HDMI のとき	
	標準	標準的な画質で表示されるように設定されています。
	シネマ	映画などのフィルム映像に適した、ソフトな表示に設定されています。
	ダイナミック	動きの激しい映像（動画）に適した、メリハリのあるくっきりとした表示に設定されています。 なお、映像がすだれ状に見えたり動きがぎこちなく感じる場合、「ダイナミック」にすることで状態が改善されることがあります。
	お好み	入力ごとに専用の設定ができます。ただし、地上 D、BS、CS は共通の設定となります。
	入力が PC のとき	
	ピクチャー	写真やイラストなどの画像表示に適しています。
	ムービー	動画の再生に適しています。
	テキスト	文書作成や表計算などの文字表示に適しています。
	お好み	お好みの設定にすることができます。
明るさ	0 ～ 100	バックライトの明るさを調整します。値が高いほど明るく、低いほど暗くなります。
黒レベル	0 ～ 100	映像の黒色の状態を調整します。値が高いほど黒が浮き、低いほど黒の沈んだ映像になります。
コントラスト	0 ～ 100	明暗を調整します。値が高いほど明暗がはっきりし、低いほど明暗の差が少なくなります。
色の濃さ	－ 50 ～＋ 50	色の濃さを調整します。値が高いほど色が濃くなり、低いほど色が淡くなります。
色あい	－ 50 ～＋ 50	色相を調整します。「＋」方向では緑がかった映像になり、「－」方向では紫がかった映像になります。
シャープネス	－ 5 ～＋ 5	輪郭を調整します。値が高いほど輪郭がはっきりし、低いほど輪郭がぼやけます。
詳細設定		詳細設定メニュー（次ページ）を表示します。
初期設定に戻す		そのとき選んでいる映像モードの内容をお買い上げ時の状態に戻します。

詳細設定メニュー



設定項目	設定値	説明
明るさ自動調整	強 標準 無効	室内の照明状況など周囲の明るさによって表示画面がまぶしく見えるときに、バックライトを制御してまぶしさを軽減します。
黒レベル自動調整	強 弱 無効	室内の照明状況など周囲の明るさによって映像の暗い部分がつぶれて見えるときに、黒色のつぶれを軽減します。
コントラスト拡張	有効 無効	入力された信号に応じて、自動的にコントラストと明るさの調整を行います。 暗いシーンでも、黒浮きを抑えた明暗のはっきりした映像が得られます。
色温度	12000K、10500K、9300K、8000K、6500K、5000K、4000K	映像の白色温度を調整します。設定値が高いほど青みがかった白になり、低いほど赤みがかった白になります。
RGB バランス	R/G/B: －３～＋３	赤、緑、青をそれぞれ調整し、好みの色調にします。
映像ガンマ	明るめ 標準 暗め	ガンマ補正の効かせかたを選びます。 「明るめ」にすると、画面全体が明るく（白っぽく）なります。 「標準」は標準的なガンマ補正（γ =2.2）を行います。 「暗め」にすると、画面全体が暗くなります。
ノイズフィルター※1	強 弱 無効	細かいノイズや MPEG 圧縮時のノイズを軽減します。 ただし、設定によっては、画面が見づらくなる場合があります。
プルダウン処理※1	2-3 2-3/2-2 無効	I/P（インターレース - プログレッシブ）変換の処理方法を設定します。 「2-3」はフィルム映像を画面に映すときに設定します。 「2-3/2-2」は CG やアニメーションを画面に映すときに設定します。

※1 入力が PC の場合は選べません。

注意

- **［黒レベル］、［コントラスト］、［色の濃さ］、［色あい］の調整で、設定値を上げすぎたり下げすぎたりすると、画面が見づらくなる場合があります。**

映像・音声・省エネ設定（つづき）

音声設定

［音声］メニューでは、音声に関する設定を行います。

スピーカーとヘッドホン、個別に音声の設定ができます。
ヘッドホンが接続されていないときはスピーカーからの音声を、
ヘッドホンが接続されているときはヘッドホンからの音声を
設定することができます。

❖ 設定状態は、すべての入力で共通となります。

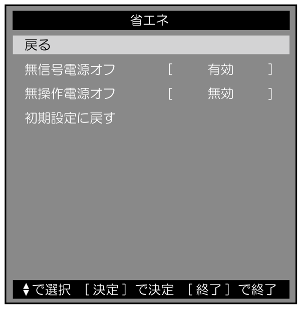
設定項目	設定値	説明
バランス	－6～＋6	左右の音声出力の音量バランスを調整します。－方向で左側、＋方向で右側の音量が大きくなります。
高音	－6～＋6	設定値が高いほど高音が強調され、低いほど弱くなります。
低音	－6～＋6	設定値が高いほど低音が強調され、低いほど弱くなります。
初期設定に戻す		音声の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

注意

- **［高音］、［低音］の設定によっては音がひずむ場合があります。これらの設定で音がひずむ場合、音量を下げることで音のひずみが改善されることがあります。**

省エネ設定

［省エネ］メニューでは、省エネルギーに関する設定を行います。
（電源の切り忘れによる電力消費を抑えられます）



設定項目	設定値	説明
無信号電源オフ	有効 無効	入力がビデオ、HDMI、PC のときに、ビデオ信号の入力がない状態が 15 分続き、その間にリモコンや本体でのボタン操作がなかった場合に、自動的に電源を切ります。
無操作電源オフ	有効 無効	リモコンや本体でのボタン操作がない状態が 3 時間続くと、自動的に電源を切ります。

トラブル時の対処

修理をご依頼になる前に、もう一度次の項目を確認してください。それでも症状が改善しない場合は、お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご連絡ください。

全般

症状	原因や対処	参照先
本体の電源ボタンで電源が入らない	□ 電源コードがコンセントや電源コネクタから外れていませんか？ ➔ 電源コードの接続を確認してください。	18 ページ
リモコンの電源ボタンで電源が入らない / リモコン操作ができない	□ リモコン受光部に向けていますか？ ➔ 本体にあるリモコン受光部に向けて電源ボタンを押してください。	2 ページ
	□ リモコン受光部との間に障害物がありませんか？	−
	□ 乾電池が消耗していませんか？ 乾電池を入れる方向が間違っていませんか？ ➔ 乾電池を確認してください。	2 ページ
	□ リモコンの DVD/TV 操作切換スイッチの位置が操作したい機器に合っていますか？ ➔ スイッチの位置を確認してください。 • 本機を操作したいときは、スイッチが「TV」の位置にありますか？ • 他社製 DVD レコーダーを操作したいときは、スイッチが「DVD」の位置にありますか？	66 ページ
電源が入らない / 画面が表示されず音が出ない（本体の電源ランプが赤く点灯している場合）	□ 本体のシステム異常が検出されています。 ➔ 電源コードをいったんコンセントから抜き、再度接続してください。	−
映像が乱れる	□ 近くで携帯電話を使っていませんか？ ➔ 携帯電話の使用場所を変えてください。	−
	□ 映像信号ケーブルが断線しかかっていませんか？ ➔ ケーブルの状態を確認してください。ケーブルを触ったり振ったりしたときに映像が乱れる場合は、ケーブルが断線していることがあります。	−
画面にはん点が出る	□ 自動車やオートバイ、電車、高圧線、ドライヤー、蛍光灯などが発生する電磁波の影響が考えられます。 ➔ 設置場所を変えてみてください。	−
画面にしま模様が出たり、色が消えたりする	□ 他のテレビやコンピュータ、AV 機器、電子レンジなどの電子機器が発生する電磁波の影響が考えられます。 ➔ 本機や電子機器の設置場所を変えてみてください。	−
チャンネルや入力を切り換えたときに一瞬画面が黒くなる	□ チャンネルや入力を切り換えるときに発生する画像の乱れを見えにくくするために、一瞬画面を暗くしています。故障ではありません。	−

症状	原因や対処	参照先
暗い部屋で視聴しているとき画面が明るすぎる	□［明るさ自動調整］の設定が「無効」になっていませんか？ ➔ 設定を「標準」または「強」に変更してみてください。 「無効」になっていない場合は、［コントラスト］の設定を下げてお好みの明るさに調整してください。	90、91 ページ
音が出ない	□ ヘッドホンがヘッドホン端子に接続されていませんか？	－
	□ 消音にしていませんか？ 音量が最小になっていませんか？ ➔ 音量を確認してください。	20 ページ
二か国語放送や音声多重放送を視聴しているときに、本体を操作すると音声切換の設定が元に戻る	□ 放送局側の送信形態によって、本体の操作で設定が元に戻る場合があります。 ➔ 音声切換の設定が元に戻ってしまった場合は、再度音声を切り換えてください。	47 ページ
接続した機器の映像や音声が出ない	□ 機器は正しく接続されていますか？	11 ページ
	□ ビデオ 1 では、S 映像入力端子と映像入力端子の両方にケーブルを接続すると、S 映像入力端子からの映像が優先して表示されます。	－
	□ 接続した機器に対応する入力を選んでいますか？ ➔ 入力を確認してください。	62 ページ
	□ 接続した機器は正常に動作していますか？ ➔ 機器の動作を確認してください。	－
AV 機器の早送りや早戻し、静止などの特殊再生で映像が乱れる	□ ハイビジョン対応以外のビデオや、TBC（タイムベースコレクタ）が装備されていない機器を接続したときに、症状が発生することがあります。	－
入力を切り換えると音量が変わる（入力によって音量に差がある）	□ テレビ放送や接続した外部機器によっては、平均的な音声レベルが異なるために、音量が変化することがあります。 ➔ 音声レベルの設定を確認してください。	62、63、65 ページ
メニューで項目が選べない	□ 入力によっては、操作できない設定項目は選べないようになっています。	34 ページ
画面モードが切り換えられない	□ 次の場合は画面モードが固定され、切り換えることはできません。 • ビデオ 2 に 1125i（1080i）、750p（720p）の信号が入力されたとき • HDMI1/2/3 に 1125i（1080i）、750p（720p）、1125p（1080p）の信号が入力されたとき	82 ページ

トラブル時の対処(つづき)

症状	原因や対処	参照先
光デジタル音声出力端子に接続したオーディオ機器から音声が出ない	□ 光デジタルケーブルは正しく接続されていますか？	17 ページ
	□ 光デジタルケーブルを折り曲げていませんか？　光デジタルケーブルを折り曲げると破損することがあります。	ー
	□ 入力がビデオ、HDMI、PC の場合は、光デジタル音声出力端子から音声は出ません。	ー
	□［デジタル音声出力］の設定は、接続した機器に合わせて正しく設定されていますか？ ➔「番組ナビ」メニュー［初期設定］-［接続機器関連設定］-［デジタル音声出力］を確認してください。	35 ページ
光デジタル音声の二重音声が切り換わらない	□［デジタル音声出力］設定が「AAC」になっていませんか？ ➔「番組ナビ」メニュー［初期設定］-［接続機器関連設定］-［デジタル音声出力］を確認してください。	35 ページ
ラインアウト端子に接続したオーディオ機器から音声が出ない	□ 音声ケーブルは正しく接続されていますか？	17 ページ
突然電源が切れた	□ オフタイマー機能を使っていませんか？ ➔ オフタイマーの設定を確認してください。	87 ページ
	□ 設定メニューで［省エネ］設定をしていませんか？ ➔ 設定を確認してください。	93 ページ
テレビ上部や液晶パネル面が熱くなる	□ テレビ上部や液晶パネル面が熱くなりますが、故障ではありません。また、性能、品質には問題ありません。	ー
画面が変わっても、変わる前に表示されていた画像の残像が表示される	□ 静止画状態が続くと、画面を切り換えたときに静止していた画像が残像となって見えることがありますが、しばらくすると消えていきます。これは、液晶パネルの特性であり、故障ではありません。	ー

デジタル放送

■ デジタル放送全般

症状	原因や対処	参照先
映像や番組表が表示されるまでに時間がかかる	□ 多少の時間がかかることがあります。特に、電源コードを抜き差ししたときは、しばらく時間がかかります。	―
デジタル放送が映らない / 映りが悪い	□ 電波の種類（地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタル放送）に適合したアンテナを使用していますか？	―
	□ BS デジタル、110 度 CS デジタル放送の場合、地域に適したサイズ（口径）のアンテナを使用していますか？ ➔ アンテナを確認してください。	―
	□ アンテナをさえぎる障害物はありませんか？	―
	□ BS デジタル、110 度 CS デジタル放送のアンテナを直接接続している場合、「番組ナビ」メニュー［初期設定］-［受信設定］-［アンテナ電源］が「オフ」になっていませんか？	31 ページ
	□ アンテナ線は外れていませんか？ ➔ アンテナケーブルを確認してください。	6 ページ
	□ アンテナの方向は正しいですか？ ➔ アンテナレベルを確認し、レベルの数値が小さい場合は、アンテナの方向調整をしてください。	31 ページ
	□ アンテナ線がショートしていませんか？ ➔「番組ナビ」メニュー［初期設定］-［設置設定］-［受信設定］を確認してください。	30 ページ
	□ B-CAS カードは正しく装着されていますか？	2 ページ
	□ 降雨対応放送になっていませんか？ 雨の影響により、衛星からの電波が弱くなると、本機は電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換えます。降雨対応放送は、画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質や音質に戻ります。	―
チャンネルが変えられない	□ 録画予約の実行中ではありませんか？	61 ページ
Ir システムを使ってデジタル放送の録画予約ができない	□ Ir システムケーブルは正しく接続・設置されていますか？	14 ページ
	□ Ir システム設定が正しく行われていますか？	34 ページ
Ir システム設定が変更できない	□ 予約されている番組をすべて削除して再設定してください。Ir システムを使用する録画予約が設定されていると、メーカー、リモコン種別などは変更できません。	―

トラブル時の対処(つづき)

症状	原因や対処	参照先
「見るだけ」予約が実行されない	□ スタンバイ状態になっていませんか？ ➔ 電源の状態を確認してください。電源が切られていると、「見るだけ」予約は実行されません。	44 ページ
ペイ・パー・ビュー番組が視聴できない	□ B-CAS カードは正しく挿入されていますか？	2 ページ
	□ ペイ・パー・ビュー番組を視聴するための手続きはされていますか？	ー
	□ 電話回線の接続や設定は正しいですか？	8、32 ページ
特定のチャンネルの映像や音声が出ない	□ アンテナとの接続にデジタル放送に非対応のケーブルなどを使用していませんか？ ➔ アンテナケーブルを確認してください。	6 ページ
	□ 携帯電話など、本機の受信周波数帯域に相当する周波数を使用している機器の影響によって、映像や音声が出なくなる場合があります。デジタル放送に対応したケーブルなどを使用してください。	ー
引越しをしたら、データ放送や字幕が表示されなくなった	□ データ放送用の地域設定は正しいですか？ ➔「番組ナビ」メニュー［初期設定］-［設置設定］-［地域設定］を確認してください。	28 ページ
数字ボタンに設定してあった放送局が別の放送局に変わった / 以前選局できた放送がなくなっている	□ 放送変更があった場合、放送の運用規定などに基づいて、設定内容が変更される場合があります。 ➔「放送メール」を確認してください。	52 ページ

■ 地上デジタル放送の受信など

症状	原因や対処	参照先
地上デジタル放送がまったく受信できない / 地上デジタルの番組表などが表示されない / 本体の□放送切換を押しても地上デジタル放送に変わらない	□ 放送は行われていますか？ ➔ 地上デジタル放送が行われているか、最寄りの放送局にお問い合わせください。	ー
	□ 地上デジタル放送用アンテナは正しく接続されていますか？	6 ページ
	□ アンテナの方向は正しいですか？ ➔ アンテナレベルを確認し、レベルの数値が小さい場合は、アンテナの方向調整をしてください。	31 ページ
	□ B-CAS カードは正しく挿入されていますか？	2 ページ
	□ 初期スキャンを行いましたか？	25 ページ
	□ 共同アンテナをご使用の場合、共同アンテナは地上デジタル放送に対応（パススルー方式）になっていますか？ ➔ ケーブルテレビの場合はご契約のケーブルテレビ会社に、その他の場合は共同アンテナの管理者にお問い合わせください。	ー
一部の地上デジタル放送が受信できない	□ 放送は行われていますか？ ➔ 地上デジタル放送が行われているか、最寄りの放送局にお問い合わせください。	ー

症状	原因や対処	参照先
引越しをしたら、地上デジタル放送が受信できなくなった	□ 県外に引越した場合は初期スキャン、県内で引越しした場合は再スキャンを行ってください ➔ 上記の「地上デジタル放送がまったく受信できない」も確認してください。	25、26 ページ
複数台のテレビで、数字ボタンのチャンネルまたは枝番が異なっている	□ 初期スキャンなどを行った時間が異なる場合は、同じにならない場合があります。本機を複数台お使いの場合は、初期スキャンを同時に行ってください。	25 ページ
	□ 異なるメーカーのテレビでは、同じにならない場合があります。	–
数字ボタンに設定してあった放送局が、別の放送局に変わった / 以前選局できた放送がなくなっている	□ 放送変更があった場合、放送の運用規定などに基づいて、設定内容が変更される場合があります。 ➔「放送メール」を確認してください。	52 ページ
受信できなくなった放送局が番組表表示などから消えない	□ 初期スキャンを行ってください。	25 ページ

アクトビラ

症状	原因や対処	参照先
アクトビラに接続できない / 操作できない	□ ネットワークへの接続・設定が正しく行われていますか？	10、68 ページ

HDMI 入力

症状	原因や対処	参照先
次のような画面が表示される		
	□ 入力されている信号が本機の仕様に対応していないことを示す表示です。 HDMI 対応機器の取扱説明書を参照し、映像信号のフォーマットを確認してください。	–
	□ 入力されている信号が本機の仕様に対応していないことを示す表示です。 HDMI 対応機器の取扱説明書を参照し、音声信号のフォーマットを確認してください。	–
音が出ない	□ 入力されている音声信号は本機の仕様に対応していますか？	12 ページ

トラブル時の対処(つづき)

PC 入力

症状	原因や対処	参照先
次のような画面が表示される		
PC 信号エラー fH:0.0kHz fV:0.0Hz	□ コンピュータの電源が入っているか確認してください。	ー
PC(デジタル) 信号エラー fH:xx.xkHz fV:xx.xHz	□ 入力されている信号が周波数仕様の範囲外であることを示す表示です。 グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳しくはグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。	ー
画面がずれている	□［自動画面調整］で調整してください。 それでも症状が解消されない場合は、［画面位置］で調整してください。	64、65 ページ
画面に縦線が出ている / 画面の一部がちらついている	□［自動画面調整］で調整してください。 それでも症状が解消されない場合は、［クロック］で調整してください。	64、65 ページ
画面全体がちらつく、にじんでいるように見える	□［自動画面調整］で調整してください。 それでも症状が解消されない場合は、［フェーズ］で調整してください。	64、65 ページ

エラーメッセージ一覧

主なエラーメッセージを説明します。

全般

メッセージ	内容
「受信できません。アンテナの設定や調整を確認してください。(E202)」	□ アンテナの設定や調整が正しくできていない、天候の影響などで受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選んでいるため受信できません。
「現在、受信できません。(0020)」	□ 受信するための送信データが異常の場合に表示されます。
「B-CAS カードを正しく挿入してください。」	□ B-CAS カードの挿入方向違い、または使用できないカードが挿入されています。
「視聴できません。視聴するには、決定ボタンを押してください。」	□ ペイ・パー・ビュー番組の購入をしなかった場合などに表示されます。(決定)で再度選局操作ができます。
「購入できません。電話の接続・設定を確認のうえ、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。」	□ 購入記録が送信できず、B-CAS カードの記録容量を超えている場合などに表示されます。
「降雨対応放送に切り替わりました。」	□ 雨の影響により、衛星電波が弱くなったため、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えました。画質、音質が少し悪くなり、番組情報が表示できないことがあります。
「緊急放送が開始されました。決定で選局、戻るで本メッセージを非表示にします。」	□ 緊急警報放送が始まっています。必ず確認してください。
「録画中のため切り換えできません。録画を中止するには「便利機能」ボタンを押してください。」	□ ビデオや HDMI などの外部入力から、録画中のデジタル放送以外のデジタル放送には切り換えられません。また、録画中のデジタル放送から外部入力には切り換えられません。切り換えるときは、録画を中止してください。

エラーメッセージ一覧(つづき)

ネットワーク設定時

［ネットワーク設定］の［接続テスト］（69 ページ）などで表示されます。

メッセージ	内容
「接続できませんでした。 LAN ケーブルの接続をご確認ください。（C200）」	□ ハブをお使いの場合は、ハブの Link ランプが点灯しているか確認してください。消灯している場合は、ケーブルが正しく接続されていない、またはケーブル間違いなど（下記）を確認してください。
「IP アドレスが設定されていません。本機の「ネットワーク設定」をご確認ください。（C201）」	□ ネットワーク設定で IP アドレスが「---. ---. ---. ---」になっていませんか？ IP アドレス、ゲートウェイアドレス、サブネットマスクを設定してください。（必要に応じて、アドレスの自動取得を選択してください）
「IP アドレスが取得できませんでした。 ルーターとの接続や設定をご確認ください。（C203）」	□ ハブをお使いの場合は、ハブ〜ルーター間の接続を確認してください。ルーターにつなぐ側のハブのポートは UPLINK につないでください。 □ ハブの Link ランプが消灯している場合はケーブルが正しく接続されていない、またはケーブル間違いなど（下記）を確認してください。 □ 上記で問題がなければルーターなどの DHCP が動作していないことが考えられます。ルーターの設定や動作を確認してください。いったん、ルーターのリセットを行ってください。
「IP アドレスの重複を検出しました。 設定をご確認ください。（C204）」	□ 本機と同じ IP アドレスが他の機器に使われている場合に表示されます。他の PC や、本機、ルーターの IP アドレスを確認してください。
「接続テストが実行できませんでした。（C205）」	□ 一度、本機の電源プラグをコンセントから抜いて入れなおして、再度実行してください。それでも症状が改善しない場合、お買い上げの販売店にご相談ください。
「アドレスが正しく設定されませんでした。（C206）」	
「接続テストに失敗しました。 ゲートウェイが応答しません。 ルーターとの接続や設定をご確認ください。（C207）」	□ ハブ〜ルーター間の接続を確認してください。本機とルーター間にハブを使用する場合、ルーターにつなぐ側のハブのポートは UPLINK につないでください。 □ ハブの UPLINK ポートの Link ランプが点灯しているか確認し、消灯している場合はケーブルが正しく接続されていない、またはケーブル間違いなど（下記）を確認してください。 □ ネットワーク設定での IP アドレス、ゲートウェイアドレス、サブネットマスクを確認してください。 □ 無線 LAN をご使用の場合、通信設定を確認してください。

❖ ケーブル間違いなどの具体例：LAN コネクタの接触不良、LAN ケーブル以外のケーブルの使用、クロスケーブルとストレートケーブルの間違い。

通信時

アクトビラ接続やデータ放送からお好みページを使った場合などに表示されます。

メッセージ	内容
「無効な URL が指定されました。(B015)」	□ アドレス(URL)に禁止された文字が使用されています。
「サーバーが見つかりません。(B019)」	□ アドレス(URL)が間違っていませんか。 □ ブラウザ設定やブロードバンドルーターなどの設定は正しいですか。
「サーバーへの接続に失敗しました。(B020)」	□ サーバーが混みあっているため接続ができないか、サーバー側のサービスが停止されている可能性があります。しばらく待ってから再度実行してください。まったくホームページに接続できない場合は、ブラウザ設定やブロードバンドルーターなどの設定を確認してください。
「サーバーとの通信に失敗しました。(B021)」	□ 通信がタイムアウトしました。サーバーへのアクセスが集中していると思われます。しばらく待って再度実行してください。
「日付情報がありません。リモコンで今日の日付を設定してください。この場合、メッセージに従って、正しい日付を入力してください。(B022)」	□ 衛星アンテナを接続していない場合などに、表示されることがあります。
「認証に失敗しました。(B401)」	□ 回線業者やプロバイダーからの ID やパスワードを、ブロードバンドルーターやモデムの取扱説明書に従って、正しく設定してください。
「指定されたページが見つかりませんでした。(B404)」	□ アドレス(URL)が間違っていませんか。
「接続サイト先の証明書の検証で問題がありました。接続先の安全性が確認できませんが接続しますか? サイト名:○○○○○」	□ 接続先サイトが安全かどうかの確認ができませんでした。このまま接続することもできますが、接続しないことをおすすめします。しばらく待って再度実行すると、接続先の安全性が確認できる場合もあります。

アイコン一覧

番組内容画面のアイコン

アイコン	説明	アイコン	説明
テレビ	テレビ放送の番組	ラジオ	ラジオ放送の番組
データ	データ放送の番組	臨時	臨時ニュースなど予定外の番組
+d テレビ	番組内容に関連したデータ放送を行っている番組	d テレビ	番組とは別のデータ放送を行っている番組
+d ラジオ	ラジオ放送番組で、番組内容に関連したデータ放送を行っている番組	d ラジオ	ラジオ放送で、番組とは別のデータ放送を行っている番組
●●● 信号	映像や音声、データのいずれかを信号切り換えができる番組	16:9 1125i	番組の映像信号情報 上：画面の縦横比（16:9、4:3） 下：信号方式 （525i［480i］、525p［480p］、1125i［1080i］、750p［720p］）
モノラル	モノラル音声の番組	主+副	二重音声信号で、「主＋副」音声の番組
ステレオ	ステレオ音声の番組	サラウンド	5.1ch などのサラウンド放送の番組
デジタル XCOPY	DVD レコーダーなどのデジタル録画機器でコピー禁止の番組（録画できません）	有料	有料のデータを含む番組 （ペイ・パー・ビュー番組）
アナログ XCOPY	アナログコピーガードがかかっている番組（アナログで録画できません）	マルチ ビュー	マルチビュー放送の番組
デジタル 1COPY	DVD レコーダーなどのデジタル録画機器で 1 回だけコピー可能な番組 （録画後ダビングできません）	字幕	番組の中に字幕の情報が含まれている番組
アナログ X出力	アナログ出力していない番組	20 才〜	視聴年齢制限がある番組 （表示される年齢は 4 〜 20 才まで）

予約一覧画面のアイコン

アイコン	説明	アイコン	説明
見るだけ	見るだけ予約した番組	変更	放送開始時間を変更して予約が実行された番組
録画 Ir	Ir システムで録画予約した番組	検索中	時間変更追従を実行中（時間確認中）
録画	Ir システムを使わないで録画予約した番組	済 取消	お客様の操作や録画機器の状態により録画が取り消されたときに表示
月~土 月~金 毎日 毎週	毎週、毎日、曜日指定での予約	済 警告	予約実行の途中中断、時間の変更、指定の信号で録画できない、録画機器が正しく動作していない場合などに表示
重複	予約時間が重なっていた場合の優先順位が低い予約	警告	この予約は実行できません（受信チャンネルが変更になったときなど）
済	予約時間が終了した予約	PPV	有料のデータを含む番組（ペイ・パー・ビュー番組）
実行中	現在、実行中の予約	リレー	イベントリレーが実行されたリレー先の予約（59 ページ）

番組ジャンルのアイコン

アイコン	説明	アイコン	説明
	映画		ニュース・報道
	ドラマ		アニメ・漫画
	スポーツ		ドキュメンタリー・教養
	音楽		演劇・公演
	バラエティ		趣味・教育
	情報・ワイドショー		福祉

その他の画面のアイコン

アイコン	説明	アイコン	説明
4 才~	視聴可能年齢の設定より高い年齢制限の番組を選んだ場合、暗証番号入力画面に設定している視聴可能年齢を表示		メール一覧画面で、お客様が既に読まれたメール（既読メール）
	メール一覧画面で、お客様がまだ読まれていないメール（未読メール）	予	番組表で予約された番組

地上デジタル放送の放送一覧

地上デジタル放送のチャンネル設定を行うと、放送の運用規格に基いて、地上デジタル放送の受信可能なチャンネルをリモコンの数字ボタン（1～12）に自動設定します。この表では、その際に地域内のどの放送局がそのボタンに設定されるかを記載しています。

お住まいの地域	リモコンボタン※1	旭川	リモコンボタン※1	釧路	リモコンボタン※1	北見	リモコンボタン※1	帯広	リモコンボタン※1	札幌	リモコンボタン※1	函館	リモコンボタン※1	室蘭
放送局名	1	HBC 旭川	1	HBC 釧路	1	HBC 北見	1	HBC 帯広	1	HBC 札幌	1	HBC 函館	1	HBC 室蘭
	2	NHK 教育・旭川	2	NHK 教育・釧路	2	NHK 教育・北見	2	NHK 教育・帯広	2	NHK 教育・札幌	2	NHK 教育・函館	2	NHK 教育・室蘭
	3	NHK 総合・旭川	3	NHK 総合・釧路	3	NHK 総合・北見	3	NHK 総合・帯広	3	NHK 総合・札幌	3	NHK 総合・函館	3	NHK 総合・室蘭
	5	STV 旭川	5	STV 釧路	5	STV 北見	5	STV 帯広	5	STV 札幌	5	STV 函館	5	STV 室蘭
	6	HTB 旭川	6	HTB 釧路	6	HTB 北見	6	HTB 帯広	6	HTB 札幌	6	HTB 函館	6	HTB 室蘭
	7	TVH 旭川	7	TVH 釧路	7	TVH 北見	7	TVH 帯広	7	TVH 札幌	7	TVH 函館	7	TVH 室蘭
	8	UHB 旭川	8	UHB 釧路	8	UHB 北見	8	UHB 帯広	8	UHB 札幌	8	UHB 函館	8	UHB 室蘭

お住まいの地域	リモコンボタン※1	青森	リモコンボタン※1	岩手	リモコンボタン※1	宮城	リモコンボタン※1	秋田	リモコンボタン※1	山形	リモコンボタン※1	福島	リモコンボタン※1	茨城	リモコンボタン※1	栃木
放送局名	1	RAB 青森放送	1	NHK 総合・盛岡※2	1	TBC テレビ	1	NHK 総合・秋田	1	NHK 総合・山形	1	NHK 総合・福島※2	1	NHK 総合・水戸※2	1	NHK 総合・東京
	2	NHK 教育・青森	2	NHK 教育・盛岡※2	2	NHK 教育・仙台	2	NHK 教育・秋田	2	NHK 教育・山形	2	NHK 教育・福島※2	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・東京
	3	NHK 総合・青森	4	テレビ岩手	3	NHK 総合・仙台	4	ABS 秋田放送	4	YBC 山形放送	4	福島中央テレビ	4	日本テレビ	3	とちぎテレビ
	5	青森朝日放送	5	岩手朝日テレビ	4	ミヤギテレビ	5	AAB 秋田朝日放送	5	YTS 山形テレビ	5	KFB 福島放送	5	テレビ朝日	4	日本テレビ
	6	ATV 青森テレビ	6	IBC テレビ	5	KHB 東日本放送	8	AKT 秋田テレビ	6	テレビュー山形	6	テレビュー福島	6	TBS	5	テレビ朝日
			8	めんこいてれび	8	仙台放送			8	さくらんぼテレビ	8	福島テレビ	7	テレビ東京	6	TBS
													8	フジテレビジョン	7	テレビ東京
													12	放送大学	8	フジテレビジョン
															12	放送大学

お住まいの地域	リモコンボタン※1	群馬	リモコンボタン※1	埼玉	リモコンボタン※1	千葉	リモコンボタン※1	東京	リモコンボタン※1	神奈川	リモコンボタン※1	新潟	リモコンボタン※1	山梨	リモコンボタン※1	長野
放送局名	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・新潟	1	NHK 総合・甲府※2	1	NHK 総合・長野
	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・新潟	2	NHK 教育・甲府※2	2	NHK 教育・長野
	3	群馬テレビ	3	テレビ埼玉	3	ちばテレビ	4	日本テレビ	3	tvk	4	TeNY テレビ新潟	4	YBS 山梨放送	4	テレビ信州
	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	5	テレビ朝日	4	日本テレビ	5	新潟テレビ 21	6	UTY	5	ABN 長野朝日放送
	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	6	TBS	5	テレビ朝日	6	BSN			6	SBC 信越放送
	6	TBS	6	TBS	6	TBS	7	テレビ東京	6	TBS	8	NST			8	NBS 長野放送
	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	8	フジテレビジョン	7	テレビ東京						
	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	9	東京 MX テレビ	8	フジテレビジョン						
	12	放送大学	12	放送大学	12	放送大学	12	放送大学	12	放送大学						

お住まいの地域	リモコンボタン※1	富山	リモコンボタン※1	石川	リモコンボタン※1	福井	リモコンボタン※1	静岡	リモコンボタン※1	愛知	リモコンボタン※1	三重	リモコンボタン※1	岐阜	リモコンボタン※1	滋賀
放送局名	1	KNB 北日本放送	1	NHK 総合・金沢※2	1	NHK 総合・福井※2	1	NHK 総合・静岡	1	東海テレビ	1	東海テレビ	1	東海テレビ	1	NHK 総合・大津※2
	2	NHK 教育・富山※2	2	NHK 教育・金沢※2	2	NHK 教育・福井※2	2	NHK 教育・静岡	2	NHK 教育・名古屋	2	NHK 教育・名古屋	2	NHK 教育・名古屋	2	NHK 教育・大阪
	3	NHK 総合・富山※2	4	テレビ金沢	7	FBC テレビ	4	静岡第一テレビ	3	NHK 総合・名古屋	3	NHK 総合・津※2	3	NHK 総合・岐阜※2	3	BBC びわ湖放送
	6	チューリップテレビ	5	北陸朝日放送	8	福井テレビ	5	静岡朝日テレビ	4	中京テレビ	4	中京テレビ	4	中京テレビ	4	MBS 毎日放送
	8	BBT 富山テレビ	6	MRO			6	SBS	5	CBC	5	CBC	5	CBC	6	ABC テレビ
			8	石川テレビ			8	テレビ静岡	6	メ～テレ	6	メ～テレ	6	メ～テレ	8	関西テレビ
									10	テレビ愛知	7	三重テレビ	8	岐阜テレビ	10	よみうりテレビ

お住まいの地域	リモコンボタン※1	京都	リモコンボタン※1	大阪	リモコンボタン※1	兵庫	リモコンボタン※1	奈良	リモコンボタン※1	和歌山	リモコンボタン※1	鳥取	リモコンボタン※1	島根	リモコンボタン※1	岡山
放送局名	1	NHK 総合・京都※2	1	NHK 総合・大阪	1	NHK 総合・神戸※2	1	NHK 総合・奈良※2	1	NHK 総合・和歌山※2	1	日本海テレビ	1	日本海テレビ	1	NHK 総合・岡山※2
	2	NHK 教育・大阪	2	NHK 教育・大阪	2	NHK 教育・大阪	2	NHK 教育・大阪	2	NHK 教育・大阪	2	NHK 教育・鳥取※2	2	NHK 教育・松江※2	2	NHK 教育・岡山※2
	4	MBS 毎日放送	4	MBS 毎日放送	3	サンテレビ	4	MBS 毎日放送	4	MBS 毎日放送	3	NHK 総合・鳥取※2	3	NHK 総合・松江※2	4	RNS 西日本テレビ
	5	KBS 京都	6	ABC テレビ	4	MBS 毎日放送	6	ABC テレビ	5	テレビ和歌山	6	BSS テレビ	6	BSS テレビ	5	KSB 瀬戸内海放送
	6	ABC テレビ	7	テレビ大阪	6	ABC テレビ	8	関西テレビ	6	ABC テレビ	8	山陰中央テレビ	8	山陰中央テレビ	6	RSK テレビ
	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ	9	奈良テレビ	8	関西テレビ					7	テレビせとうち
	10	よみうりテレビ	10	よみうりテレビ	10	よみうりテレビ	10	よみうりテレビ	10	よみうりテレビ					8	OHK テレビ

お住まいの地域	リモコンボタン※1	広島	リモコンボタン※1	山口	リモコンボタン※1	徳島	リモコンボタン※1	香川	リモコンボタン※1	愛媛	リモコンボタン※1	高知	リモコンボタン※1	福岡	リモコンボタン※1	佐賀
放送局名	1	NHK 総合・広島	1	NHK 総合・山口※2	1	四国放送	1	NHK 総合・高松※2	1	NHK 総合・松山	1	NHK 総合・高知	1	KBC 九州朝日放送	1	NHK 総合・佐賀※2
	2	NHK 教育・広島	2	NHK 教育・山口※2	2	NHK 教育・徳島※2	2	NHK 教育・高松※2	2	NHK 教育・松山	2	NHK 教育・高知	2	NHK 教育・福岡※3 NHK 教育・北九州※3	2	NHK 教育・佐賀※2
	3	RCC テレビ	4	KRY 山口放送	3	NHK 総合・徳島※2	4	RNC 西日本テレビ	4	南海放送	4	高知放送	3	NHK 総合・福岡※3 NHK 総合・北九州※3	3	STS サガテレビ
	4	広島テレビ	3	TYS テレビ山口			5	KSB 瀬戸内海放送	5	愛媛朝日	6	テレビ高知	4	RKB 毎日放送		
	5	広島ホームテレビ	5	YAB 山口朝日			6	RSK テレビ	6	あいテレビ	8	さんさんテレビ	5	FBS 福岡放送		
	8	TSS					7	テレビせとうち	8	テレビ愛媛			7	TVQ 九州放送		
							8	OHK テレビ					8	TNC テレビ西日本		

お住まいの地域	リモコンボタン※1	長崎	リモコンボタン※1	熊本	リモコンボタン※1	大分	リモコンボタン※1	宮崎	リモコンボタン※1	鹿児島	リモコンボタン※1	沖縄
放送局名	1	NHK 総合・長崎※2	1	NHK 総合・熊本※2	1	NHK 総合・大分※2	1	NHK 総合・宮崎※2	1	MBC 南日本放送	1	NHK 総合・那覇
	2	NHK 教育・長崎※2	2	NHK 教育・熊本※2	2	NHK 教育・大分※2	2	NHK 教育・宮崎※2	2	NHK 教育・鹿児島※2	2	NHK 教育・那覇
	3	NBC 長崎放送	3	RKK 熊本放送	3	OBS 大分放送	3	UMK テレビ宮崎	3	NHK 総合・鹿児島※2	3	RBC テレビ
	4	NIB 長崎国際テレビ	4	KKT くまもと県民	4	TOS テレビ大分	6	MRT 宮崎放送	4	KYT 鹿児島読売 TV	5	QAB 琉球朝日放送
	5	NCC 長崎文化放送	5	KAB 熊本朝日放送	5	OAB 大分朝日放送			5	KKB 鹿児島放送	8	沖縄テレビ（OTV）
	8	KTN テレビ長崎	8	TKU テレビ熊本					8	KTS 鹿児島テレビ		

※1 初期スキャンや再スキャンを行ったときに、その放送局がリモコンのどの数字ボタンに設定されるかを表します。
※2 初期スキャンや再スキャンの際に受信できなかった場合は、受信できた地域外の NHK 放送を数字ボタンに設定します。
（設定される放送は、地域によって決められています）
その後「※2」の放送が受信できると、新しい放送に設定を変更します。これは、放送の運用規定によるものです。
※3 初期スキャンや再スキャンの際に、入力レベルの高い方の放送をダイレクト選局ボタンに設定します。
これは、放送の運用規定によるものです。

メニュー一覧

「番組ナビ」メニュー一覧

第１階層	第２階層	第３階層	第４階層	第５階層～
番組を探す	番組表で (p.43)	番組表	番組内容	
	今放送中から (p.44)	裏番組表		
	ジャンル別に (p.45)	メインジャンル	サブジャンル	ジャンル検索結果
予約する	番組表で (p.56)	番組表	番組内容	
	ジャンル別に	メインジャンル	サブジャンル	ジャンル検索結果
	プログラム予約で (p.58)	プログラム予約		
	予約一覧 (p.60)	予約一覧	予約内容	
	録画・視聴設定 (p.59)	時間変更追従		
メール/情報	放送メール (p.52)	メール一覧		
	購入記録 (p.51)			
	購入記録送信結果 (p.51)			
	双方向通信一覧 (p.50)			
	B-CASカード (p.53)			
	ID表示 (p.53)	ソフト情報表示		
		ルート証明書表示		
	ボード (p.53)	CS1ボード		
		CS2ボード		
	お好みページ (p.49)	お好みページ一覧		
システム設定	字幕の設定 (p.47)	字幕		
		字幕言語		
		文字スーパー		
		文字スーパー言語		
	制限項目設定	視聴可能年齢 (p.36)		
		一番組限度額 (p.36)		
		ブラウザ制限 (p.70)		
		暗証番号変更 (p.37)		
		暗証番号削除 (p.37)		
	文字入力設定 (p.76)	入力方法		
		変換方式		
	選局対象 (p.38)			
	タイトル表示 (p.38)			
	機能待機 (p.31)			

第１階層 → 第２階層 → 第３階層 → 第４階層 → 第５階層～

- 初期設定
  - かんたん設置設定 (p.21)（右記画面をウィザード形式にて表示）
    - 郵便番号入力
    - 県域設定
    - 地上デジタルチャンネル設定確認
    - 地上デジタル地域設定
    - 地上デジタルチャンネル設定
    - 受信帯域選択
    - 衛星アンテナ設定
    - 電話テスト
    - B-CASカードテスト
  - 設置設定
    - チャンネル設定
      - 地上デジタル (p.25)
        - 初期スキャン
        - 再スキャン
        - マニュアル
      - BS (p.27)
      - CS1 (p.27)
      - CS2 (p.27)
    - 地域設定 (p.28)
      - 県域設定
      - 郵便番号
      - 地域設定削除
    - 受信設定 (p.30)
      - 地上デジタル
        - 物理チャンネル選択
        - アンテナレベル
      - 衛星
        - アンテナ電源
        - トランスポンダ選択
        - 衛星周波数
        - アンテナレベル
    - 電話設定 (p.32)
      - 回線設定
      - トーン検出
      - 内線設定
      - 電話テスト
      - 発信者番号通知
      - 電話会社設定
      - マイラインプラス
    - B-CASカードテスト (p.29)

次ページにつづく >>

メニュー一覧（つづき）

第１階層	第２階層	第３階層	第４階層	第５階層～
		ネットワーク設定 (p.68)	接続テスト	
			ＩPアドレス自動取得	
			ＩPアドレス	
			サブネットマスク	
			ゲートウェイアドレス	
			DNS-ＩP自動取得	
			プライマリDNS	
			セカンダリDNS	
			MACアドレス (p.10)	
		ブラウザ設定 (p.70)	標準に戻す	
			プロキシアドレス	
			プロキシポート番号	
			ホームアドレス	
			接続テスト	
	接続機器関連設定	Irシステム設定 (p.34)	Irシステム	
			メーカー	
			リモコン種別	
			外部入力	
			テスト	
		デジタル音声出力 (p.35)		
	自動更新設定	ダウンロード予約 (p.35)		
	設定リセット (p.39)	設定項目リセット		
		個人情報リセット		

準備
テレビを見る
外部機器を使う
アクトビラでホームページを見る
もっと使いこなす
トラブル時の対処
付録

設定メニュー一覧

第1階層	第2階層	第3階層	第4階層	第5階層～
映像	映像モード (p.90)			
	明るさ (p.90)			
	黒レベル (p.90)			
	コントラスト (p.90)			
	色の濃さ (p.90)			
	色あい (p.90)			
	シャープネス (p.90)			
	詳細設定 (p.91)	明るさ自動調整		
		黒レベル自動調整		
		コントラスト拡張		
		色温度		
		RGBバランス		
		映像ガンマ		
		ノイズフィルター※1		
		プルダウン処理※1		
	初期設定に戻す (p.90)			
音声	バランス (p.92)			
	高音 (p.92)			
	低音 (p.92)			
	初期設定に戻す (p.92)			
PinP	子画面位置 (p.81)			
	子画面半透明 (p.81)			
	初期設定に戻す			
省エネ	無信号電源オフ (p.93)			
	無操作電源オフ (p.93)			
	初期設定に戻す (p.93)			
入力設定				
デジタル放送のとき	HD表示率選択 (p.83)			
	初期設定に戻す			
ビデオ1のとき	音声レベル (p.62)			
	画面モード自動切換 (p.62)			
	初期設定に戻す			
ビデオ2のとき	音声レベル (p.62)			
	画面モード自動切換 (p.62)			
	HD表示率選択 (p.62)			
	初期設定に戻す			
HDMI1/2/3のとき	音声レベル (p.63)			
	画面モード自動切換 (p.63)			
	HD表示率選択 (p.63)			
	カラースペース (p.63)			
	初期設定に戻す			

※1 入力が PC の場合は選べません。

次ページにつづく >>

メニュー一覧（つづき）

第１階層	第２階層	第３階層	第４階層	第５階層～
PCのとき	自動画面調整※2 (p.64)			
	自動レンジ調整※2 (p.64)			
	クロック※2 (p.65)			
	フェーズ※2 (p.65)			
	画面位置※2 (p.65)			
	音声レベル (p.65)			
	初期設定に戻す (p.65)			

※2 デジタル信号の場合は選べません。

クリーニングについて

本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングを行うことをおすすめします。

注意

- **溶剤や薬品（シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、その他研磨クリーナーなど）は、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。**

■ キャビネット

柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。（使用不可の洗剤については上記の注意を参照してください）

■ 液晶パネル面

- 汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布や、レンズクリーナー紙のようなものをご使用ください。
- 落ちにくい汚れは、少量の水をしめらせた布でやさしくふき取ってください。ふき取り後、もう一度乾いた布でふいていただくと、よりきれいな仕上がりとなります。

❖ パネル面のクリーニングには EIZO ScreenCleaner（別売品）のご利用をおすすめします。

内部にほこりがたまると、故障や火災の原因となることがあります。年に 1 度は内部の掃除、点検を販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

仕様一覧

DT27ZD1

表示部	
液晶パネル	27V 型ワイド
画面寸法	581.76mm（幅） × 363.6mm（高さ）
表示画素数	1920 ドット × 1200 ライン
画素ピッチ	0.303mm（幅） × 0.303mm（高さ）
表示色	1677 万色
視野角	上下 178 度、左右 178 度（CR ≧ 10：1）

音声	
スピーカー	φ50mm × 2、16 Ω
実用最大出力	4W ＋ 4W（JEITA）

テレビ	
受信チャンネル	地上デジタル：地上 D000 〜地上 D999（CATV パススルー対応） BS デジタル：BS000 〜 BS999 110 度 CS デジタル：CS000 〜 CS999

電源	
電源	AC100V ± 10%、50/60Hz
消費電力	電源オン時：150W スタンバイ時：機能待機設定が「する」のとき　約 9W 機能待機設定が「しない」のとき　約 0.7W
年間消費電力量※1	区分名※2：BII、受信機型サイズ：27V 型 153kWh/ 年（映像モード：標準時）

※1 年間消費電力量：省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

※2 区分名：省エネルギー法によるテレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態および付加機能の有無などに基づいた区分の名称です。

入出力端子	
入力端子	
アンテナ入力端子	地上デジタル：UHF 75 Ω F 型コネクタ 1 系統 BS・110 度 CS デジタル：75 Ω F 型コネクタ 1 系統
HDMI 入力端子	HDMI TypeA 3 系統 対応フォーマット ・映像：525i（480i）、525p（480p）、1125i（1080i）、750p（720p）：60Hz 1125p（1080p）：60Hz/24Hz ・音声：2ch リニア PCM （32kHz/44.1kHz/48kHz/88.2kHz/96kHz/176.4kHz/192kHz） ※コンピュータからの入力および CEC（Consumer Electronics Control）には対応していません。
コンポーネント映像入力端子	D 端子 1 系統 対応フォーマット：525i（480i）、525p（480p）、1125i（1080i）、750p（720p）：60Hz Y：1.0Vp-p/75 Ω、Cb、Cr：0.7Vp-p/75 Ω
S2 映像入力端子	DIN ミニ 4 ピン 1 系統 Y：1.0Vp-p/75 Ω、C：0.28Vp-p/75 Ω
映像入力端子	ピンジャック 1 系統 1.0Vp-p/75 Ω
PC 映像入力端子	DVI-I 1 系統 ・デジタル信号 水平走査周波数：31.5 ～ 76kHz 垂直走査周波数：59 ～ 61Hz（VGA TEXT 69 ～ 71Hz） ・アナログ信号 水平走査周波数：31.5 ～ 80kHz（各プリセット信号± 1kHz） 垂直走査周波数：55 ～ 76Hz（各プリセット信号± 1Hz） ・ドットクロック（最大）：162 MHz
音声入力端子	ピンジャック：コンポーネント映像入力用 1 系統、S 映像 / 映像入力用 1 系統 φ3.5mm ステレオミニジャック：PC 映像入力用 1 系統
出力端子	
S1 映像出力端子※1	DIN ミニ 4 ピン 1 系統 Y：1.0Vp-p/75 Ω、C：0.28Vp-p/75 Ω
映像出力端子※1	ピンジャック 1 系統 1.0Vp-p/75 Ω
音声出力端子※1	ピンジャック 1 系統
ヘッドホン出力端子	φ3.5mm ステレオミニジャック 1 系統（適合インピーダンス 16 ～ 32 Ω）
光デジタル音声出力端子※2	角型ジャック 1 系統
ラインアウト端子	φ3.5mm ステレオミニジャック 1 系統
その他	
電話回線接続端子	モジュラージャック式 RJ-11 1 系統
LAN 端子	RJ-45 1 系統　10BASE-T
Ir システム端子	φ3.5mm ミニジャック 1 系統

※1 デジタル放送録画用

※2 デジタル放送の音声出力のみ対応

外形寸法 / 質量	
外形寸法 / 質量	634mm（幅）× 528.2mm（高さ）× 280mm（奥行き）/14.5kg

環境	
動作範囲	0 ～ 35℃　30 ～ 80%R.H.（結露しないこと）

仕様一覧（つづき）

DT24ZD1

表示部	
液晶パネル	24V 型ワイド
画面寸法	518.4mm（幅） × 324.0mm（高さ）
表示画素数	1920 ドット × 1200 ライン
画素ピッチ	0.270mm（幅） × 0.270mm（高さ）
表示色	1677 万色
視野角	上下 178 度、左右 178 度（CR ≧ 10：1）

音声	
スピーカー	φ50mm × 2、16 Ω
実用最大出力	4W ＋ 4W（JEITA）

テレビ	
受信チャンネル	地上デジタル：地上 D000 ～地上 D999（CATV パススルー対応） BS デジタル：BS000 ～ BS999 110 度 CS デジタル：CS000 ～ CS999

電源	
電源	AC100V ± 10%、50/60Hz
消費電力	電源オン時：120W スタンバイ時：機能待機設定が「する」のとき　約 9W 機能待機設定が「しない」のとき　約 0.7W
年間消費電力量※1	区分名※2：BII、受信機型サイズ：24V 型 115kWh/ 年（映像モード：標準時）

※1 年間消費電力量：省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

※2 区分名：省エネルギー法によるテレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態および付加機能の有無などに基づいた区分の名称です。

準備
テレビを見る
外部機器を使う
アクトビラでホームページを見る
もっと使いこなす
トラブル時の対処
付録

入出力端子	
入力端子	
アンテナ入力端子	地上デジタル：UHF 75 Ω F 型コネクタ 1 系統 BS・110 度 CS デジタル：75 Ω F 型コネクタ 1 系統
HDMI 入力端子	HDMI TypeA 3 系統 対応フォーマット ・映像：525i（480i）、525p（480p）、1125i（1080i）、750p（720p）：60Hz 1125p（1080p）：60Hz/24Hz ・音声：2ch リニア PCM （32kHz/44.1kHz/48kHz/88.2kHz/96kHz/176.4kHz/192kHz） ※コンピュータからの入力および CEC（Consumer Electronics Control）には対応していません。
コンポーネント映像入力端子	D 端子 1 系統 対応フォーマット：525i（480i）、525p（480p）、1125i（1080i）、750p（720p）：60Hz Y：1.0Vp-p/75 Ω、Cb、Cr：0.7Vp-p/75 Ω
S2 映像入力端子	DIN ミニ 4 ピン 1 系統 Y：1.0Vp-p/75 Ω、C：0.28Vp-p/75 Ω
映像入力端子	ピンジャック 1 系統 1.0Vp-p/75 Ω
PC 映像入力端子	DVI-I 1 系統 ・デジタル信号 水平走査周波数：31.5 ～ 76kHz 垂直走査周波数：59 ～ 61Hz（VGA TEXT 69 ～ 71Hz） ・アナログ信号 水平走査周波数：31.5 ～ 80kHz（各プリセット信号± 1kHz） 垂直走査周波数：55 ～ 76Hz（各プリセット信号± 1Hz） ・ドットクロック（最大）：162 MHz
音声入力端子	ピンジャック：コンポーネント映像入力用 1 系統、S 映像 / 映像入力用 1 系統 φ3.5mm ステレオミニジャック：PC 映像入力用 1 系統
出力端子	
S1 映像出力端子※1	DIN ミニ 4 ピン 1 系統 Y：1.0Vp-p/75 Ω、C：0.28Vp-p/75 Ω
映像出力端子※1	ピンジャック 1 系統 1.0Vp-p/75 Ω
音声出力端子※1	ピンジャック 1 系統
ヘッドホン出力端子	φ3.5mm ステレオミニジャック 1 系統（適合インピーダンス 16 ～ 32 Ω）
光デジタル音声出力端子※2	角型ジャック 1 系統
ラインアウト端子	φ3.5mm ステレオミニジャック 1 系統
その他	
電話回線接続端子	モジュラージャック式 RJ-11 1 系統
LAN 端子	RJ-45 1 系統　10BASE-T
Ir システム端子	φ3.5mm ミニジャック 1 系統

※1 デジタル放送録画用
※2 デジタル放送の音声出力のみ対応

外形寸法 / 質量	
外形寸法 / 質量	565mm（幅）× 482.5mm（高さ）× 280mm（奥行き）/13.0kg

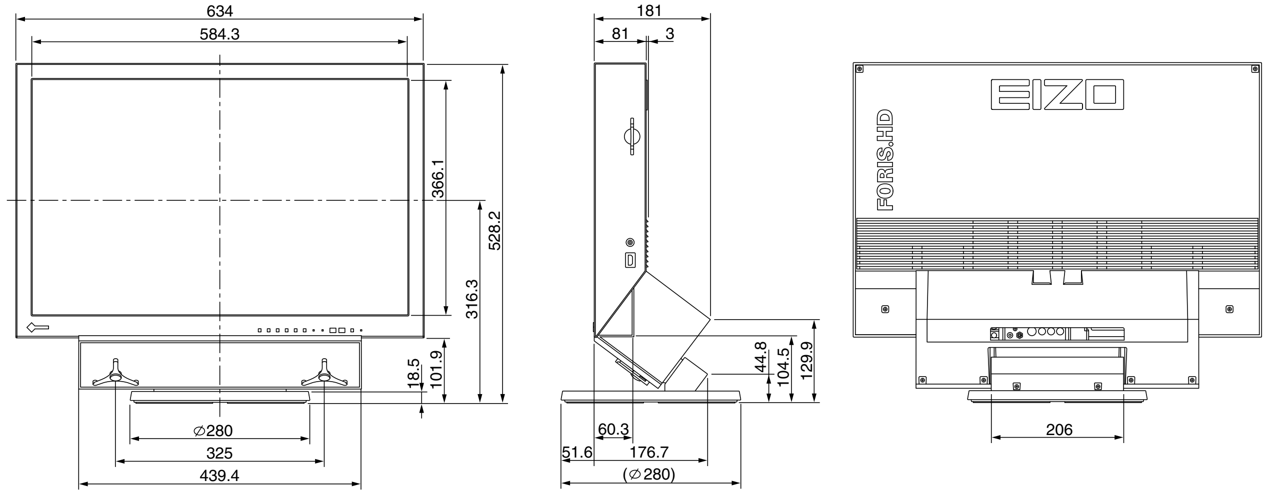
環境	
動作範囲	0 ～ 35℃　30 ～ 80%R.H.（結露しないこと）

仕様一覧（つづき）

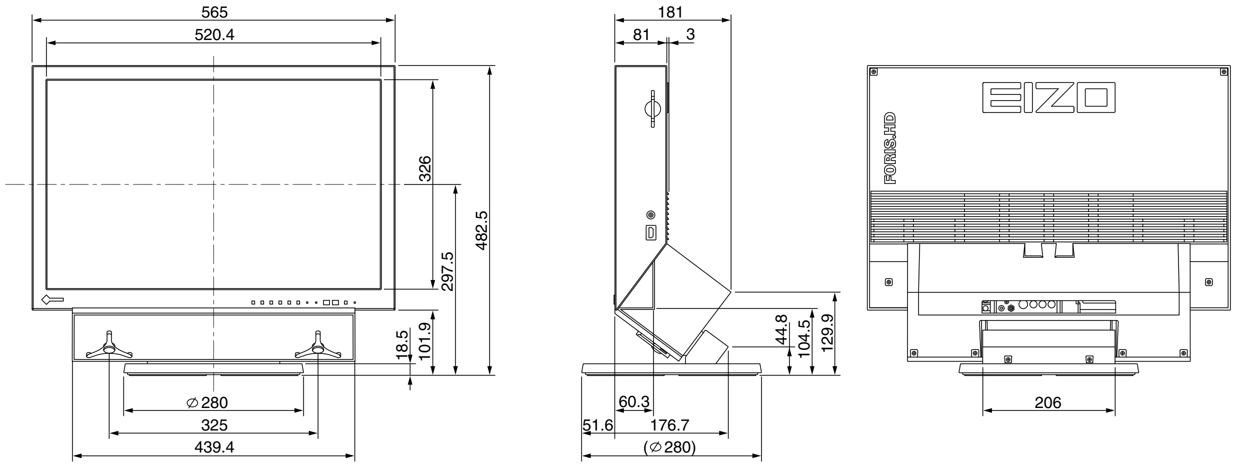
■ 外形寸法図

（mm）

DT27ZD1



DT24ZD1



■ プリセットタイミング

お買い上げ時に設定されているコンピュータのビデオタイミングは次のとおりです。
（アナログ信号の場合のみ）

注意

- 接続されるコンピュータの種類により表示位置などがずれ、設定メニューで画面の調整が必要になる場合があります。
- 一覧表に記載されている以外の信号を入力した場合は、設定メニューで画面の調整を行ってください。ただし、調整を行っても画面を正しく表示できない場合があります。
- インターレースの信号は、設定メニューで調整を行っても画面を正しく表示することができません。

表示モード	ドット クロック	周波数・極性			
		水平（kHz）	極性	垂直（Hz）	極性
NEC PC-9821 640 × 400@70Hz	25.2MHz	31.48	負	70.10	負
VGA 640 × 480@60Hz	25.2 MHz	31.47	負	59.94	負
VGA 720 × 400@70Hz	28.3 MHz	31.47	負	70.09	正
Macintosh 640 × 480@67Hz	30.2 MHz	35.00	負	66.67	負
Macintosh 832 × 624@75Hz	57.3 MHz	49.72	負	74.55	負
Macintosh 1152 × 870@75Hz	100.0 MHz	68.68	負	75.06	負
Macintosh 1280 × 960@75Hz	126.2 MHz	74.76	正	74.76	正
VESA 640 × 480@73Hz	31.5 MHz	37.86	負	72.81	負
VESA 640 × 480@75Hz	31.5 MHz	37.50	負	75.00	負
VESA 720 × 480@60Hz	28.3 MHz	31.47	負	59.94	負
VESA 800 × 600@56Hz	36.0 MHz	35.16	正	56.25	正
VESA 800 × 600@60Hz	40.0 MHz	37.88	正	60.32	正
VESA 800 × 600@72Hz	50.0 MHz	48.08	正	72.19	正
VESA 800 × 600@75Hz	49.5 MHz	46.88	正	75.00	正
VESA 848 × 480@60Hz	33.8 MHz	31.02	正	60.00	正
VESA 1024 × 768@60Hz	65.0 MHz	48.36	負	60.00	負
VESA 1024 × 768@70Hz	75.0 MHz	56.48	負	70.07	負
VESA 1024 × 768@75Hz	78.8 MHz	60.02	正	75.03	正
VESA 1152 × 864@75Hz	108.0 MHz	67.50	正	75.00	正
VESA CVT 1280 × 768	79.5 MHz	47.78	負	59.87	正
VESA CVT 1280 × 768	102.3 MHz	60.29	負	74.89	正
VESA CVT RB 1280 × 768	68.3 MHz	47.40	正	60.00	負
VESA 1280 × 960@60Hz	108.0 MHz	60.00	正	60.00	正
VESA 1280 × 1024@60Hz	108.0 MHz	63.98	正	60.02	正
VESA 1280 × 1024@75Hz	135.0 MHz	79.98	正	75.03	正
VESA 1360 × 768@60Hz	85.5 MHz	47.71	正	60.02	正
VESA 1600 × 1200@60Hz	162.0 MHz	75.00	正	60.00	正
VESA CVT 1680 × 1050	146.3MHz	65.29	負	59.95	正
VESA CVT RB 1680 × 1050	119.0MHz	64.67	正	59.88	負
VESA CVT RB 1920 × 1200	154.0MHz	74.04	正	59.95	負

次ページにつづく >>

仕様一覧（つづき）

（一部の AV 機器用途として次の信号にも対応しています）

表示モード	ドット クロック	周波数・極性			
		水平（kHz）	極性	垂直（Hz）	極性
750p（720p）@60Hz 1280 × 750p（720p）	74.3 MHz	45.00	正	59.94	正
1125p（1080p）@60Hz 1920 × 1125p（1080p）	148.5MHz	67.50	正	59.94	正

用語集

AAC （xiv、17、35 ページ）
Advanced Audio Coding の略で、音声の圧縮方式のひとつです。既存の圧縮方式（MP3 など）より高音質を実現するといわれています。また、「MPEG-2 AAC」は国内のデジタル放送の音声規格になっています。

D 端子 （4、13、115、117 ページ）
デジタル放送に対応するために開発されたコンポーネント映像端子で、DVD プレーヤーやデジタル放送チューナーに搭載されています。
D 端子には、やりとりできる信号により D1 から D4 までの端子規格があります。D1 が通常のテレビ放送、D3 以上がハイビジョン放送に対応しています。現行の BS デジタルハイビジョンの信号は、D3/D4 規格になっています。

HDMI （ii、4、11、12 ページ）
HDMI とは、High-Definition Multimedia Interface の略で、コンピュータとモニターを接続するときのインターフェース規格のひとつである「DVI」をベースにして、家電や AV 機器向けに発展させたデジタルインターフェース規格です。映像や音声、制御信号を圧縮することなく、1 本のケーブルで送受信することができます。なお、本機は入力にのみ対応しています。

MPEG （xiv、17、91 ページ）
動画を圧縮する形式のひとつです。インターネットでの画像配信、CS 放送や BS デジタル放送、DVD などに使われています。ビデオ映像は、一般には 1 秒間に約 30 枚の画像（フレーム）で構成されますが、一枚一枚すべてを保存するとデータのサイズが膨大になるため、隣りあったフレームの同じような部分を共通で使うようにして、サイズを小さくします。
MPEG には、現在「MPEG-1」、「MPEG-2」、「MPEG-4」の規格があり、デジタル放送や DVD では MPEG-2 が使われています。
MPEG とは、Moving Picture Experts Group の略で、ISO により組織された専門家グループの名称がそのまま使われています。

PCM （12、35、115、117 ページ）
Pulse Code Modulation の略で、音声をデジタル化する方式のひとつです。音楽用 CD や DVD の音声に使われています。

緊急警報放送 （101 ページ）
地震や津波などの非常災害時に行われる放送で、放送があると自動的に選局されます。

光デジタル音声出力 （4、17、24、35、96、115、117 ページ）
デジタル音声のデータを、電気信号から光信号に変換して出力することです。光信号にすると、電子機器などからの電気的な影響を受けることがなくなり、ノイズのない音声を送ることができます。

索引

保証書とアフターサービスについて

本製品のアフターサービスに関してご不明な場合は、エイゾーサポートにお問い合わせください。

■ 保証書・保証期間について

- この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日より 3 年間です。
- 弊社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低 8 年間保有しています。補修用部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、エイゾーサポートにご相談ください。

■ 修理を依頼されるとき

修理の際、弊社の品質基準に適合した再生部品を使用することがあります。

［保証期間中の場合］

保証書の規定に従い、弊社にて修理をさせていただきます。お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご連絡ください。

［保証期間を過ぎている場合］

お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

故障／修理のお問い合わせはエイゾーサポート（裏表紙記載）までお願いいたします。

■ 修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号 /FAX 番号
- お買い上げ年月日・販売店名
- モデル名・製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている 8 けたの番号です。例：S/N 12345678）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

■ 廃棄について

個人のお客様

自治体の指示に従って廃棄してください。

法人のお客様

産業廃棄物として処理してください。

■ 特定化学物質の含有率情報（グリーンマーク）

日本工業規格（JIS）C 0950:2005（通称 J-Moss）「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法」の基準値において、本機は特定化学物質の含有率が基準値以下の製品（グリーンマーク製品）です。
本製品におよび弊社製品の「特定化学物質の含有率情報」については、弊社のホームページをご参照ください。（http://www.eizo.co.jp）

長年ご使用のテレビの点検を！	テレビセットを長期ご使用になりますと、内部のほこりなどの堆積によって故障する場合があります。	**愛情点検**

このような症状はありませんか？	● 電源を入れても映像や音が出ない ● 映像が時々消える ● 変なにおいがしたり、煙が出たりする ● 製品内部に水や異物が入った ● 電源を切っても映像や音が消えない	**ご使用中止**	すぐに電源プラグを抜き、故障や事故の防止のため、必ず販売店またはエイゾーサポートに点検をご相談ください。

故障 / 修理に関するお問い合わせ先

● エイゾーサポート

電話での問い合わせ受付　本社：**076-274-2474**　東京：**03-3458-7737**　大阪：**06-6396-0357**

営業時間：9:30 ～ 17:30（月曜日～金曜日）／ 10:00 ～ 17:00（土曜日）※祝祭日、弊社休業日を除く

FAX での問い合わせ受付　**076-274-2416**

製品に関するお問い合わせ先

● EIZO コンタクトセンター　**0120-956-812**

受付時間：9:30 ～ 18:00（月曜日～金曜日）※祝祭日、弊社休業日を除く

株式会社ナナオ

〒924-8566　石川県白山市下柏野町153番地

www.eizo.co.jp

環境保護のため、再生紙を使用しています。

第2版　2008年8月　Printed in Japan.

00N0L371B1

(U.M-DT27ZD1)